

令和元年度（2019年度）  
大学、短期大学及び高等専門学校における  
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

令和2年3月





令和元年度（2019年度）  
大学、短期大学及び高等専門学校における  
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

< 目 次 >

< I・調査方法等 >	
1. 調査概要	1
2. 表記区分	1
3. 注意事項	2
< II・回収状況 >	
回収状況	5
< III・調査結果及びその概要 >	
1. 学校全体の学生数	7
2. 障害学生数	8
(1) 障害学生数	
(2) 障害学生在籍率	
(3) 障害種別の障害学生数	
(4) 障害種別・学科（専攻）別	
ア 大学	
イ 短期大学	
ウ 高等専門学校	
(5) 発達障害または精神障害と他の障害の重複（障害種別）	
3. 障害学生在籍学校数	16
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別	
4. 支援障害学生数	19
(1) 支援障害学生数	
(2) 支援障害学生在籍率・障害学生支援率	
(3) 障害種別の支援障害学生数	
(4) 障害種別・学科（専攻）別	
ア 大学	
イ 短期大学	
ウ 高等専門学校	
(5) 発達障害または精神障害と他の障害の重複（障害種別）	
5. 支援障害学生在籍学校数	27
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別	
6. 支援の実施状況	30
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別	
ア 授業支援（総表）	
イ 授業以外の支援（総表）	
ウ 授業支援（大学）	
エ 授業以外の支援（大学）	
オ 授業支援（短期大学）	
カ 授業以外の支援（短期大学）	
キ 授業支援（高等専門学校）	
ク 授業以外の支援（高等専門学校）	

(3) 主な支援	
ア 視覚障害	
イ 聴覚・言語障害	
ウ 肢体不自由	
エ 病弱・虚弱	
オ 発達障害	
カ 精神障害	
7. 障害学生支援に関する体制等	42
(1) 障害者差別解消法に関する対応要領等 (障害学生数別・学校種別)	
(2) 専門委員会等の設置状況 (障害学生数別・学校種別)	
(3) 紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況 (障害学生数別・学校種別)	
(4) 1) 障害学生支援担当部署の設置状況 (障害学生数別・学校種別)	
2) 障害学生支援担当者の配置状況 (障害学生数別・学校種別)	
3) 障害学生支援担当者の職種 (職種別・障害学生数別・学校種別)	
(5) 障害学生の相談受付窓口	
(6) 支援の申し出等に関する対応手順	
(7) 施設・設備の整備状況 (学校種別・内容別)	
(8) 支援学生 (障害学生を支援する学生) 在籍学校数 (支援学生数別・学校種別)	
8. 障害学生支援に関する活動や取組実施状況	52
(1) 学校種別・障害学生在籍者数別	
(2) 学校種別・内容別	
9. 障害のある生徒の受入に関する配慮及び入学者数等	56
(1) 入学者選抜における配慮に関する体制	
(2) 入学者選抜において実施可能な配慮	
(3) 障害のある入学者数等 (障害種別・学校種別)	
(4) 受験上の配慮を行なった受験者数 (障害種別・学校種別)	
(5) 入学者選抜において実施した配慮の内容 (障害種別)	
10. 障害学生の卒業後の進路	63
進路状況 (学校種別・障害種別)	
11. 発達障害学生支援状況 (一部再掲)	68
(1) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 (学校種別)	
(2) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 (学科 (専攻) 別)	
(3) 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数 (学校種別)	
(4) 発達障害のある学生への支援 (支援内容別)	
(5) 発達障害を理由とする受験上の配慮 (学校種別)	
(6) 発達障害学生の卒業後の進路状況 (学校種別)	
<IV・参考資料>	
調査の手引	75
調査票 (大学・大学院用)	87

< I・調査方法等 >



## 1. 調査概要

- (1) 目的：障害のある学生（以下「障害学生」という）の今後の修学支援に関する方策を検討する上で、全国の大学、短期大学及び高等専門学校（以下「学校」という）における障害学生の状況及びその支援状況について把握し、障害学生の修学支援の充実に資する。
- (2) 対象：大学（大学院、大学院大学及び専攻科を含む。以下同じ）、短期大学（大学内に短期大学部を有している場合を含む。専攻科を含む。以下同じ）、高等専門学校（専攻科を含む。以下同じ）
- (3) 調査方法：悉皆調査
- 各学校が独立行政法人日本学生支援機構のウェブサイトより調査票をダウンロードし、回答を記入後、メール添付にて提出する。
- (4) 調査期日：令和元年5月1日現在

## 2. 表記区分

### (1) 学校種別

学校種別	区 分
大 学	大学(専門職大学、大学院、大学院大学及び専攻科を含む)
短期大学	短期大学(大学内に短期大学部を有している場合を含む。専門職短期大学及び専攻科を含む)
高等専門学校	高等専門学校(専攻科を含む)

### (2) 課程別

学校種別	課程別	区 分
大 学	学部(通学)	学部生<通学制>
	学部(通信)	学部生<通信制>
	大学院(通学)	大学院生<通学制>
	大学院(通信)	大学院生<通信制>
	専攻科	専攻科生
短期大学	学科(通学)	学科生<通学制>
	学科(通信)	学科生<通信制>
	専攻科	専攻科生
高等専門学校	本科(通学)	本科生
	専攻科	専攻科生

※調査対象には、研究生、科目等履修生、聴講生及び別科生は含まない。

### (3) 障害種別

障害種別	区 分
視覚障害	盲、弱視
聴覚・言語障害	聾、難聴、言語障害のみ
肢体不自由	上肢機能障害、下肢機能障害、上下肢機能障害、他の機能障害
病弱・虚弱	内部障害等、他の慢性疾患
重複	重複
発達障害 (診断書有)	S L D (限局性学習症／限局性学習障害)、ADHD (注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害)、ASD (自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害)、発達障害の重複
精神障害	統合失調症等、気分障害、神経症性障害等、摂食障害・睡眠障害等、他の精神障害
その他の障害	上記に該当しない障害
発達障害 (診断書 無・配慮有)	S L D (限局性学習症／限局性学習障害)、ADHD (注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害)、ASD (自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害)

## 3. 注意事項

### (1) 本調査における用語の定義

①「障害学生」とは、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳を有している学生または健康診断等において障害があることが明らかになった学生（重複する場合は実数）

②「支援障害学生」とは、学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている（今年度中の支援予定を含む）障害学生

支援例：ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障、学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援等

### ③障害種別の内訳区分

#### 【視覚障害】

盲……視覚による教育が不可能または著しく困難で、主として触覚及び聴覚など、視覚以外の感覚を利用しての教育が必要な程度

弱視……視覚による教育は可能であるが、文字の拡大など教育上特別の配慮が必要な程度（視野障害や、明るいところがまぶしく感じる羞明や暗いところが見えにくい夜盲等の明暗順応の障害を含む）

※色覚異常、片目の失明については、「その他の障害」に計上し、診断名欄にその旨（色覚異常、片目の失明）を記入する。

【聴覚・言語障害】

聾……両耳の聴力損失 60 デシベル以上、または補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能、または著しく困難な程度

難聴……両耳の聴力損失 60 デシベル未満、または補聴器を使用すれば通常の話声を解することが可能な程度

言語障害のみ……発声、発語に関する機能障害（構音障害、音声障害、流暢性の障害、言語発達遅滞、口蓋裂）

【肢体不自由】

上肢機能障害……腕、手、指および各関節に関する機能障害

下肢機能障害……脚、足指および各関節に関する機能障害

上下肢機能障害……上肢、下肢の両方に関する機能障害

他の機能障害……体幹（胴体）に関する機能障害、体幹と上肢の機能障害、体幹と下肢の機能障害、体幹と上下肢の機能障害および運動の障害

【病弱・虚弱】「学校教育法施行令 障害の程度」における「病弱者」に該当する者を指す。

内部障害等（※1）……心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこうまたは直腸の機能障害、小腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能障害及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療または生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者。

※1：「身体障害者障害程度等級表」または「小児慢性特定疾病」に該当する者  
他の慢性疾患（※2）……身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者。または、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者（てんかん、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アナフィラキシー等で、身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする者はここに計上する）。

※2：これに当てはまらない疾患等については、「その他の障害」に計上する。

【重複】

以下のとおり、障害が重複している者

○ 2つの身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害、視覚障害と肢体不自由、視覚障害と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由、聴覚・言語障害と病弱・虚弱、肢体不自由と病弱・虚弱

○ 3つ以上の身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由、視覚障害と聴覚・言語障害と病弱・虚弱、視覚障害と肢体不自由と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱、視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱

※発達障害または精神障害と他の障害の重複については、ここには計上しない。

（別途調査：14,15 ページ、25,26 ページ参照）

【発達障害（診断書有）】

発達障害に関する医師の診断書がある者

S L D……限局性学習症／限局性学習障害（旧 L D：学習障害）

A D H D……注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥／多動性障害）

A S D……自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害（旧高機能自閉症等：高機能自閉症及びアスペルガー症候群）

発達障害の重複……上記の3つのいずれかが重複している者

#### 【精神障害】

統合失調症等……統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害（ICD-10 F20-F29 に該当する疾患）

気分障害……躁病エピソード、双極性感情障害、うつ病エピソード、反復性うつ病性障害、持続性気分（感情）障害等（ICD-10 F30-F39 に該当する疾患）

神経症性障害等……不安障害、強迫性障害（強迫神経症）、重度ストレスへの反応及び適応障害、解離性（転換性）障害、身体表現性障害、神経衰弱等（ICD-10 F40-F48 に該当する疾患）

摂食障害・睡眠障害等……摂食障害、睡眠障害、依存を生じない物質の乱用等（ICD-10 F50-F59 に該当する疾患）

※ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群はここに計上する。

他の精神障害……上記に当てはまらない精神障害。高次脳機能障害、依存症候群、人格障害、トゥレット症候群、緘黙症、知的障害、診断名が確定していない抑うつ状態等。

#### 【その他の障害】

視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複、発達障害及び精神障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある者。または、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者。

※多汗症、原因の特定できない過敏性腸症候群、頻尿等はここに計上する。

#### (2) 発達障害学生数について

発達障害については、医師の診断書がない場合は「障害学生数」には含めていない。しかしながら、学校における支援の実態等に鑑み、以下の定義により、発達障害（診断書無・配慮有）の学生数、支援内容について回答を得ている。

#### 【発達障害（診断書無・配慮有）】

発達障害であるとの医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、学校が何らかの支援（教育上の配慮等）を行なっている者

※何らかの支援（教育上の配慮等）とは、学内の組織、部署等の業務として行なっているもので、一部の教職員が個人的に行なっているものは含まない。

S L D……限局性学習症／限局性学習障害（旧 L D：学習障害）

A D H D……注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥／多動性障害）

A S D……自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害（旧高機能自閉症等：高機能自閉症及びアスペルガー症候群）

区分不明……上記の3つのいずれに該当するか不明の者

< Ⅱ・回收状況 >



## 回収状況

本年度の回収率は100%。

なお、本調査の回収率は、調査を開始した平成17年度が90.5%、平成18年度が93.8%、平成19年度からは、平成24年度（※）を除き回収率100%を達成している。

※閉校となる私立大学1校が未回答のため99.9%

区 分		対象校数 (校)		回答校数 (校)		回収率 (%)	
大学	国立	86	(86)	86	(86)	100.0	(100.0)
	公立	93	(92)	93	(92)	100.0	(100.0)
	私立	613	(607)	613	(607)	100.0	(100.0)
	小計	792	(785)	792	(785)	100.0	(100.0)
短期大学	国立	—	(—)	—	(—)	—	(—)
	公立	17	(17)	17	(17)	100.0	(100.0)
	私立	308	(310)	308	(310)	100.0	(100.0)
	小計	325	(327)	325	(327)	100.0	(100.0)
高等専門 学校	国立	51	(51)	51	(51)	100.0	(100.0)
	公立	3	(3)	3	(3)	100.0	(100.0)
	私立	3	(3)	3	(3)	100.0	(100.0)
	小計	57	(57)	57	(57)	100.0	(100.0)
計		1,174	(1,169)	1,174	1,169	100.0	(100.0)

### 【留意点】

①表中の（ ）内は、平成30年度の調査結果の数値である。

②表中の比率（%）については、四捨五入の都合で内訳の和と合計の値が合わない場合がある。

※上記の【留意点】については、次の<Ⅲ・調査結果及びその概要>においても同様である。



< Ⅲ・調査結果及びその概要 >



# 1. 学校全体の学生数

学校からの回答における令和元年5月1日時点の学生数

表1 学校全体の学生数 [学校種別・設置者別・課程別]

	(人)	計	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
計		3,214,814 (3,212,010)	2,766,783 (2,768,909)	183,809 (178,940)	253,102 (254,302)	3,821 (3,896)	7,299 (5,963)
大学		3,027,581 (3,020,539)	2,603,732 (2,600,835)	165,692 (160,638)	253,102 (254,302)	3,821 (3,896)	1,234 (868)
国立		589,857 (594,010)	437,810	—	151,526	—	521
公立		155,413 (152,579)	138,790	—	16,487	—	136
私立		2,282,311 (2,273,950)	2,027,132	165,692	85,089	3,821	577
短期大学		130,213 (134,785)	109,181 (114,610)	18,117 (18,302)	—	—	2,915 (1,873)
国立		—	—	—	—	—	—
公立		5,726 (6,256)	5,614	—	—	—	112
私立		124,487 (128,529)	103,567	18,117	—	—	2,803
高等専門学校		57,020 (56,686)	53,870 (53,464)	—	—	—	3,150 (3,222)
国立		51,196 (51,540)	48,272	—	—	—	2,924
公立		3,778 (2,979)	3,595	—	—	—	183
私立		2,046 (2,167)	2,003	—	—	—	43

( )内は前年度数値

## 2. 障害学生数

### (1) 障害学生数

#### <概要>

○「大学、短期大学及び高等専門学校」の障害学生数は37,647人で、前年度(33,812人)より3,835人の増。

○学校種別で見ると次のとおり。

・「大学」に在籍している障害学生は33,683人で、前年度(30,190人)より3,493人の増。

・「短期大学」は、1,845人で前年度(1,920人)より75人の減。

・「高等専門学校」は2,119人で前年度(1,702人)より417人の増。

○課程別で見ると、在籍者が多い順に「大学の学部(通学)」の29,668人で、前年度(26,334人)より3,334人の増。「高等専門学校の本科(通学)」の2,035人で、前年度(1,648人)より387人の増。「大学の学部(通信)」の1,992人で、前年度(2,067人)より75人の減。「大学院(通学)」の1,979人で、前年度(1,735人)より244人の増。「短期大学の学科(通学)」の1,803人で、前年度(1,889人)より86人の減。

表2 障害学生数 [学校種別・設置者別・課程別]

	(人)	計	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
計		37,647 (33,812)	33,506 (29,871)	2,014 (2,079)	1,979 (1,735)	26 (42)	122 (85)
大学		33,683 (30,190)	29,668 (26,334)	1,992 (2,067)	1,979 (1,735)	26 (42)	18 (12)
	国立	6,415 (5,613)	5,120	—	1,291	—	4
	公立	1,799 (1,716)	1,686	—	113	—	0
	私立	25,469 (22,861)	22,862	1,992	575	26	14
			学科(通学)	学科(通信)	—	—	専攻科
短期大学		1,845 (1,920)	1,803 (1,889)	22 (12)	—	—	20 (19)
	国立	—	—	—	—	—	—
	公立	127 (222)	127	—	—	—	0
	私立	1,718 (1,698)	1,676	22	—	—	20
			本科(通学)	—	—	—	専攻科
高等専門学校		2,119 (1,702)	2,035 (1,648)	—	—	—	84 (54)
	国立	1,909 (1,619)	1,829	—	—	—	80
	公立	165 (49)	162	—	—	—	3
	私立	45 (34)	44	—	—	—	1

( )内は前年度数値

(2) 障害学生在籍率

<概要>

- 全学生(3,214,814人)に占める障害学生の在籍率は1.17%で、前年度(1.05%)より0.12ポイントの増。
- ・学校種別の設置者別に見ると、障害学生在籍率が高い順に「公立高等専門学校」の4.37%で、前年度(1.64%)より2.73ポイントの増。「国立高等専門学校」の3.73%で、前年度(3.14%)より0.59ポイントの増。「公立短期大学」の2.22%で、前年度(3.55%)より1.33ポイントの減。
- ・学校種別の設置者別に見ると、障害学生在籍率が最も低いのは「国立大学」の1.09%で、前年度(0.94%)より0.15ポイントの増。
- ・学校種別の課程別を見ると、障害学生在籍率が高い順に「公立高等専門学校の学部(通学)」の4.51%、「国立高等専門学校の学部(通学)」の3.79%。また、「公立大学(専攻科)」および「公立短期大学(専攻科)」には障害学生が在籍しない。

表3 障害学生在籍率 [学校種別・設置者別・課程別]

	(%)	全体の在籍率	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
計		1.17 (1.05)	1.21 (1.08)	1.10 (1.16)	0.78 (0.68)	0.68 (1.08)	1.67 (1.43)
大学		1.11 (1.0)	1.14 (1.01)	1.20 (1.29)	0.78 (0.68)	0.68 (1.08)	1.46 (1.38)
国立		1.09 (0.94)	1.17	—	0.85	—	0.77
公立		1.16 (1.12)	1.21	—	0.69	—	0
私立		1.12 (1.01)	1.13	1.20	0.68	0.68	2.43
短期大学		1.42 (1.42)	1.65 (1.65)	0.12 (0.07)	—	—	0.69 (1.01)
国立		—	—	—	—	—	—
公立		2.22 (3.55)	2.26	—	—	—	0
私立		1.38 (1.32)	1.62	0.12	—	—	0.71
高等専門学校		3.72 (3.0)	3.78 (3.08)	—	—	—	2.67 (1.68)
国立		3.73 (3.14)	3.79	—	—	—	2.74
公立		4.37 (1.64)	4.51	—	—	—	1.64
私立		2.20 (1.57)	2.20	—	—	—	2.33

( )内は前年度数値

(3)障害種別の障害学生数

<概要>

○障害種別で見る障害学生数は、多い順に「病弱・虚弱」の12,374人で、前年度(11,151人)より1,223人の増。「精神障害」の9,709人で、前年度(8,770人)より939人の増。「発達障害」の7,065人で、前年度(6,047人)より1,018人の増。

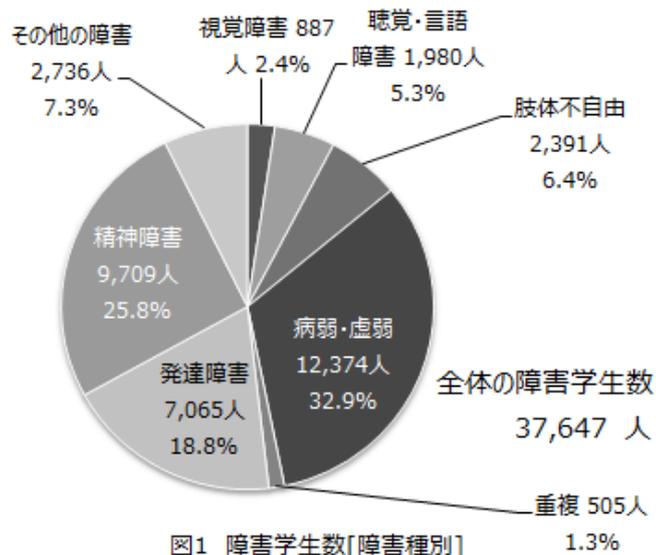


表4 障害学生数 [障害種別・学校種別]

	(人)	計	大学		短期大学		高等専門学校		
計		37,647	(33,812)	33,683	(30,190)	1,845	(1,920)	2,119	(1,702)
視覚障害		887	(864)	832	(808)	22	(16)	33	(40)
盲		171	(179)	170		0		1	
弱視		716	(685)	662		22		32	
聴覚・言語障害		1,980	(1,972)	1,825	(1,837)	74	(75)	81	(60)
聾		512	(542)	502		7		3	
難聴		1,403	(1,359)	1,272		60		71	
言語障害のみ		65	(71)	51		7		7	
肢体不自由		2,391	(2,478)	2,252	(2,357)	84	(83)	55	(38)
上肢機能障害		329	(338)	312		11		6	
下肢機能障害		860	(907)	788		44		28	
上下肢機能障害		789	(776)	764		17		8	
他の機能障害		413	(457)	388		12		13	
病弱・虚弱		12,374	(11,151)	10,849	(9,594)	854	(1,014)	671	(543)
内部障害等		7,381	(6,643)	6,550		473		358	
他の慢性疾患		4,993	(4,508)	4,299		381		313	
重複		505	(485)	480	(468)	15	(10)	10	(7)
発達障害		7,065	(6,047)	5,977	(5,063)	240	(228)	848	(756)
SLD		231	(213)	199		10		22	
ADHD		1,883	(1,522)	1,624		68		191	
ASD		3,781	(3,426)	3,185		131		465	
発達障害の重複		1,170	(886)	969		31		170	
精神障害		9,709	(8,770)	9,158	(8,261)	359	(355)	192	(154)
統合失調症等		842	(863)	797		34		11	
気分障害		3,105	(2,770)	2,994		67		44	
神経症性障害等		3,883	(3,295)	3,675		156		52	
摂食障害・睡眠障害等		921	(788)	846		45		30	
他の精神障害		958	(1,054)	846		57		55	
その他の障害		2,736	(2,045)	2,310	(1,802)	197	(139)	229	(104)

( )内は前年度数値

## (4)障害種別・学科(専攻)別 ア 大学

&lt;概要&gt;

○大学に在籍している障害学生数(33,683人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「社会科学」7,486人、「人文科学」6,893人、「工学」5,078人。

表5 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (大学)

(人)	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健(医・歯学)	保健(医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他
計	33,683	6,893	7,486	1,409	5,078	1,171	665	3,182	16	756	2,396	2,049	2,582
視覚障害	832	94	185	22	107	8	13	116	0	11	47	35	194
盲	170	26	25	2	14	2	1	12	0	0	4	9	75
弱視	662	68	160	20	93	6	12	104	0	11	43	26	119
聴覚・言語障害	1,825	284	438	63	377	39	34	173	1	43	163	85	125
聾	502	73	125	12	168	8	1	12	0	9	50	17	27
難聴	1,272	206	297	48	195	30	31	159	1	34	108	66	97
言語障害のみ	51	5	16	3	14	1	2	2	0	0	5	2	1
肢体不自由	2,252	469	667	61	230	30	29	167	1	27	121	95	355
上肢機能障害	312	59	91	13	36	7	8	20	0	6	24	16	32
下肢機能障害	788	150	208	22	91	10	11	83	0	12	48	41	112
上下肢機能障害	764	175	253	21	67	11	6	39	0	5	25	22	140
他の機能障害	388	85	115	5	36	2	4	25	1	4	24	16	71
病弱・虚弱	10,849	1,779	2,391	380	1,502	413	252	1,506	1	316	1,079	574	656
内部障害等	6,550	1,161	1,455	260	935	253	164	862	1	213	530	304	412
他の慢性疾患	4,299	618	936	120	567	160	88	644	0	103	549	270	244
重複	480	74	101	9	86	12	6	60	1	5	22	43	61
発達障害	5,977	1,457	1,210	420	1,276	264	76	205	7	71	211	400	380
SLD	199	44	45	8	22	8	1	17	0	3	10	21	20
ADHD	1,624	374	355	102	287	77	27	65	3	30	72	131	101
ASD	3,185	792	630	237	732	136	34	101	3	31	101	191	197
発達障害の重複	969	247	180	73	235	43	14	22	1	7	28	57	62
精神障害	9,158	2,251	1,982	414	1,200	334	211	682	5	214	523	648	694
統合失調症等	797	204	194	25	99	28	10	40	0	11	42	68	76
気分障害	2,994	734	590	138	415	126	65	203	1	53	195	249	225
神経症性障害等	3,675	934	831	171	491	107	92	253	0	86	193	230	287
摂食障害・睡眠障害等	846	174	172	41	90	41	32	99	3	46	48	55	45
他の精神障害	846	205	195	39	105	32	12	87	1	18	45	46	61
その他の障害	2,310	485	512	40	300	71	44	273	0	69	230	169	117

## (4)障害種別・学科(専攻)別 イ 短期大学

## &lt;概要&gt;

○短期大学に在籍している障害学生数(1,845人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「教育」537人、「家政」381人、「社会」211人。

表6 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (短期大学)

(人)	計	人文	社会	教養	工業	農業	保健	家政	教育	芸術	その他
計	1,845	184	211	58	39	9	84	381	537	178	164
視覚障害	22	3	4	0	0	0	1	4	5	2	3
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	22	3	4	0	0	0	1	4	5	2	3
聴覚・言語障害	74	7	7	4	1	0	2	12	27	8	6
聾	7	1	0	0	0	0	0	2	2	0	2
難聴	60	5	7	2	1	0	2	10	22	8	3
言語障害のみ	7	1	0	2	0	0	0	0	3	0	1
肢体不自由	84	9	20	1	0	0	3	22	11	9	9
上肢機能障害	11	1	4	0	0	0	1	1	2	0	2
下肢機能障害	44	4	10	0	0	0	1	15	5	6	3
上下肢機能障害	17	2	4	1	0	0	0	4	3	0	3
他の機能障害	12	2	2	0	0	0	1	2	1	3	1
病弱・虚弱	854	61	79	35	9	4	42	171	316	60	77
内部障害等	473	43	44	19	8	1	24	102	164	28	40
他の慢性疾患	381	18	35	16	1	3	18	69	152	32	37
重複	15	0	3	2	0	0	1	4	2	3	0
発達障害	240	35	35	4	19	0	6	46	42	28	25
SLD	10	1	2	0	0	0	0	2	3	1	1
ADHD	68	15	8	1	4	0	3	16	9	6	6
ASD	131	18	21	2	9	0	3	23	25	14	16
発達障害の重複	31	1	4	1	6	0	0	5	5	7	2
精神障害	359	60	42	7	8	4	21	74	73	37	33
統合失調症等	34	4	5	1	1	1	5	6	3	4	4
気分障害	67	9	7	1	4	0	4	13	17	5	7
神経症性障害等	156	32	18	4	1	1	9	31	34	18	8
摂食障害・睡眠障害等	45	4	5	1	0	0	2	14	9	2	8
他の精神障害	57	11	7	0	2	2	1	10	10	8	6
その他の障害	197	9	21	5	2	1	8	48	61	31	11

(4)障害種別・学科(専攻)別 ウ 高等専門学校

<概要>

○高等専門学校に在籍している障害学生(2,119人)を学科(専攻)別に見ると、ほとんどの障害学生(2,091人)が「工業」に在籍している。

表7 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (高等専門学校)

	(人)	計	社会	工業	商船	芸術
計		2,119	10	2,091	13	5
視覚障害		33	0	33	0	0
	盲	1	0	1	0	0
	弱視	32	0	32	0	0
聴覚・言語障害		81	0	81	0	0
	聾	3	0	3	0	0
	難聴	71	0	71	0	0
	言語障害のみ	7	0	7	0	0
肢体不自由		55	0	55	0	0
	上肢機能障害	6	0	6	0	0
	下肢機能障害	28	0	28	0	0
	上下肢機能障害	8	0	8	0	0
	他の機能障害	13	0	13	0	0
病弱・虚弱		671	3	661	3	4
	内部障害等	358	2	352	0	4
	他の慢性疾患	313	1	309	3	0
重複		10	0	10	0	0
発達障害		848	2	838	8	0
	SLD	22	1	21	0	0
	ADHD	191	0	187	4	0
	ASD	465	1	461	3	0
	発達障害の重複	170	0	169	1	0
精神障害		192	1	189	1	1
	統合失調症等	11	0	11	0	0
	気分障害	44	0	43	0	1
	神経症性障害等	52	0	51	1	0
	摂食障害・睡眠障害等	30	1	29	0	0
	他の精神障害	55	0	55	0	0
その他の障害		229	4	224	1	0

(5)発達障害または精神障害と他の障害の重複(障害種別)

<概要>

- 発達障害と他の障害が重複している障害学生数を障害種別で見ると次のとおり。
  - ・多い順に、「精神障害」との重複が253人、「病弱・虚弱」との重複が99人、「その他の障害」との重複が32人となっている。
  - ・学校種別で見ると、「大学」と「短期大学」では「精神障害」との重複が最も多く、「高等専門学校」では「病弱・虚弱」との重複が最も多くなっている。
- 精神障害と他の障害が重複している障害学生数を障害種別で見ると次のとおり。
  - ・多い順に、「発達障害」との重複が377人、「病弱・虚弱」との重複が107人、「その他の障害」との重複が41人となっている。
  - ・学校種別で見ると、すべての学校種において、「発達障害」との重複が最も多くなっている。

表8 発達障害と他の障害が重複している障害学生数〔障害種別〕

(人)	計	大学					発達障害の重複	短期大学				発達障害の重複	高等専門学校				発達障害の重複
		S	A	D	A	D		S	A	A	D		S	A	A	D	
計	457	408	13	126	216	53	19	1	6	10	2	30	2	7	14	7	
視覚障害	15	12	2	1	7	2	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	
盲	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
弱視	14	11	1	1	7	2	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	
聴覚・言語障害	16	13	0	3	6	4	0	0	0	0	0	3	1	2	0	0	
聾	3	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	
難聴	13	11	0	2	6	3	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
肢体不自由	28	23	3	3	13	4	1	1	0	0	0	4	0	0	3	1	
上肢機能障害	3	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
下肢機能障害	8	5	0	0	4	1	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	
上下肢機能障害	14	13	3	3	6	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
他の機能障害	3	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
病弱・虚弱	99	83	2	18	52	11	3	0	1	2	0	13	1	1	8	3	
内部障害等	44	36	0	10	22	4	1	0	0	1	0	7	0	1	4	2	
他の慢性疾患	55	47	2	8	30	7	2	0	1	1	0	6	1	0	4	1	
重複	14	14	0	4	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
精神障害	253	238	6	88	121	23	10	0	5	5	0	5	0	2	3	0	
統合失調症等	15	15	0	5	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
気分障害	104	99	1	46	39	13	4	0	2	2	0	1	0	1	0	0	
神経症性障害等	87	83	3	26	47	7	3	0	2	1	0	1	0	0	1	0	
摂食障害・睡眠障害等	21	16	2	5	7	2	2	0	1	1	0	3	0	1	2	0	
他の精神障害	26	25	0	6	18	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
その他の障害	32	25	0	9	12	4	2	0	0	0	2	5	0	2	0	3	

表9 精神障害と他の障害が重複している障害学生数[障害種別]

(人)	計	大学						短期大学					高等専門学校						
		統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害			
計	595	567	27	190	194	56	100	24	2	7	6	4	5	4	0	1	1	0	2
視覚障害	7	7	1	1	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	7	7	1	1	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴覚・言語障害	21	21	2	6	3	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聾	2	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	17	17	2	5	2	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
言語障害のみ	2	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	27	26	2	1	5	0	18	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
上肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	7	7	2	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上下肢機能障害	16	16	0	1	1	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	4	3	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	107	101	7	33	33	11	17	5	0	2	1	1	1	1	0	1	0	0	0
内部障害等	55	51	5	11	26	5	4	3	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0
他の慢性疾患	52	50	2	22	7	6	13	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
重複	15	14	2	2	3	2	5	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害	377	359	13	134	129	36	47	15	2	4	4	1	4	3	0	0	1	0	2
SLD	5	5	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	103	102	1	54	22	13	12	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
ASD	218	204	10	63	87	16	28	11	1	3	3	1	3	3	0	0	1	0	2
発達障害の重複	51	48	2	15	19	7	5	3	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
その他の障害	41	39	0	13	18	6	2	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0

### 3. 障害学生在籍学校数

#### (1)障害種別・学校種別

<概要>

○障害学生が在籍している学校は937校で、全学校(1,174校)に占める障害学生在籍校の割合は79.8%。

○障害種別の在籍校数は多い順に「病弱・虚弱」717校、「精神障害」713校、「発達障害」689校。

表10 障害学生在籍学校数 [障害種別・学校種別]

(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
計	937	680	203	54
視覚障害学生が 1人以上在籍する学校数	292	253	22	17
盲	62	61	0	1
弱視	275	237	22	16
聴覚・言語障害学生が 1人以上在籍する学校数	507	427	46	34
聾	115	107	6	2
難聴	464	396	39	29
言語障害のみ	55	42	7	6
肢体不自由学生が 1人以上在籍する学校数	550	470	55	25
上肢機能障害	195	181	9	5
下肢機能障害	359	312	30	17
上下肢機能障害	301	278	16	7
他の機能障害	180	158	11	11
病弱・虚弱学生が 1人以上在籍する学校数	717	545	129	43
内部障害等	647	501	109	37
他の慢性疾患	522	401	86	35
重複障害学生が 1人以上在籍する学校数	175	157	11	7
発達障害学生が 1人以上在籍する学校数	689	536	104	49
SLD	154	132	10	12
ADHD	493	403	49	41
ASD	583	465	70	48
発達障害の重複	338	279	23	36
精神障害学生が 1人以上在籍する学校数	713	547	123	43
統合失調症等	336	296	30	10
気分障害	460	387	51	22
神経症性障害等	536	436	78	22
摂食障害・睡眠障害等	324	269	33	22
他の精神障害	365	299	43	23
その他の障害学生が 1人以上在籍する学校数	421	328	63	30
全体の学校数	1,174	792	325	57

## (2)学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別

## &lt;概要&gt;

○障害学生在籍者数別で見ると、多い順に「21人以上」427校、「0人」237校、「2～5人」173校、「11～20人」134校、「6～10人」125校、「1人」78校。

○障害学生が在籍する学校を全学生数の規模別で見ると、多い順に「1～499人」214校、「1,000～1,999人」189校、「2,000～4,999人」186校。

表11 障害学生在籍学校数 [学校種別・障害学生在籍者数別]

	障害学生 在籍 (校) 学校数	障害学生 在籍率(%)	障害学生 21人以上	障害学生 11～20人	障害学生 6～10人	障害学生 2～5人	障害学生 1人	障害学生 0人	全体の 学校数
計	937	79.8	427	134	125	173	78	237	1,174
大学	680	85.9	374	90	78	98	40	112	792
短期大学	203	62.5	19	31	43	72	38	122	325
高等専門学校	54	94.7	34	13	4	3	0	3	57

表12 障害学生在籍学校数 [学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別]

	障害学生 在籍 (校) 学校数	障害学生 在籍率(%)	障害学生 21人以上	障害学生 11～20人	障害学生 6～10人	障害学生 2～5人	障害学生 1人	障害学生 0人	全体の 学校数
10,000人以上	66	100.0	63	2	1	0	0	0	66
大学	66	100.0	63	2	1	0	0	0	66
短期大学	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
5,000～9,999人	109	100.0	92	10	5	1	1	0	109
大学	109	100.0	92	10	5	1	1	0	109
短期大学	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
2,000～4,999人	186	97.9	118	26	21	19	2	4	190
大学	182	97.8	118	25	20	18	1	4	186
短期大学	4	100.0	0	1	1	1	1	0	4
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
1,000～1,999人	189	88.3	86	36	24	30	13	25	214
大学	152	85.9	65	27	21	26	13	25	177
短期大学	7	100.0	2	2	1	2	0	0	7
高等専門学校	30	100.0	19	7	2	2	0	0	30
500～999人	173	77.9	50	32	29	41	21	49	222
大学	98	75.4	27	16	18	26	11	32	130
短期大学	52	78.8	8	10	9	15	10	14	66
高等専門学校	23	88.5	15	6	2	0	0	3	26
1～499人	214	57.4	18	28	45	82	41	159	373
大学	73	58.9	9	10	13	27	14	51	124
短期大学	140	56.5	9	18	32	54	27	108	248
高等専門学校	1	100.0	0	0	0	1	0	0	1

障害学生在籍率：障害学生在籍校数÷全体の学校数×100 (%)

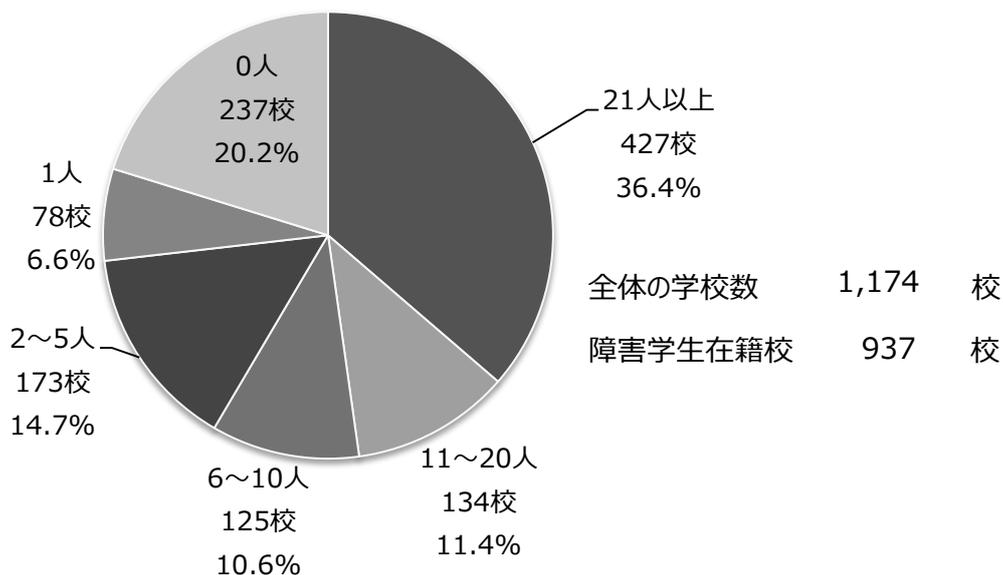


図2 障害学生在籍学校数 [障害学生在籍者数別]

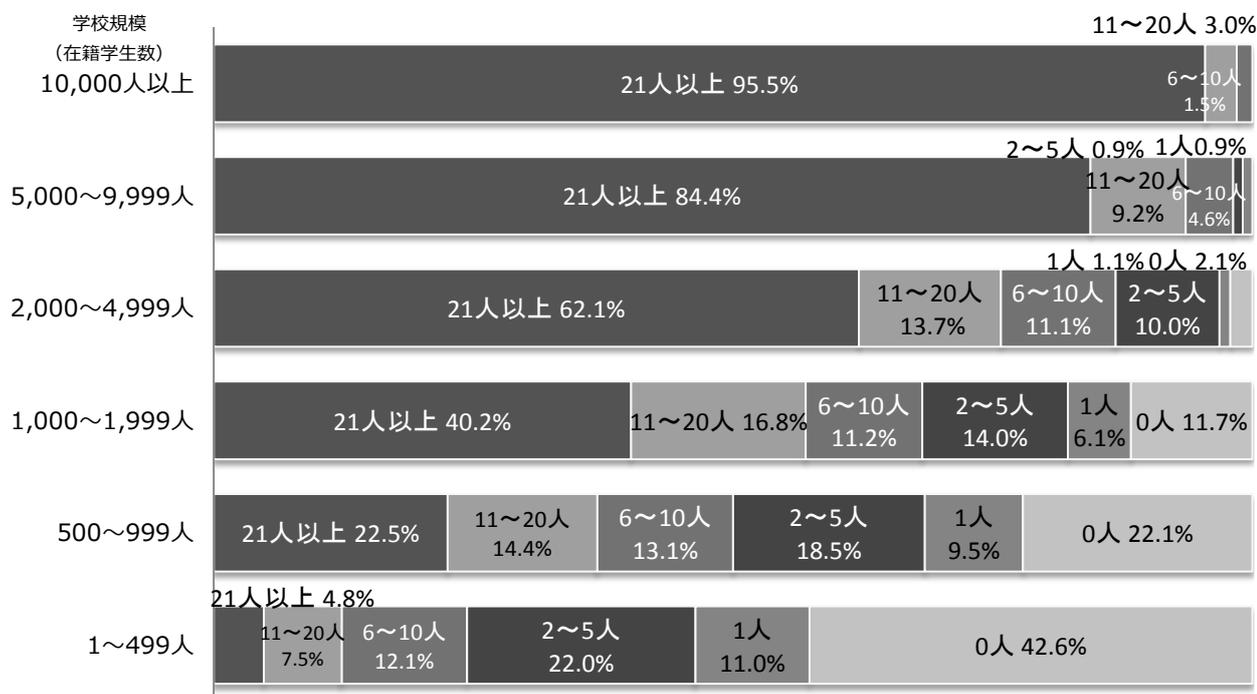


図3 障害学生在籍学校構成比 [在籍学生数別・障害学生在籍者数別]

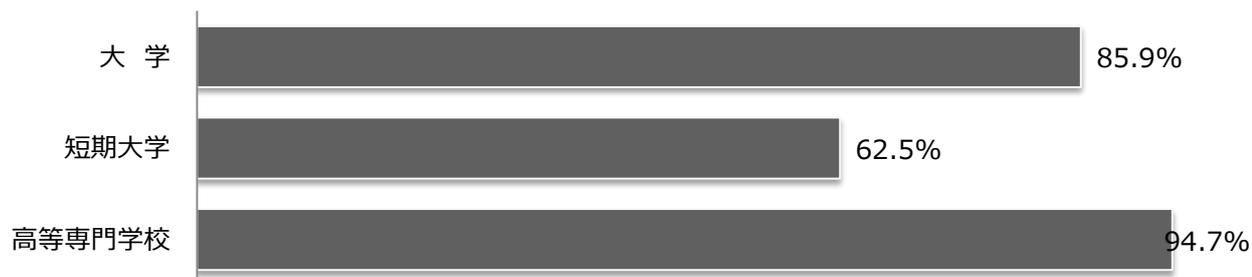


図4 障害学生在籍率 [学校種別]

## 4. 支援障害学生数

### (1) 支援障害学生数

<概要>

- 障害学生(37,647人)のうち支援障害学生(※)の総数は18,702人で、前年度(17,091人)より1,611人の増。
- 学校種別で見ると多い順に、「大学」の16,877人で、前年度(15,366人)より1,511人の増。「高等専門学校」の1,016人で、前年度(975人)より41人の増。「短期大学」の809人で、前年度(750人)より59人の増。
- 学校種別・設置者別で見ると多い順に、「私立大学」の12,062人で、前年度(11,064人)より998人の増。「国立大学」の4,073人で、前年度(3,564人)より509人の増。「国立高等専門学校」の913人で、前年度(906人)より7人の増。
- 課程別で見ると多い順に、「大学の学部(通学)」の14,668人で、前年度(13,206人)より1,462人の増。「大学の学部(通信)」の1,141人で、前年度(1,089人)より52人の増。「大学院(通学)」の1,050人で、前年度(1,037人)より13人の増。

表13 支援障害学生数 [学校種別・設置者別・課程別]

	(人)	計	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
計		18,702 (17,091)	16,429 (14,896)	1,156 (1,093)	1,050 (1,037)	10 (24)	57 (41)
大学		16,877 (15,366)	14,668 (13,206)	1,141 (1,089)	1,050 (1,037)	10 (24)	8 (10)
国立		4,073 (3,564)	3,289	—	780	—	4
公立		742 (738)	713	—	29	—	0
私立		12,062 (11,064)	10,666	1,141	241	10	4
	(人)	計	学科(通学)	学科(通信)	—	—	専攻科
短期大学		809 (750)	783 (742)	15 (4)	—	—	11 (4)
国立		—	—	—	—	—	—
公立		26 (16)	26	—	—	—	0
私立		783 (734)	757	15	—	—	11
	(人)	計	本科(通学)	—	—	—	専攻科
高等専門学校		1,016 (975)	978 (948)	—	—	—	38 (27)
国立		913 (906)	877	—	—	—	36
公立		77 (45)	76	—	—	—	1
私立		26 (24)	25	—	—	—	1

( )内は前年度数値

※支援障害学生：学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている（令和元年度中の予定を含む）障害学生。

(2) 支援障害学生在籍率・障害学生支援率

<概要>

○支援障害学生在籍率で見ると次のとおり。

- ・支援障害学生在籍率は0.58%で、前年度(0.53%)より0.05ポイントの増。
- ・学校種別で見ると多い順に、「高等専門学校」の1.78%で、前年度(1.72%)より0.06ポイントの増。「短期大学」の0.62%で、前年度(0.56%)より0.06ポイントの増。「大学」の0.56%で、前年度(0.51%)より0.05ポイントの増。

○障害学生支援率で見ると次のとおり。

- ・障害学生支援率は49.7%で、前年度(50.5%)より0.8ポイントの減。
- ・学校種別・設置者別で見ると障害学生支援率で50%を超えているのは、「国立大学」で63.5%、「私立高等専門学校」で57.8%となっている。

表14 支援障害学生在籍率・障害学生支援率 [学校種別・設置者別・課程別]

	在籍率 (%)	支援率 (%)	学部(通学)		学部(通信)		大学院(通学)		大学院(通信)		専攻科	
			在籍率	支援率								
計	0.58 (0.53)	49.7 (50.5)	0.59 (0.54)	49.0 (49.9)	0.63 (0.61)	57.4 (52.6)	0.41 (0.41)	53.1 (59.8)	0.26 (0.62)	38.5 (57.1)	0.78 (0.69)	46.7 (48.2)
大学	0.56 (0.51)	50.1 (50.9)	0.56 (0.51)	49.4 (50.1)	0.69 (0.68)	57.3 (52.7)	0.41 (0.41)	53.1 (59.8)	0.26 (0.62)	38.5 (57.1)	0.65 (1.15)	44.4 (83.3)
国立	0.69 (0.60)	63.5 (63.5)	0.75	64.2	—	—	0.51	60.4	—	—	0.77	100.0
公立	0.48 (0.48)	41.2 (43.0)	0.51	42.3	—	—	0.18	25.7	—	—	—	—
私立	0.53 (0.49)	47.4 (48.4)	0.53	46.7	0.69	57.3	0.28	41.9	0.26	38.5	0.69	28.6
短期大学	0.62 (0.56)	43.8 (39.1)	0.72 (0.65)	43.4 (39.3)	0.08 (0.02)	68.2 (33.3)	—	—	—	—	0.38 (0.21)	55.0 (21.1)
国立	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公立	0.45 (0.26)	20.5 (7.2)	0.46	20.5	—	—	—	—	—	—	—	—
私立	0.63 (0.57)	45.6 (43.2)	0.73	45.2	0.08	68.2	—	—	—	—	0.39	55.0
高等専門学校	1.78 (1.72)	47.9 (57.3)	1.82 (1.77)	48.1 (57.5)	—	—	—	—	—	—	1.21 (0.84)	45.2 (50.0)
国立	1.78 (1.76)	47.8 (56.0)	1.82	47.9	—	—	—	—	—	—	1.23	45.0
公立	2.04 (1.51)	46.7 (91.8)	2.11	46.9	—	—	—	—	—	—	0.55	33.3
私立	1.27 (1.11)	57.8 (70.6)	1.25	56.8	—	—	—	—	—	—	2.33	100.0

( )内は前年度数値

※支援障害学生在籍率: 支援障害学生数÷全体の学生数×100(%)

※障害学生支援率: 支援障害学生数÷障害学生数×100(%)

(3)障害種別の支援障害学生数

<概要>

- 障害学生(37,647人)のうち支援障害学生の総数は、18,702人で、前年度(17,091人)より1,611人の増。
- 障害種別で見ると多い順に、「精神障害」の5,771人で、前年度(5,420人)より351人の増。「発達障害」4,990人で、前年度(4,325人)より665人の増。「病弱・虚弱」3,171人で、前年度(2,819人)より352人の増。

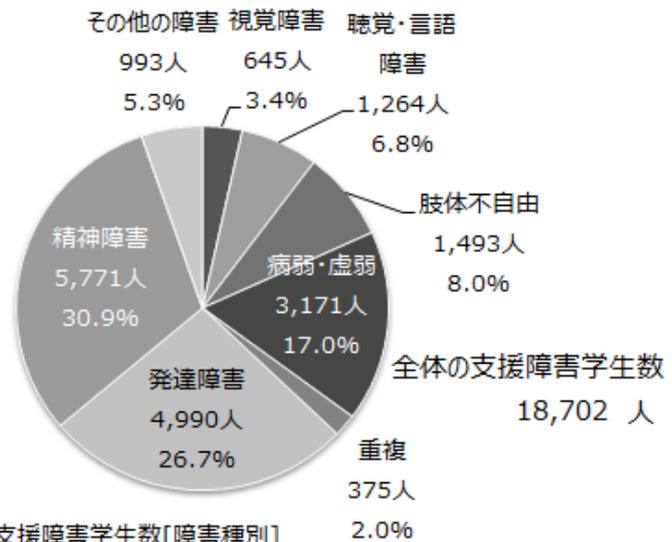


表15 支援障害学生数 [障害種別・学校種別] 図5 支援障害学生数[障害種別]

(人)	計		大学		短期大学		高等専門学校	
	今年	前年度	今年	前年度	今年	前年度	今年	前年度
計	18,702	(17,091)	16,877	(15,366)	809	(750)	1,016	(975)
視覚障害	645	(648)	617	(614)	15	(9)	13	(25)
盲	166	(176)	165		0		1	
弱視	479	(472)	452		15		12	
聴覚・言語障害	1,264	(1,271)	1,191	(1,194)	41	(40)	32	(37)
聾	463	(495)	454		6		3	
難聴	778	(744)	719		33		26	
言語障害のみ	23	(32)	18		2		3	
肢体不自由	1,493	(1,549)	1,408	(1,475)	53	(48)	32	(26)
上肢機能障害	126	(131)	119		5		2	
下肢機能障害	516	(555)	469		29		18	
上下肢機能障害	590	(569)	570		14		6	
他の機能障害	261	(294)	250		5		6	
病弱・虚弱	3,171	(2,819)	2,585	(2,221)	258	(254)	328	(344)
内部障害等	2,137	(1,815)	1,795		162		180	
他の慢性疾患	1,034	(1,004)	790		96		148	
重複	375	(350)	361	(339)	9	(4)	5	(7)
発達障害	4,990	(4,325)	4,402	(3,763)	169	(160)	419	(402)
SLD	168	(134)	145		7		16	
ADHD	1,250	(1,066)	1,111		53		86	
ASD	2,643	(2,436)	2,346		86		211	
発達障害の重複	929	(689)	800		23		106	
精神障害	5,771	(5,420)	5,448	(5,132)	211	(197)	112	(91)
統合失調症等	529	(523)	501		22		6	
気分障害	1,792	(1,635)	1,729		39		24	
神経症性障害等	2,398	(2,178)	2,263		96		39	
摂食障害・睡眠障害等	445	(436)	406		19		20	
他の精神障害	607	(648)	549		35		23	
その他の障害	993	(709)	865	(628)	53	(38)	75	(43)

( )内は前年度数値

## (4)障害種別・学科(専攻)別 ア 大学

&lt;概要&gt;

○大学に在籍している支援障害学生(16,877人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「人文科学」3,875人、「社会科学」3,791人、「工学」2,687人。

表16 支援障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (大学)

(人)	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健(医・歯学)	保健(医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他
計	16,877	3,875	3,791	733	2,687	652	314	1,100	13	349	1,047	802	1,514
視覚障害	617	74	119	14	67	6	9	92	0	7	28	21	180
盲	165	25	24	2	13	2	1	12	0	0	4	9	73
弱視	452	49	95	12	54	4	8	80	0	7	24	12	107
聴覚・言語障害	1,191	201	263	44	267	33	20	86	1	21	122	49	84
聾	454	69	104	10	162	7	1	8	0	8	46	13	26
難聴	719	131	153	32	101	25	19	77	1	13	73	36	58
言語障害のみ	18	1	6	2	4	1	0	1	0	0	3	0	0
肢体不自由	1,408	284	417	41	116	17	13	84	1	17	84	30	304
上肢機能障害	119	18	35	5	10	2	1	7	0	5	11	2	23
下肢機能障害	469	89	116	16	47	2	5	47	0	6	34	9	98
上下肢機能障害	570	122	193	16	40	11	4	20	0	4	20	15	125
他の機能障害	250	55	73	4	19	2	3	10	1	2	19	4	58
病弱・虚弱	2,585	483	548	75	417	134	46	276	0	99	252	118	137
内部障害等	1,795	352	386	59	288	79	39	188	0	76	165	63	100
他の慢性疾患	790	131	162	16	129	55	7	88	0	23	87	55	37
重複	361	58	73	4	75	10	2	47	1	1	18	18	54
発達障害	4,402	1,109	892	316	928	207	60	120	6	50	159	263	292
SLD	145	37	33	4	17	6	1	9	0	3	6	16	13
ADHD	1,111	277	224	75	192	47	17	34	2	23	52	86	82
ASD	2,346	596	482	177	519	114	29	60	3	19	79	120	148
発達障害の重複	800	199	153	60	200	40	13	17	1	5	22	41	49
精神障害	5,448	1,446	1,284	223	684	218	149	332	4	124	299	272	413
統合失調症等	501	120	124	19	66	25	7	22	0	8	20	28	62
気分障害	1,729	453	374	68	242	84	48	99	1	32	101	113	114
神経症性障害等	2,263	625	578	95	262	69	65	129	0	52	118	94	176
摂食障害・睡眠障害等	406	110	81	12	38	21	26	33	2	21	27	16	19
他の精神障害	549	138	127	29	76	19	3	49	1	11	33	21	42
その他の障害	865	220	195	16	133	27	15	63	0	30	85	31	50

(4)障害種別・学科(専攻)別 イ 短期大学

<概要>

○短期大学に在籍している支援障害学生(809人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「教育」225人、「家政」164人、「社会」108人。

表17 支援障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (短期大学)

(人)	計	人 文	社 会	教 養	工 業	農 業	保 健	家 政	教 育	芸 術	そ の 他
計	809	91	108	24	30	1	43	164	225	58	65
視覚障害	15	2	1	0	0	0	1	2	5	1	3
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	15	2	1	0	0	0	1	2	5	1	3
聴覚・言語障害	41	3	5	1	1	0	2	6	13	7	3
聾	6	1	0	0	0	0	0	2	1	0	2
難聴	33	2	5	0	1	0	2	4	11	7	1
言語障害のみ	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
肢体不自由	53	4	18	1	0	0	0	15	6	5	4
上肢機能障害	5	0	3	0	0	0	0	0	1	0	1
下肢機能障害	29	2	9	0	0	0	0	11	3	4	0
上下肢機能障害	14	1	4	1	0	0	0	4	1	0	3
他の機能障害	5	1	2	0	0	0	0	0	1	1	0
病弱・虚弱	258	20	24	8	7	1	18	50	105	9	16
内部障害等	162	9	15	7	6	0	12	33	64	8	8
他の慢性疾患	96	11	9	1	1	1	6	17	41	1	8
重複	9	0	2	2	0	0	0	2	0	3	0
発達障害	169	25	23	4	15	0	5	30	34	15	18
SLD	7	1	1	0	0	0	0	1	3	0	1
ADHD	53	13	6	1	4	0	3	11	8	3	4
ASD	86	10	13	2	8	0	2	14	19	6	12
発達障害の重複	23	1	3	1	3	0	0	4	4	6	1
精神障害	211	35	26	7	5	0	13	46	48	15	16
統合失調症等	22	2	4	1	1	0	3	4	3	3	1
気分障害	39	4	3	1	2	0	2	8	13	2	4
神経症性障害等	96	22	10	4	1	0	7	17	22	9	4
摂食障害・睡眠障害等	19	1	3	1	0	0	0	8	4	0	2
他の精神障害	35	6	6	0	1	0	1	9	6	1	5
その他の障害	53	2	9	1	2	0	4	13	14	3	5

(4)障害種別・学科(専攻)別 ウ 高等専門学校

<概要>

○高等専門学校に在籍している支援障害学生(1,016人)を学科(専攻)別に見ると、障害学生数と同様に、ほとんどの支援障害学生(998人)が「工業」に在籍している。

表18 支援障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (高等専門学校)

	(人)	計	社会	工業	商船	芸術
計		1,016	10	998	4	4
視覚障害		13	0	13	0	0
盲		1	0	1	0	0
弱視		12	0	12	0	0
聴覚・言語障害		32	0	32	0	0
聾		3	0	3	0	0
難聴		26	0	26	0	0
言語障害のみ		3	0	3	0	0
肢体不自由		32	0	32	0	0
上肢機能障害		2	0	2	0	0
下肢機能障害		18	0	18	0	0
上下肢機能障害		6	0	6	0	0
他の機能障害		6	0	6	0	0
病弱・虚弱		328	3	321	0	4
内部障害等		180	2	174	0	4
他の慢性疾患		148	1	147	0	0
重複		5	0	5	0	0
発達障害		419	2	414	3	0
SLD		16	1	15	0	0
ADHD		86	0	84	2	0
ASD		211	1	210	0	0
発達障害の重複		106	0	105	1	0
精神障害		112	1	110	1	0
統合失調症等		6	0	6	0	0
気分障害		24	0	24	0	0
神経症性障害等		39	0	38	1	0
摂食障害・睡眠障害等		20	1	19	0	0
他の精神障害		23	0	23	0	0
その他の障害		75	4	71	0	0

(5)発達障害または精神障害と他の障害の重複(障害種別)

<概要>

- 発達障害と他の障害が重複している障害学生のうち、支援障害学生数を障害種別で見ると、多い順に「精神障害」190人、「病弱・虚弱」62人となっている。
- 精神障害と他の障害が重複している障害学生のうち、支援障害学生数を障害種別で見ると、多い順に「発達障害」288人、「病弱・虚弱」62人となっている。

表19 発達障害と他の障害が重複している支援障害学生数 [障害種別]

	大学		発達障害の重複				短期大学			発達障害の重複		高等専門学校			発達障害の重複	
	(人)	計	S L D	A D D	A S D	発達障害の重複	S L D	A D D	A S D	発達障害の重複	S L D	A D D	A S D	発達障害の重複		
計	331	302	8	93	161	40	17	1	6	8	2	12	1	4	4	3
視覚障害	12	9	0	1	6	2	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	12	9	0	1	6	2	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0
聴覚・言語障害	14	11	0	3	5	3	0	0	0	0	0	3	1	2	0	0
聾	3	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
難聴	11	9	0	2	5	2	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	20	18	2	2	11	3	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1
上肢機能障害	3	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
下肢機能障害	3	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上下肢機能障害	11	10	2	2	5	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	3	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	62	55	1	9	39	6	2	0	1	1	0	5	0	0	3	2
内部障害等	32	28	0	6	18	4	1	0	0	1	0	3	0	0	2	1
他の慢性疾患	30	27	1	3	21	2	1	0	1	0	0	2	0	0	1	1
重複	10	10	0	4	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神障害	190	179	5	67	87	20	9	0	5	4	0	2	0	1	1	0
統合失調症等	12	12	0	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
気分障害	76	73	1	36	25	11	3	0	2	1	0	0	0	0	0	0
神経症性障害等	66	62	3	21	31	7	3	0	2	1	0	1	0	0	1	0
摂食障害・睡眠障害等	12	9	1	2	5	1	2	0	1	1	0	1	0	1	0	0
他の精神障害	24	23	0	4	18	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
その他の障害	23	20	0	7	10	3	2	0	0	0	2	1	0	1	0	0

表20 精神障害と他の障害が重複している支援障害学生数[障害種別]

(人)	計	大学						短期大学					高等専門学校			他の精神障害			
		統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害			
計	428	408	24	131	142	38	73	17	1	5	5	3	3	3	0	1	0	0	2
視覚障害	5	5	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	5	5	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴覚・言語障害	13	13	1	5	2	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聾	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	11	11	1	4	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
言語障害のみ	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	19	18	2	1	4	0	11	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
上肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	6	6	2	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上下肢機能障害	10	10	0	1	1	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	3	2	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	62	58	5	16	22	4	11	3	0	2	0	0	1	1	0	1	0	0	0
内部障害等	35	33	4	5	18	2	4	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
他の慢性疾患	27	25	1	11	4	2	7	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
重複	9	8	2	0	2	0	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害	288	276	13	99	95	30	39	10	1	2	4	1	2	2	0	0	0	0	2
SLD	4	4	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	84	83	1	41	19	12	10	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
ASD	155	146	10	42	60	11	23	7	0	1	3	1	2	2	0	0	0	0	2
発達障害の重複	45	43	2	14	16	7	4	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の障害	32	30	0	9	15	4	2	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0

## 5. 支援障害学生在籍学校数

### (1)障害種別・学校種別

<概要>

○支援障害学生が在籍している学校は832校で、全学校(1,174校)に占める支援障害学生在籍校(832校)の割合は70.9%。

○障害種別の支援障害学生の在籍校は、多い順に「発達障害」615校、「精神障害」604校、「病弱・虚弱」521校。

表21 支援障害学生在籍学校数 [障害種別・学校種別]

(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
計	832	614	165	53
支援視覚障害学生が 1人以上在籍する学校数	226	201	15	10
盲	61	60	0	1
弱視	206	182	15	9
支援聴覚・言語障害学生が 1人以上在籍する学校数	374	325	29	20
聾	106	99	5	2
難聴	331	292	23	16
言語障害のみ	22	17	2	3
支援肢体不自由学生が 1人以上在籍する学校数	414	365	33	16
上肢機能障害	83	78	3	2
下肢機能障害	248	218	18	12
上下肢機能障害	245	226	13	6
他の機能障害	126	115	5	6
支援病弱・虚弱学生が 1人以上在籍する学校数	521	404	82	35
内部障害等	449	359	63	27
他の慢性疾患	329	262	43	24
支援重複障害学生が 1人以上在籍する学校数	141	129	7	5
支援発達障害学生が 1人以上在籍する学校数	615	484	83	48
SLD	118	100	7	11
ADHD	397	329	39	29
ASD	501	407	52	42
発達障害の重複	291	243	18	30
支援精神障害学生が 1人以上在籍する学校数	604	477	91	36
統合失調症等	257	232	20	5
気分障害	362	313	34	15
神経症性障害等	444	371	56	17
摂食障害・睡眠障害等	215	183	16	16
他の精神障害	278	236	28	14
支援その他の障害学生が 1人以上在籍する学校数	307	253	32	22
全体の学校数	1,174	792	325	57

(2)学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別

<概要>

- 支援障害学生在籍者数別で見ると、多い順に「0人」342校、「21人以上」251校、「2～5人」206校、「11～20人」150校、「6～10人」125校、「1人」100校。
- 支援障害学生が在籍する学校を全学生数の規模別で見ると、多い順に「1,000～1,999人」171校、「2,000～4,999人」169校、「1～499人」163校。

表22 支援障害学生在籍学校数 [学校種別・支援障害学生在籍者数別]

	支援障害 学生在籍 (校)	支援 障害学生 在籍率(%)	支援 障害学生 21人以上	支援 障害学生 11～20人	支援 障害学生 6～10人	支援 障害学生 2～5人	支援 障害学生 1人	支援 障害学生 0人	全体の 学校数
計	832	70.9	251	150	125	206	100	342	1,174
大学	614	77.5	236	120	82	119	57	178	792
短期大学	165	50.8	2	17	28	75	43	160	325
高等専門学校	53	93.0	13	13	15	12	0	4	57

表23 支援障害学生在籍学校数 [学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別]

	支援障害 学生在籍 (校)	支援 障害学生 在籍率(%)	支援 障害学生 21人以上	支援 障害学生 11～20人	支援 障害学生 6～10人	支援 障害学生 2～5人	支援 障害学生 1人	支援 障害学生 0人	全体の 学校数
10,000人以上	66	100.0	60	2	3	0	1	0	66
大学	66	100.0	60	2	3	0	1	0	66
短期大学	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
5,000～9,999人	109	100.0	72	19	10	5	3	0	109
大学	109	100.0	72	19	10	5	3	0	109
短期大学	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
2,000～4,999人	169	88.9	68	44	25	24	8	21	190
大学	168	90.3	68	44	25	24	7	18	186
短期大学	1	25.0	0	0	0	0	1	3	4
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
1,000～1,999人	171	79.9	35	46	31	47	12	43	214
大学	134	75.7	28	32	21	41	12	43	177
短期大学	7	100.0	0	4	1	2	0	0	7
高等専門学校	30	100.0	7	10	9	4	0	0	30
500～999人	154	69.4	13	24	31	51	35	68	222
大学	86	66.2	6	15	16	29	20	44	130
短期大学	46	69.7	1	6	9	15	15	20	66
高等専門学校	22	84.6	6	3	6	7	0	4	26
1～499人	163	43.7	3	15	25	79	41	210	373
大学	51	41.1	2	8	7	20	14	73	124
短期大学	111	44.8	1	7	18	58	27	137	248
高等専門学校	1	100.0	0	0	0	1	0	0	1

支援障害学生在籍率：支援障害学生在籍校数÷全体の学校数×100 (%)

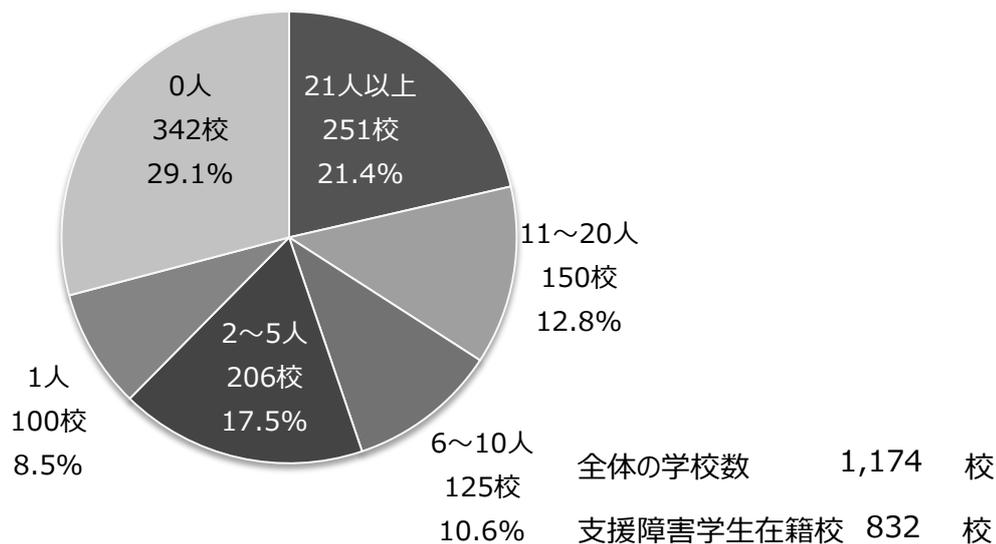


図6 支援障害学生在籍学校数 [支援障害学生在籍者数別]

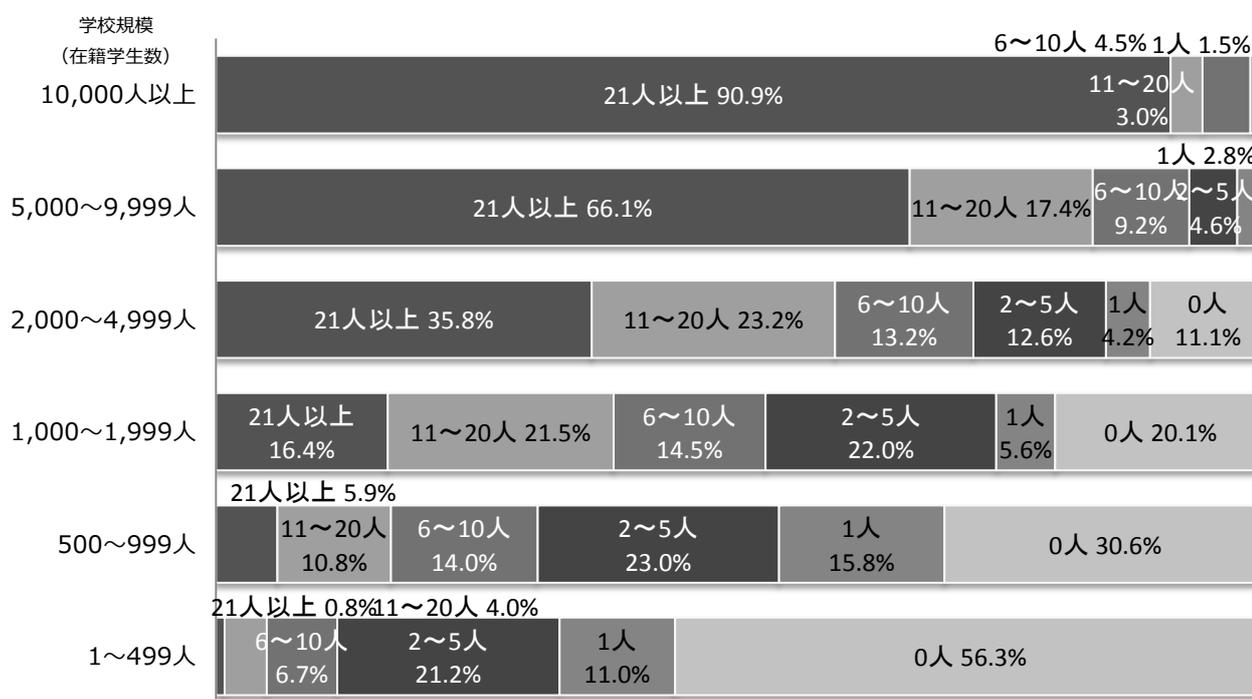


図7 支援障害学生在籍学校構成比 [在籍学生数別・支援障害学生在籍者数別]

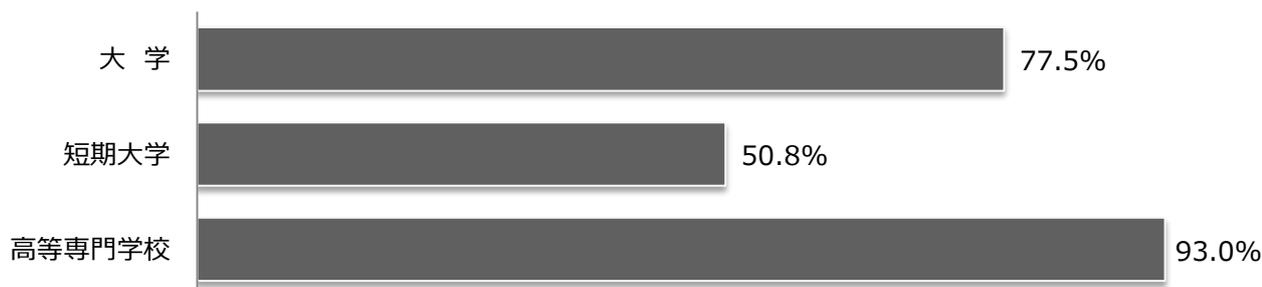


図8 支援障害学生在籍率 [学校種別]

## 6. 支援の実施状況

### (1)障害種別・学校種別

<概要>

- 障害学生への授業に関する支援を実施している学校は799校で、支援実施状況を障害種別に見ると、多い順に「発達障害」562校、「精神障害」528校、「病弱・虚弱」461校。
- 障害学生への授業以外の支援を実施している学校は637校で、支援実施状況を障害種別に見ると、多い順に「発達障害」467校、「精神障害」438校、「病弱・虚弱」332校。

表24 授業支援実施状況 [障害種別・学校種別]

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
実施校数		799	595	151	53
視覚障害		218	193	15	10
聴覚・言語障害		366	318	29	19
肢体不自由		385	341	28	16
病弱・虚弱		461	362	70	29
重複		133	121	7	5
発達障害		562	451	68	43
精神障害		528	425	73	30
その他の障害		272	226	27	19

表25 授業以外の支援実施状況 [障害種別・学校種別]

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
実施校数		637	483	114	40
視覚障害		99	95	4	0
聴覚・言語障害		148	131	11	6
肢体不自由		281	257	18	6
病弱・虚弱		332	267	45	20
重複		86	81	2	3
発達障害		467	377	55	35
精神障害		438	354	59	25
その他の障害		171	147	16	8

## (2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 ア 授業支援(総表)

&lt;概要&gt;

○障害学生への授業支援状況について、多い順に「22 配慮依頼文書の配付」549校、「17 教室内座席配慮」530校、「23 出席に関する配慮」444校。

表26 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (総表)

	(校)	計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数		799	218	366	385	461	133	562	528	272
1 点訳・墨訳		39	38	—	—	—	3	—	—	—
2 教材のテキストデータ化		121	75	11	15	4	15	23	4	2
3 教材の拡大		164	119	4	20	11	19	29	3	0
4 ガイドヘルプ		53	33	1	23	1	7	2	0	1
5 リーディングサービス		36	26	2	2	2	3	5	0	0
6 手話通訳		56	2	56	—	—	3	—	—	—
7 ノートテイク		168	11	142	20	4	19	10	7	4
8 パソコンテイク		126	9	109	7	3	10	11	3	4
9 ビデオ教材字幕付け・文字起こし		83	6	77	2	1	11	2	1	3
10 チューターまたはティーチング・アシスタントの活用		91	20	22	16	5	6	51	13	3
11 試験時間延長・別室受験		315	90	30	122	57	32	134	122	47
12 解答方法配慮		219	78	22	84	22	23	77	25	6
13 パソコンの持込使用許可		192	70	19	70	16	27	82	8	6
14 注意事項等文書伝達		300	32	129	33	51	26	176	77	18
15 使用教室配慮		256	32	34	169	53	30	37	28	16
16 実技・実習配慮		377	63	77	158	166	46	120	106	44
17 教室内座席配慮		530	116	220	230	131	72	192	196	96
18 FM補聴器・マイク使用		193	—	191	—	—	13	—	—	—
19 専用机・イス・スペース確保		227	22	17	176	35	32	13	13	15
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用		120	51	65	4	4	7	9	4	1
21 講義に関する配慮		381	78	92	106	56	42	246	109	27
22 配慮依頼文書の配付		549	142	257	253	316	99	405	357	193
23 出席に関する配慮		444	15	7	142	247	51	209	303	123
24 学習指導		270	18	12	19	59	14	192	113	21
25 授業内容の代替、提出期限延長等		281	28	26	55	81	22	172	156	32
26 履修支援		282	50	46	55	52	22	190	126	26
27 学外実習・フィールドワーク配慮		252	32	54	88	88	26	89	77	30
28 その他		312	59	65	76	114	29	168	130	51

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 イ 授業以外の支援(総表)

<概要>

○障害学生への授業以外の支援状況について、多い順に「8 専門家によるカウンセリング」447校、「11 休憩室・治療室の確保等」264校、「5 自己管理指導」258校、「9 医療機関との連携」257校。

○障害種別で見ると多い順に「8 専門家によるカウンセリング」は「発達障害」と「精神障害」346校、「11 休憩室・治療室の確保等」については「精神障害」146校、「病弱・虚弱」133校。

表27 授業以外の支援実施状況〔支援内容別・障害種別〕 (総表)

	(校)	計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数		637	99	148	281	332	86	467	438	171
学生生活支援		401	53	53	175	116	52	244	181	39
1 居場所の確保		235	25	15	49	44	18	171	135	19
2 通学支援		186	11	4	141	48	29	10	20	6
3 個別支援情報の収集		161	22	29	48	42	17	81	46	14
4 情報取得支援		144	23	25	24	22	16	94	46	13
社会的スキル指導		340	12	29	29	66	14	269	178	31
5 自己管理指導		258	6	14	15	40	10	224	117	20
6 対人関係配慮		253	11	20	9	31	9	195	131	19
7 日常生活支援		107	2	5	11	23	7	67	51	8
保健管理・生活支援		533	39	64	161	250	49	378	381	129
8 専門家によるカウンセリング		447	21	41	46	130	21	346	346	97
9 医療機関との連携		257	8	9	28	77	12	152	166	27
10 医療機器、薬剤の保管等		86	2	1	15	51	7	11	17	3
11 休憩室・治療室の確保等		264	19	20	84	133	22	116	146	50
12 生活介助		50	0	0	42	3	6	0	0	1
13 介助者の入構、入室許可		105	7	7	72	18	17	6	11	2
進路・就職指導		332	51	83	104	95	32	228	148	42
14 キャリア教育		201	30	49	54	55	17	145	84	28
15 障害学生向け求人情報の提供		204	45	69	73	55	23	126	74	27
16 就職支援情報の提供、支援機関の紹介		241	40	59	77	63	21	175	96	28
17 インターンシップ先の開拓		98	19	24	26	23	10	67	32	11
18 就職先の開拓、就職活動支援		188	32	40	58	53	15	130	83	20
その他		183	26	23	58	69	18	78	61	19

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

## (2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 ウ 授業支援(大学)

&lt;概要&gt;

○障害学生への授業支援状況について、多い順に「22 配慮依頼文書の配付」437校、「17 教室内座席配慮」426校、「23 出席に関する配慮」364校。

表28 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (大学)

	(校)	計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数		595	193	318	341	362	121	451	425	226
1 点訳・墨訳		39	38	—	—	—	3	—	—	—
2 教材のテキストデータ化		116	72	11	15	3	15	22	4	2
3 教材の拡大		144	106	4	16	9	19	28	3	0
4 ガイドヘルプ		52	32	1	23	1	7	2	0	1
5 リーディングサービス		35	26	1	2	2	3	5	0	0
6 手話通訳		55	2	55	—	—	3	—	—	—
7 ノートテイク		163	11	138	20	4	19	10	7	3
8 パソコンテイク		120	8	106	7	3	10	9	3	3
9 ビデオ教材字幕付け・文字起こし		83	6	77	2	1	11	2	1	3
10 チューターまたはティーチング・アシスタントの活用		82	20	22	16	5	6	43	13	2
11 試験時間延長・別室受験		267	85	28	114	51	31	115	108	38
12 解答方法配慮		203	75	20	82	20	23	70	23	5
13 パソコンの持込使用許可		175	65	19	68	14	25	74	8	5
14 注意事項等文書伝達		255	29	120	31	40	23	149	70	16
15 使用教室配慮		225	29	30	154	46	27	30	22	13
16 実技・実習配慮		297	55	64	133	127	42	101	86	34
17 教室内座席配慮		426	102	191	212	114	67	157	168	84
18 FM補聴器・マイク使用		172	—	170	—	—	12	—	—	—
19 専用机・イス・スペース確保		210	21	16	165	31	30	12	12	15
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用		112	50	61	4	3	7	8	3	1
21 講義に関する配慮		336	72	87	98	52	41	222	95	26
22 配慮依頼文書の配付		437	130	231	236	265	91	344	305	168
23 出席に関する配慮		364	15	6	134	211	48	189	255	111
24 学習指導		214	16	11	18	46	14	158	89	20
25 授業内容の代替、提出期限延長等		248	26	26	51	72	22	155	144	31
26 履修支援		250	48	45	52	47	21	173	116	24
27 学外実習・フィールドワーク配慮		203	29	48	77	68	24	74	59	25
28 その他		257	55	59	70	95	28	141	113	39

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 エ授業以外の支援(大学)

<概要>

○大学における障害学生への授業以外の支援について、実施校数が多い順に「8 専門家によるカウンセリング」346校、「11 休憩室・治療室の確保等」218校、「5 自己管理指導」217校。

表29 授業以外の支援実施状況〔支援内容別・障害種別〕 (大学)

	(校)	計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数		483	95	131	257	267	81	377	354	147
学生生活支援		322	52	43	163	93	49	195	152	34
1 居場所の確保		194	25	15	47	37	17	140	115	17
2 通学支援		175	11	3	137	44	28	9	18	6
3 個別支援情報の収集		119	21	21	41	27	16	59	36	11
4 情報取得支援		125	23	23	23	20	16	80	41	11
社会的スキル指導		275	11	26	28	52	14	225	149	27
5 自己管理指導		217	6	13	15	34	10	192	106	18
6 対人関係配慮		206	10	18	8	24	9	162	107	18
7 日常生活支援		91	2	5	11	18	7	59	44	6
保健管理・生活支援		411	37	59	151	199	47	308	314	115
8 専門家によるカウンセリング		346	20	36	41	108	21	284	284	88
9 医療機関との連携		205	7	7	25	60	10	126	140	26
10 医療機器、薬剤の保管等		71	2	1	14	39	6	10	15	3
11 休憩室・治療室の確保等		218	19	20	81	108	22	97	121	43
12 生活介助		46	0	0	38	3	6	0	0	1
13 介助者の入構、入室許可		99	7	7	70	15	17	5	11	2
進路・就職指導		268	49	76	99	83	32	191	128	38
14 キャリア教育		168	30	46	50	47	17	123	74	24
15 障害学生向け求人情報の提供		174	44	62	70	51	23	110	68	26
16 就職支援情報の提供、支援機関の紹介		200	39	54	75	57	21	149	84	27
17 インターンシップ先の開拓		81	18	22	25	20	10	57	26	9
18 就職先の開拓、就職活動支援		151	31	37	55	46	15	109	72	17
その他		152	26	19	54	57	17	65	49	16

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

## (2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 才 授業支援(短期大学)

&lt;概要&gt;

○障害学生への授業支援状況について、多い順に「22 配慮依頼文書の配付」88校、「17 教室内座席配慮」79校、「23 出席に関する配慮」60校。

表30 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (短期大学)

	(校)	計	視覚 障害	聴覚・ 言語 障害	肢 体 不 自 由	病 弱 ・ 虚 弱	重 複	発 達 障 害	精 神 障 害	そ の 他 の 障 害
実施校数		151	15	29	28	70	7	68	73	27
1 点訳・墨訳		0	0	—	—	—	0	—	—	—
2 教材のテキストデータ化		2	2	0	0	0	0	0	0	0
3 教材の拡大		14	10	0	4	0	0	0	0	0
4 ガイドヘルプ		1	1	0	0	0	0	0	0	0
5 リーディングサービス		0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 手話通訳		1	0	1	—	—	0	—	—	—
7 ノートテイク		5	0	4	0	0	0	0	0	1
8 パソコンテイク		4	0	3	0	0	0	1	0	0
9 ビデオ教材字幕付け・文字起こし		0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 チューターまたはティーチング・アシスタントの活用		6	0	0	0	0	0	5	0	1
11 試験時間延長・別室受験		26	4	1	6	2	0	9	9	4
12 解答方法配慮		9	3	1	2	1	0	3	1	0
13 パソコンの持込使用許可		7	3	0	1	0	1	2	0	0
14 注意事項等文書伝達		29	2	6	0	7	2	14	4	1
15 使用教室配慮		21	2	3	10	4	1	4	4	0
16 実技・実習配慮		52	4	8	13	24	1	11	15	6
17 教室内座席配慮		79	10	19	15	11	2	21	24	6
18 FM補聴器・マイク使用		12	—	12	—	—	1	—	—	—
19 専用机・イス・スペース確保		10	1	1	7	2	0	1	1	0
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用		5	1	4	0	0	0	0	0	0
21 講義に関する配慮		32	4	4	6	3	1	16	12	1
22 配慮依頼文書の配付		88	7	18	12	40	5	42	41	18
23 出席に関する配慮		60	0	1	4	30	2	11	36	10
24 学習指導		31	2	1	0	8	0	13	16	1
25 授業内容の代替、提出期限延長等		19	1	0	2	3	0	8	9	1
26 履修支援		31	2	1	3	5	1	16	10	2
27 学外実習・フィールドワーク配慮		39	2	5	6	14	1	11	16	4
28 その他		32	1	2	3	11	0	12	9	6

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

## (2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 カ 授業以外の支援(短期大学)

&lt;概要&gt;

○短期大学における障害学生への授業以外の支援について、実施校数が多い順に「8 専門家によるカウンセリング」67校、「16 就職支援情報の提供、支援機関の紹介」32校、「9 医療機関との連携」及び「11 休憩室・治療室の確保等」30校、「15 障害学生向け求人情報の提供」28校。

表31 授業以外の支援実施状況〔支援内容別・障害種別〕 (短期大学)

	(校)	計	視覚 障害	聴覚・ 言語 障害	肢 体 不 自 由	病 弱 ・ 虚 弱	重 複	発 達 障 害	精 神 障 害	そ の 他 の 障 害
実施校数		114	4	11	18	45	2	55	59	16
学生生活支援		53	1	5	8	17	1	26	20	3
1 居場所の確保		26	0	0	0	6	1	17	13	2
2 通学支援		10	0	1	4	4	0	1	2	0
3 個別支援情報の収集		24	1	4	5	10	0	7	5	1
4 情報取得支援		11	0	1	0	1	0	6	4	2
社会的スキル指導		40	1	2	0	11	0	23	20	4
5 自己管理指導		25	0	1	0	5	0	16	11	2
6 対人関係配慮		27	1	1	0	5	0	16	16	1
7 日常生活支援		12	0	0	0	4	0	5	5	2
保健管理・生活支援		85	2	4	8	34	1	39	45	11
8 専門家によるカウンセリング		67	1	4	4	17	0	33	41	8
9 医療機関との連携		30	1	1	2	13	1	10	14	1
10 医療機器、薬剤の保管等		5	0	0	1	4	0	0	0	0
11 休憩室・治療室の確保等		30	0	0	2	15	0	10	18	5
12 生活介助		3	0	0	3	0	0	0	0	0
13 介助者の入構、入室許可		5	0	0	2	2	0	1	0	0
進路・就職指導		49	2	7	4	10	0	26	17	3
14 キャリア教育		22	0	3	3	6	0	14	8	3
15 障害学生向け求人情報の提供		28	1	7	3	4	0	14	6	1
16 就職支援情報の提供、支援機関の紹介		32	1	5	1	5	0	18	10	1
17 インターンシップ先の開拓		11	1	2	1	2	0	5	5	2
18 就職先の開拓、就職活動支援		27	1	3	3	6	0	13	9	3
その他		20	0	1	3	7	1	6	9	0

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

## (2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 キ 授業支援(高等専門学校)

&lt;概要&gt;

○障害学生への授業支援状況について、多い順に「16 実技・実習配慮」28校、「17 教室内座席配慮」と「24 学習指導」25校、「22 配慮依頼文書の配付」24校。

表32 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (高等専門学校)

	(校)	計	視覚 障害	聴覚・ 言語 障害	肢 体 不 自 由	病 弱 ・ 虚 弱	重 複	発 達 障 害	精 神 障 害	そ の 他 の 障 害
実施校数		53	10	19	16	29	5	43	30	19
1 点訳・墨訳		0	0	—	—	—	0	—	—	—
2 教材のテキストデータ化		3	1	0	0	1	0	1	0	0
3 教材の拡大		6	3	0	0	2	0	1	0	0
4 ガイドヘルプ		0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 リーディングサービス		1	0	1	0	0	0	0	0	0
6 手話通訳		0	0	0	—	—	0	—	—	—
7 ノートテイク		0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 パソコンテイク		2	1	0	0	0	0	1	0	1
9 ビデオ教材字幕付け・文字起こし		0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 チューターまたはティーチング・アシスタントの活用		3	0	0	0	0	0	3	0	0
11 試験時間延長・別室受験		22	1	1	2	4	1	10	5	5
12 解答方法配慮		7	0	1	0	1	0	4	1	1
13 パソコンの持込使用許可		10	2	0	1	2	1	6	0	1
14 注意事項等文書伝達		16	1	3	2	4	1	13	3	1
15 使用教室配慮		10	1	1	5	3	2	3	2	3
16 実技・実習配慮		28	4	5	12	15	3	8	5	4
17 教室内座席配慮		25	4	10	3	6	3	14	4	6
18 FM補聴器・マイク使用		9	—	9	—	—	0	—	—	—
19 専用机・イス・スペース確保		7	0	0	4	2	2	0	0	0
20 読み上げソフト・音声認識ソフト使用		3	0	0	0	1	0	1	1	0
21 講義に関する配慮		13	2	1	2	1	0	8	2	0
22 配慮依頼文書の配付		24	5	8	5	11	3	19	11	7
23 出席に関する配慮		20	0	0	4	6	1	9	12	2
24 学習指導		25	0	0	1	5	0	21	8	0
25 授業内容の代替、提出期限延長等		14	1	0	2	6	0	9	3	0
26 履修支援		1	0	0	0	0	0	1	0	0
27 学外実習・フィールドワーク配慮		10	1	1	5	6	1	4	2	1
28 その他		23	3	4	3	8	1	15	8	6

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

## (2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別 ク 授業以外の支援(高等専門学校)

&lt;概要&gt;

○高等専門学校における障害学生への授業以外の支援について、実施校数が多い順に「8 専門家によるカウンセリング」34校、「9 医療機関との連携」22校、「6 対人関係配慮」20校。

表33 授業以外の支援実施状況〔支援内容別・障害種別〕（高等専門学校）

	(校)	計	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	病弱・虚弱	重複	発達障害	精神障害	その他の障害
実施校数		40	0	6	6	20	3	35	25	8
学生生活支援		26	0	5	4	6	2	23	9	2
1 居場所の確保		15	0	0	2	1	0	14	7	0
2 通学支援		1	0	0	0	0	1	0	0	0
3 個別支援情報の収集		18	0	4	2	5	1	15	5	2
4 情報取得支援		8	0	1	1	1	0	8	1	0
社会的スキル指導		25	0	1	1	3	0	21	9	0
5 自己管理指導		16	0	0	0	1	0	16	0	0
6 対人関係配慮		20	0	1	1	2	0	17	8	0
7 日常生活支援		4	0	0	0	1	0	3	2	0
保健管理・生活支援		37	0	1	2	17	1	31	22	3
8 専門家によるカウンセリング		34	0	1	1	5	0	29	21	1
9 医療機関との連携		22	0	1	1	4	1	16	12	0
10 医療機器、薬剤の保管等		10	0	0	0	8	1	1	2	0
11 休憩室・治療室の確保等		16	0	0	1	10	0	9	7	2
12 生活介助		1	0	0	1	0	0	0	0	0
13 介助者の入構、入室許可		1	0	0	0	1	0	0	0	0
進路・就職指導		15	0	0	1	2	0	11	3	1
14 キャリア教育		11	0	0	1	2	0	8	2	1
15 障害学生向け求人情報の提供		2	0	0	0	0	0	2	0	0
16 就職支援情報の提供、支援機関の紹介		9	0	0	1	1	0	8	2	0
17 インターンシップ先の開拓		6	0	0	0	1	0	5	1	0
18 就職先の開拓、就職活動支援		10	0	0	0	1	0	8	2	0
その他		11	0	3	1	5	0	7	3	3

※ 各障害種別に支援内容は複数回答あり

(3)主な支援 ア 視覚障害

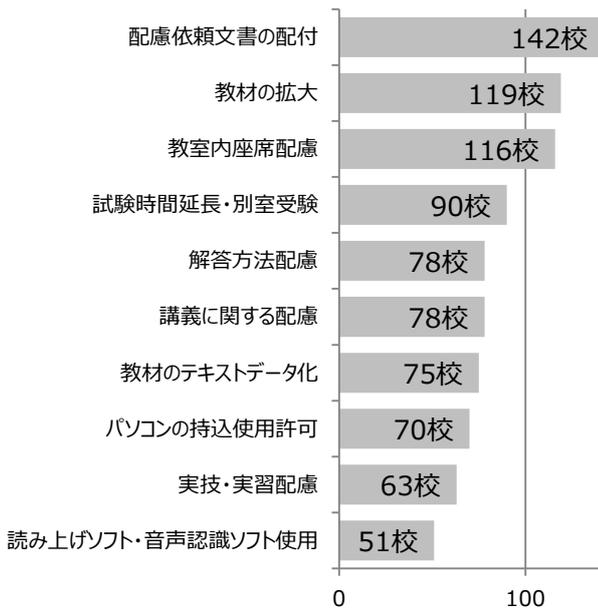


図9 主な授業支援（視覚障害）

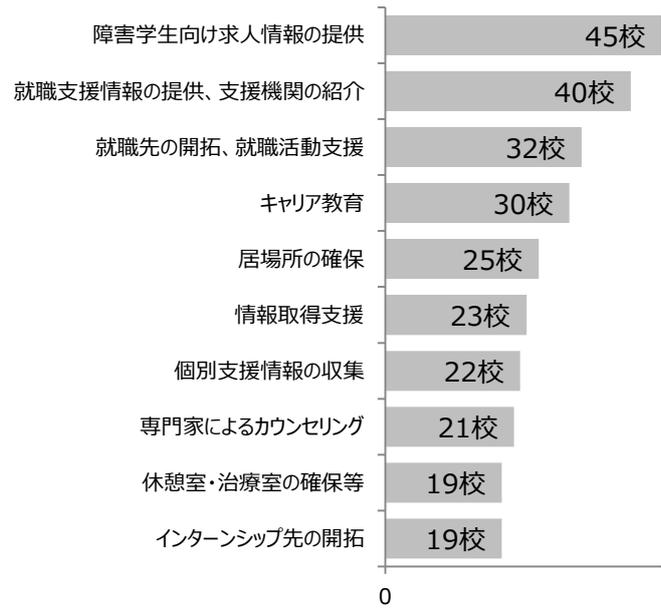


図10 主な授業以外の支援（視覚障害）

※ 複数回答あり

(3)主な支援 イ 聴覚・言語障害

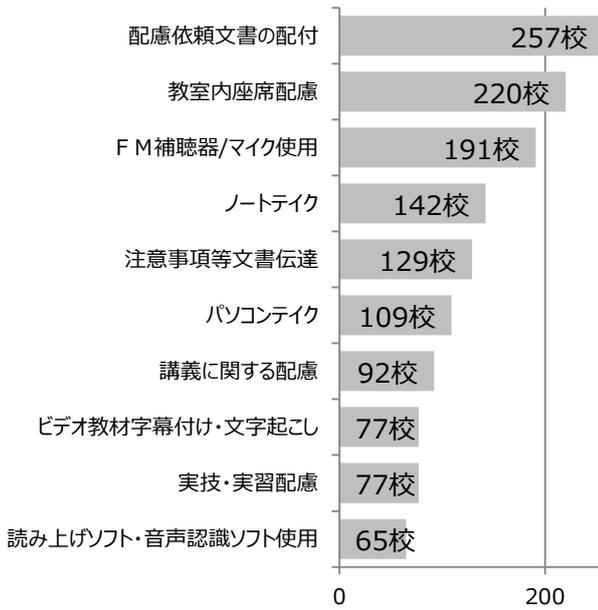


図11 主な授業支援（聴覚・言語障害）

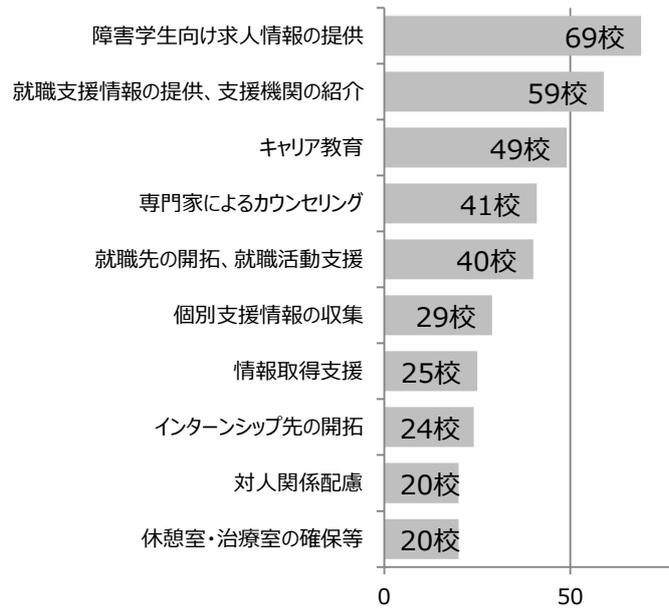


図12 主な授業以外の支援（聴覚・言語障害）

※ 複数回答あり

(3)主な支援 ウ 肢体不自由

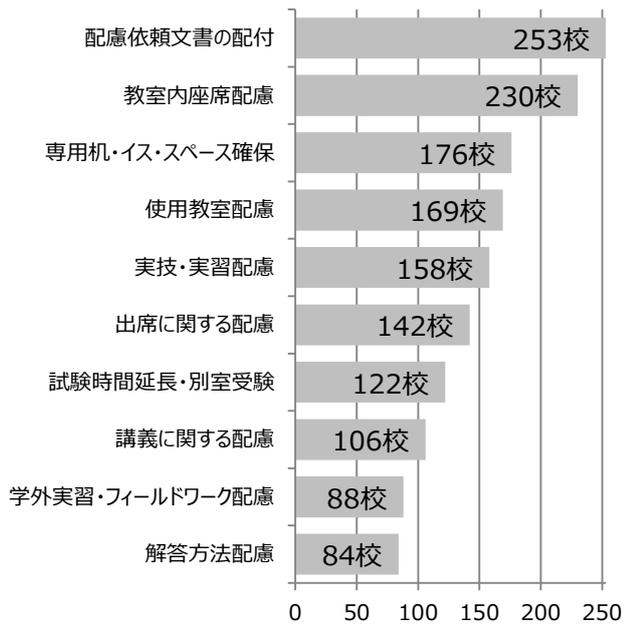


図13 主な授業支援（肢体不自由）

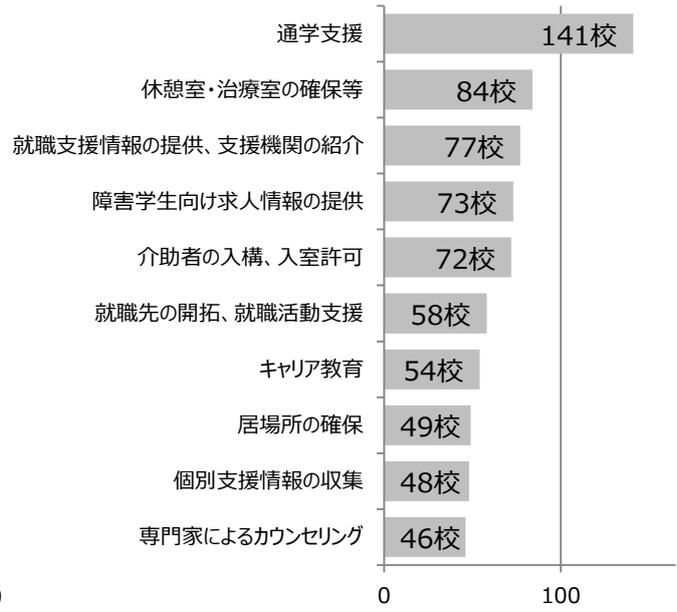


図14 主な授業以外の支援（肢体不自由）

※ 複数回答あり

(3)主な支援 エ 病弱・虚弱

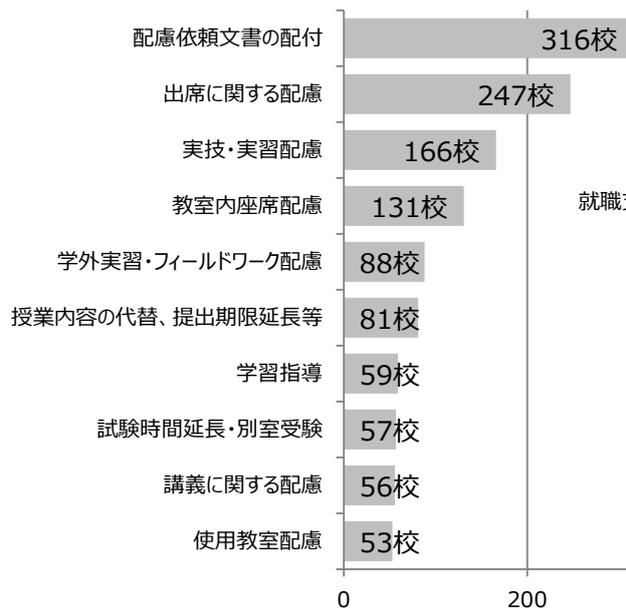


図15 主な授業支援（病弱・虚弱）

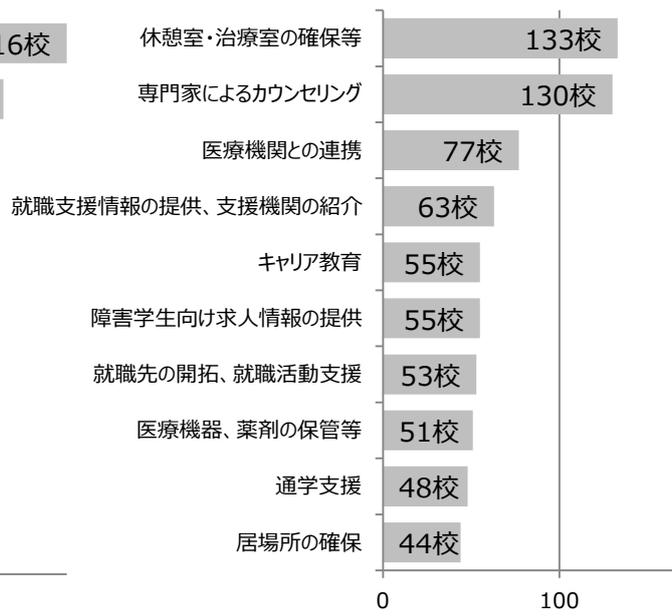


図16 主な授業以外の支援（病弱・虚弱）

※ 複数回答あり

(3)主な支援 オ 発達障害

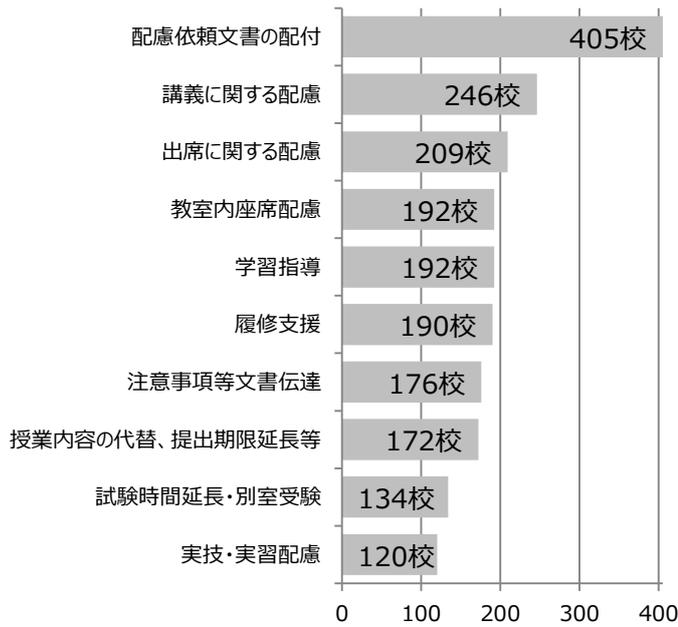


図17 主な授業支援（発達障害）

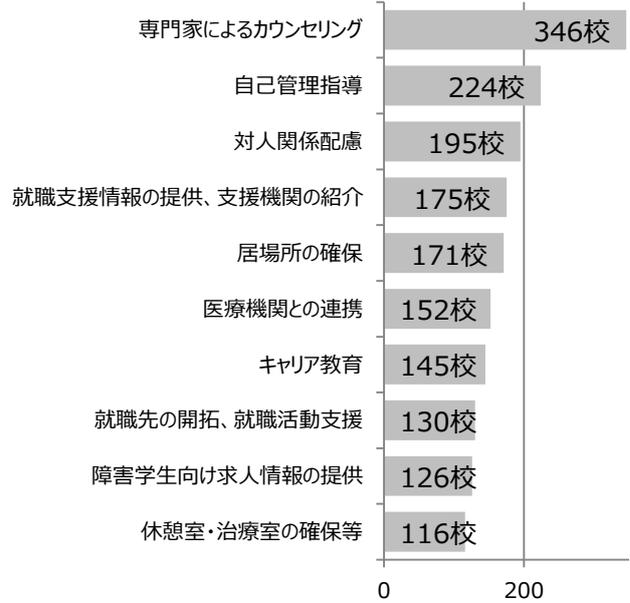


図18 主な授業以外の支援（発達障害）

※ 複数回答あり

(3)主な支援 カ 精神障害

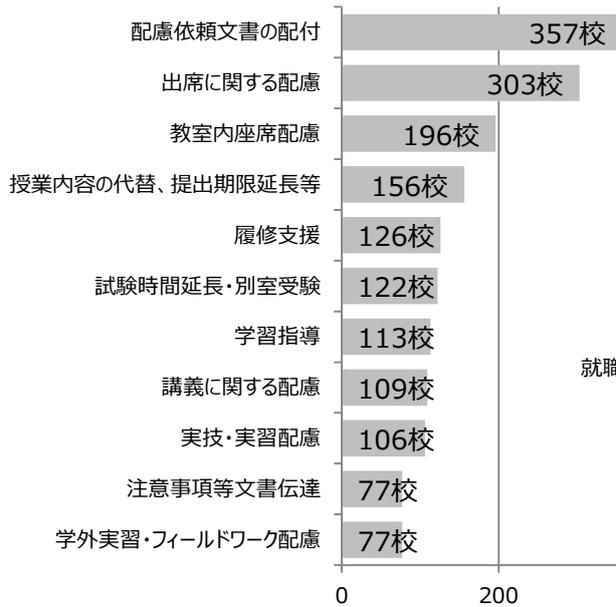


図19 主な授業支援（精神障害）

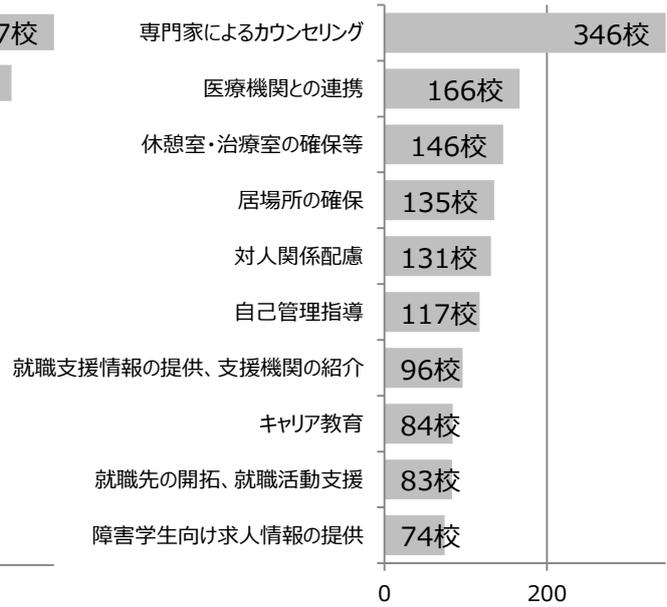


図20 主な授業以外の支援（精神障害）

※ 複数回答あり

## 7. 障害学生支援に関する体制等

### (1)障害者差別解消法に関する対応要領等(障害学生数別・学校種別)

<概要>

○障害者差別解消法に関する対応要領等の設置状況を見ると、「対応要領または基本方針、規程等がある」学校は698校で、全学校(1,174校)の59.5%。「令和元年度中に策定予定」である学校75校を合わせると773校であり、全学校(1,174校)の65.8%。「対応要領または基本方針、規則等はない」学校は401校で全学校(1,174校)の34.2%。

表34 障害者差別解消法に関する対応要領等 [学校種別]

	全体の学校数 (校)	対応要領または基本方針 規程等がある			令和元年度中に策定予定			対応要領または基本方針 規程等はない		
		(%)	支援障 害学生 在籍校		(%)	支援障 害学生 在籍校		(%)	支援障 害学生 在籍校	
計	1,174	698	59.5	588	75	6.4	51	401	34.2	193
大学	792	508	64.1	446	41	5.2	31	243	30.7	137
短期大学	325	141	43.4	96	31	9.5	17	153	47.1	52
高等専門学校	57	49	86.0	46	3	5.3	3	5	8.8	4

表35 障害者差別解消法に関する対応要領等 [障害学生数別・学校種別]

	全体の学校数 (校)	対応要領または基本方針 規程等がある			平成30年度中に策定予定			対応要領または基本方針 規程等はない		
		(%)	支援障 害学生 在籍校		(%)	支援障 害学生 在籍校		(%)	支援障 害学生 在籍校	
障害学生21人以上	427	341	79.9	339	20	4.7	19	66	15.5	59
大学	374	296	79.1	294	18	4.8	17	60	16.0	54
短期大学	19	13	68.4	13	1	5.3	1	5	26.3	4
高等専門学校	34	32	94.1	32	1	2.9	1	1	2.9	1
障害学生11～20人	134	83	61.9	82	12	9.0	10	39	29.1	32
大学	90	62	68.9	62	3	3.3	3	25	27.8	21
短期大学	31	12	38.7	12	7	22.6	5	12	38.7	9
高等専門学校	13	9	69.2	8	2	15.4	2	2	15.4	2
障害学生6～10人	125	74	59.2	66	10	8.0	9	41	32.8	33
大学	78	46	59.0	40	8	10.3	7	24	30.8	21
短期大学	43	25	58.1	23	2	4.7	2	16	37.2	11
高等専門学校	4	3	75.0	3	0	0.0	0	1	25.0	1
障害学生2～5人	173	90	52.0	76	13	7.5	10	70	40.5	44
大学	98	48	49.0	37	5	5.1	3	45	45.9	28
短期大学	72	39	54.2	36	8	11.1	7	25	34.7	16
高等専門学校	3	3	100.0	3	0	0.0	0	0	0.0	0
障害学生1人	78	34	43.6	25	3	3.8	3	41	52.6	25
大学	40	19	47.5	13	1	2.5	1	20	50.0	13
短期大学	38	15	39.5	12	2	5.3	2	21	55.3	12
高等専門学校	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
障害学生0人	237	76	32.1	—	17	7.2	—	144	60.8	—
大学	112	37	33.0	—	6	5.4	—	69	61.6	—
短期大学	122	37	30.3	—	11	9.0	—	74	60.7	—
高等専門学校	3	2	66.7	—	0	0.0	—	1	33.3	—

※支援障害学生在籍学校数:支援障害学生が在籍している学校数

(2)専門委員会等の設置状況(障害学生数別・学校種別)

<概要>

○障害学生支援に関する専門委員会の設置状況を見てみると、「専門委員会を設置」している学校は474校で、全学校(1,174校)の40.4%。「他の委員会が対応」する学校は575校で、全学校(1,174校)の49.0%。これらを合わせた「対応する委員会がある」学校は1,049校で、全学校(1,174校)の89.4%となっている。

表36 障害学生支援に関する専門委員会等[学校種別]

	全体の 学校数		対応する委員会がある				対応する委員会はない						
	(校)	(%)	専門委員会を設置 支援障 害学生 在籍校	(%)	他の委員会が対応 支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校				
計	1,174	1,049	89.4	783	474	40.4	410	575	49.0	373	125	10.6	49
大学	792	722	91.2	581	348	43.9	316	374	47.2	265	70	8.8	33
短期大学	325	275	84.6	152	98	30.2	67	177	54.5	85	50	15.4	13
高等専門学校	57	52	91.2	50	28	49.1	27	24	42.1	23	5	8.8	3

表37 障害学生支援に関する専門委員会等[障害学生数別・学校種別]

	全体の 学校数		対応する委員会がある				対応する委員会はない						
	(校)	(%)	専門委員会を設置 支援障 害学生 在籍校	(%)	他の委員会が対応 支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校				
障害学生21人以上	427	412	96.5	404	255	59.7	252	157	36.8	152	15	3.5	13
大学	374	362	96.8	354	226	60.4	223	136	36.4	131	12	3.2	11
短期大学	19	16	84.2	16	10	52.6	10	6	31.6	6	3	15.8	2
高等専門学校	34	34	100.0	34	19	55.9	19	15	44.1	15	0	0.0	0
障害学生11～20人	134	117	87.3	111	47	35.1	46	70	52.2	65	17	12.7	13
大学	90	81	90.0	78	34	37.8	34	47	52.2	44	9	10.0	8
短期大学	31	27	87.1	24	10	32.3	9	17	54.8	15	4	12.9	2
高等専門学校	13	9	69.2	9	3	23.1	3	6	46.2	6	4	30.8	3
障害学生6～10人	125	118	94.4	102	49	39.2	45	69	55.2	57	7	5.6	6
大学	78	74	94.9	64	28	35.9	25	46	59.0	39	4	5.1	4
短期大学	43	40	93.0	34	19	44.2	18	21	48.8	16	3	7.0	2
高等専門学校	4	4	100.0	4	2	50.0	2	2	50.0	2	0	0.0	0
障害学生2～5人	173	150	86.7	116	61	35.3	51	89	51.4	65	23	13.3	14
大学	98	82	83.7	60	35	35.7	28	47	48.0	32	16	16.3	8
短期大学	72	65	90.3	53	23	31.9	20	42	58.3	33	7	9.7	6
高等専門学校	3	3	100.0	3	3	100.0	3	0	0.0	0	0	0.0	0
障害学生1人	78	70	89.7	50	22	28.2	16	48	61.5	34	8	10.3	3
大学	40	35	87.5	25	10	25.0	6	25	62.5	19	5	12.5	2
短期大学	38	35	92.1	25	12	31.6	10	23	60.5	15	3	7.9	1
高等専門学校	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0
障害学生0人	237	182	76.8	—	40	16.9	—	142	59.9	—	55	23.2	—
大学	112	88	78.6	—	15	13.4	—	73	65.2	—	24	21.4	—
短期大学	122	92	75.4	—	24	19.7	—	68	55.7	—	30	24.6	—
高等専門学校	3	2	66.7	—	1	33.3	—	1	33.3	—	1	33.3	—

※支援障害学生在籍学校数:支援障害学生が在籍している学校数

(3)紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況(障害学生数別・学校種別)

<概要>

- 紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況を見ると、「第三者視点で調査を行なう機関がある」学校73校と「他の機関が対応している」学校477校を合わせた550校で、組織的な対応をしており、全学校(1,174校)の46.8%にあたる。
- 「第三者的視点で調整を行なう機関はない」学校は624校で、全学校の(1,174校)の53.2%にあたる。

表38 紛争の防止、解決等に関する調整機関[学校種別]

	全体の対応する機関がある 学校数				第三者的視点で調整を行なう機関がある				第三者的視点で調整を行なう機関はない				
			支援障害学生 在籍校				支援障害学生 在籍校				支援障害学生 在籍校		
	(校)	(%)	(%)	(校)	(%)	(%)	(校)	(%)	(%)	(校)	(%)		
計	1,174	550	46.8	426	73	6.2	66	477	40.6	360	624	53.2	406
大学	792	403	50.9	332	64	8.1	60	339	42.8	272	389	49.1	282
短期大学	325	123	37.8	71	7	2.2	4	116	35.7	67	202	62.2	94
高等専門学校	57	24	42.1	23	2	3.5	2	22	38.6	21	33	57.9	30

表39 紛争の防止、解決等に関する調整機関[障害学生数別・学校種別]

	全体の対応する機関がある 学校数				第三者的視点で調整を行なう機関がある				第三者的視点で調整を行なう機関はない				
			支援障害学生 在籍校				支援障害学生 在籍校				支援障害学生 在籍校		
	(校)	(%)	(%)	(%)	(校)	(%)	(%)	(校)	(%)	(%)	(校)	(%)	
障害学生21人以上	427	241	56.4	236	45	10.5	43	196	45.9	193	186	43.6	181
大学	374	221	59.1	216	43	11.5	41	178	47.6	175	153	40.9	149
短期大学	19	7	36.8	7	1	5.3	1	6	31.6	6	12	63.2	11
高等専門学校	34	13	38.2	13	1	2.9	1	12	35.3	12	21	61.8	21
障害学生11～20人	134	63	47.0	60	12	9.0	12	51	38.1	48	71	53.0	64
大学	90	42	46.7	41	11	12.2	11	31	34.4	30	48	53.3	45
短期大学	31	14	45.2	12	0	0.0	0	14	45.2	12	17	54.8	14
高等専門学校	13	7	53.8	7	1	7.7	1	6	46.2	6	6	46.2	5
障害学生6～10人	125	59	47.2	52	6	4.8	5	53	42.4	47	66	52.8	56
大学	78	36	46.2	31	4	5.1	4	32	41.0	27	42	53.8	37
短期大学	43	21	48.8	19	2	4.7	1	19	44.2	18	22	51.2	17
高等専門学校	4	2	50.0	2	0	0.0	0	2	50.0	2	2	50.0	2
障害学生2～5人	173	71	41.0	56	4	2.3	3	67	38.7	53	102	59.0	74
大学	98	44	44.9	33	4	4.1	3	40	40.8	30	54	55.1	35
短期大学	72	26	36.1	22	0	0.0	0	26	36.1	22	46	63.9	37
高等専門学校	3	1	33.3	1	0	0.0	0	1	33.3	1	2	66.7	2
障害学生1人	78	27	34.6	22	3	3.8	3	24	30.8	19	51	65.4	31
大学	40	14	35.0	11	1	2.5	1	13	32.5	10	26	65.0	16
短期大学	38	13	34.2	11	2	5.3	2	11	28.9	9	25	65.8	15
高等専門学校	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0
障害学生0人	237	89	37.6	—	3	1.3	—	86	36.3	—	148	62.4	—
大学	112	46	41.1	—	1	0.9	—	45	40.2	—	66	58.9	—
短期大学	122	42	34.4	—	2	1.6	—	40	32.8	—	80	65.6	—
高等専門学校	3	1	33.3	—	0	0.0	—	1	33.3	—	2	66.7	—

※支援障害学生在籍学校数:支援障害学生が在籍している学校数

(4) 1)障害学生支援担当部署の設置状況(障害学生数別・学校種別)

<概要>

○障害学生支援担当部署の設置状況を見ると、「専門部署・機関を設置」している学校261校と「他の部署・機関が対応」する学校865校を合わせた1,126校で、組織的な対応をしており、全学校(1,174校)の95.9%にあたる。

○「対応する部署・機関はない」学校は48校で、全学校の(1,174校)の4.1%にあたる。

表40 障害学生支援担当部署[学校種別]

	全体の 学校数		対応する部署・機関がある						対応する部署・機関はない				
	(校)	(%)	専門部署・機関を設置			他の部署・機関が対応			支援障 害学生 在籍校		支援障 害学生 在籍校		
			(校)	(%)	(%)	(校)	(%)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)
計	1,174	1,126	95.9	824	261	22.2	240	865	73.7	584	48	4.1	8
大学	792	768	97.0	610	204	25.8	195	564	71.2	415	24	3.0	4
短期大学	325	303	93.2	162	41	12.6	29	262	80.6	133	22	6.8	3
高等専門学校	57	55	96.5	52	16	28.1	16	39	68.4	36	2	3.5	1

表41 障害学生支援担当部署[障害学生数別・学校種別]

	全体の 学校数		対応する部署・機関がある						対応する部署・機関はない				
	(校)	(%)	専門部署・機関を設置			他の部署・機関が対応			支援障 害学生 在籍校		支援障 害学生 在籍校		
			(校)	(%)	(%)	(校)	(%)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)
障害学生21人以上	427	425	99.5	416	171	40.0	171	254	59.5	245	2	0.5	1
大学	374	373	99.7	364	155	41.4	155	218	58.3	209	1	0.3	1
短期大学	19	18	94.7	18	3	15.8	3	15	78.9	15	1	5.3	0
高等専門学校	34	34	100.0	34	13	38.2	13	21	61.8	21	0	0.0	0
障害学生11～20人	134	130	97.0	121	19	14.2	19	111	82.8	102	4	3.0	3
大学	90	89	98.9	85	13	14.4	13	76	84.4	72	1	1.1	1
短期大学	31	29	93.5	25	3	9.7	3	26	83.9	22	2	6.5	1
高等専門学校	13	12	92.3	11	3	23.1	3	9	69.2	8	1	7.7	1
障害学生6～10人	125	124	99.2	107	24	19.2	23	100	80.0	84	1	0.8	1
大学	78	77	98.7	67	13	16.7	12	64	82.1	55	1	1.3	1
短期大学	43	43	100.0	36	11	25.6	11	32	74.4	25	0	0.0	0
高等専門学校	4	4	100.0	4	0	0.0	0	4	100.0	4	0	0.0	0
障害学生2～5人	173	167	96.5	129	25	14.5	22	142	82.1	107	6	3.5	1
大学	98	94	95.9	68	16	16.3	13	78	79.6	55	4	4.1	0
短期大学	72	70	97.2	58	9	12.5	9	61	84.7	49	2	2.8	1
高等専門学校	3	3	100.0	3	0	0.0	0	3	100.0	3	0	0.0	0
障害学生1人	78	74	94.9	51	7	9.0	5	67	85.9	46	4	5.1	2
大学	40	37	92.5	26	2	5.0	2	35	87.5	24	3	7.5	1
短期大学	38	37	97.4	25	5	13.2	3	32	84.2	22	1	2.6	1
高等専門学校	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0
障害学生0人	237	206	86.9	—	15	6.3	—	191	80.6	—	31	13.1	—
大学	112	98	87.5	—	5	4.5	—	93	83.0	—	14	12.5	—
短期大学	122	106	86.9	—	10	8.2	—	96	78.7	—	16	13.1	—
高等専門学校	3	2	66.7	—	0	0.0	—	2	66.7	—	1	33.3	—

※支援障害学生在籍学校数:支援障害学生が在籍している学校数

(4) 2)障害学生支援担当者の配置状況(障害学生数別・学校種別)

<概要>

○障害学生支援担当者の配置状況を見てみると、「専任」を配置している学校229校と「兼任」を配置している学校889校を合わせた1,118校で、支援担当者を配置しており、全学校(1,174校)の95.2%にあたる。

表42 障害学生支援担当者[学校種別]

	全体の 学校数 (校)	支援担当者を配置		専任		兼任		外部委託				
		(校)	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)			
計	1,174	1,118	95.2	821	229	19.5	208	889	75.7	613	507	43.2
大学	792	765	96.6	608	190	24.0	183	575	72.6	425	338	42.7
短期大学	325	299	92.0	162	35	10.8	22	264	81.2	140	127	39.1
高等専門学校	57	54	94.7	51	4	7.0	3	50	87.7	48	42	73.7

表43 障害学生支援担当者[障害学生数別・学校種別]

	全体の 学校数 (校)	支援担当者を配置		専任		兼任		外部委託				
		(校)	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)			
障害学生21人以上	427	423	99.1	415	162	37.9	162	261	61.1	253	215	50.4
大学	374	371	99.2	363	155	41.4	155	216	57.8	208	177	47.3
短期大学	19	18	94.7	18	5	26.3	5	13	68.4	13	10	52.6
高等専門学校	34	34	100.0	34	2	5.9	2	32	94.1	32	28	82.4
障害学生11～20人	134	129	96.3	120	13	9.7	13	116	86.6	107	64	47.8
大学	90	88	97.8	85	10	11.1	10	78	86.7	75	42	46.7
短期大学	31	30	96.8	25	2	6.5	2	28	90.3	23	13	41.9
高等専門学校	13	11	84.6	10	1	7.7	1	10	76.9	9	9	69.2
障害学生6～10人	125	124	99.2	107	12	9.6	12	112	89.6	95	59	47.2
大学	78	77	98.7	67	4	5.1	4	73	93.6	63	36	46.2
短期大学	43	43	100.0	36	8	18.6	8	35	81.4	28	19	44.2
高等専門学校	4	4	100.0	4	0	0.0	0	4	100.0	4	4	100.0
障害学生2～5人	173	168	97.1	128	17	9.8	15	151	87.3	113	69	39.9
大学	98	94	95.9	67	11	11.2	10	83	84.7	57	37	37.8
短期大学	72	71	98.6	58	6	8.3	5	65	90.3	53	31	43.1
高等専門学校	3	3	100.0	3	0	0.0	0	3	100.0	3	1	33.3
障害学生1人	78	75	96.2	51	9	11.5	6	66	84.6	45	27	34.6
大学	40	38	95.0	26	5	12.5	4	33	82.5	22	14	35.0
短期大学	38	37	97.4	25	4	10.5	2	33	86.8	23	13	34.2
高等専門学校	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
障害学生0人	237	199	84.0	—	16	6.8	—	183	77.2	—	73	30.8
大学	112	97	86.6	—	5	4.5	—	92	82.1	—	32	28.6
短期大学	122	100	82.0	—	10	8.2	—	90	73.8	—	41	33.6
高等専門学校	3	2	66.7	—	1	33.3	—	1	33.3	—	0	0.0

※支援障害学生在籍学校数：支援障害学生が在籍している学校数

※複数回答あり

※専任担当者と兼任担当者の両方が配置されている学校については、専任配置校とした。

(4) 3)障害学生支援担当者の職種(職種別・障害学生数別・学校種別)

<概要>

○障害学生支援担当者別の配置校数を職種別に多い順に並べると次のとおり。

- ・専任スタッフでは、最も多いのが「コーディネーター」114校。次いで「職員」112校、「教員」63校。
- ・兼任スタッフでは、最も多いのが「職員」972校。次いで「教員」675校、「カウンセラー」387校。
- ・外部委託では、最も多いのが「医師・カウンセラー等」455校。次いで「専門技能者」58校。

表44 障害学生支援担当者[職種別・学校種別]

(校)	計	専任スタッフ									兼任スタッフ									外部委託		
		コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他				
計	937	229	114	42	8	7	112	63	42	1,085	98	387	193	22	972	675	67	507	455	58	34	
大学	680	190	96	36	7	7	99	55	32	744	68	279	163	18	676	440	49	338	297	47	22	
短期大学	203	35	17	6	0	0	12	5	10	289	21	93	27	4	249	188	15	127	116	11	6	
高等専門学校	54	4	1	0	1	0	1	3	0	52	9	15	3	0	47	47	3	42	42	0	6	

表45 障害学生支援担当者[職種別・障害学生数別・学校種別]

(校)	計	専任スタッフ									兼任スタッフ									外部委託		
		コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他				
障害学生21人以上	427	162	89	28	7	5	85	46	24	409	47	190	109	10	364	261	34	215	184	37	22	
大学	374	155	85	27	6	5	82	45	24	359	41	175	105	10	317	222	31	177	146	37	17	
短期大学	19	5	3	1	0	0	3	0	0	17	1	6	2	0	16	9	2	10	10	0	0	
高等専門学校	34	2	1	0	1	0	0	1	0	33	5	9	2	0	31	30	1	28	28	0	5	
障害学生11～20人	134	13	5	2	0	1	6	3	2	129	10	47	16	1	118	75	8	64	60	5	3	
大学	90	10	4	2	0	1	5	2	2	88	6	31	13	1	80	46	5	42	39	3	2	
短期大学	31	2	1	0	0	0	1	0	0	30	1	13	3	0	28	18	2	13	12	2	0	
高等専門学校	13	1	0	0	0	0	0	1	0	11	3	3	0	0	10	11	1	9	9	0	1	
障害学生6～10人	125	12	8	1	0	0	6	1	2	122	11	40	18	3	113	73	5	59	56	5	1	
大学	78	4	2	1	0	0	2	0	1	77	7	28	13	2	74	42	4	36	34	2	1	
短期大学	43	8	6	0	0	0	4	1	1	41	3	11	5	1	36	28	1	19	18	3	0	
高等専門学校	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	0	0	3	3	0	4	4	0	0	
障害学生2～5人	173	17	6	2	0	0	10	7	6	159	13	55	23	3	143	106	7	69	62	5	5	
大学	98	11	4	1	0	0	8	6	3	87	7	22	14	2	81	56	4	37	34	3	2	
短期大学	72	6	2	1	0	0	2	1	3	69	6	32	9	1	60	48	2	31	27	2	3	
高等専門学校	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	2	2	1	1	1	0	0	
障害学生1人	78	9	2	4	1	0	3	1	2	73	7	14	4	1	67	44	3	27	25	2	0	
大学	40	5	1	3	1	0	2	1	1	37	4	4	2	1	36	20	1	14	13	1	0	
短期大学	38	4	1	1	0	0	1	0	1	36	3	10	2	0	31	24	2	13	12	1	0	
高等専門学校	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
障害学生0人	237	16	4	5	0	1	2	5	6	193	10	41	23	4	167	116	10	73	68	4	3	
大学	112	5	0	2	0	1	0	1	1	96	3	19	16	2	88	54	4	32	31	1	0	
短期大学	122	10	4	3	0	0	1	3	5	96	7	21	6	2	78	61	6	41	37	3	3	
高等専門学校	3	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	

※ 複数回答あり

表46 支援障害学生在籍校における障害学生支援担当者[職種別・学校種別]

(校)	支援障害学生在籍校	専任スタッフ	支援技術を持つ教職員			兼任スタッフ			支援技術を持つ教職員			外部委託			医師・カウンセラー等			その他			
			コーディネーター	カウンセラー	医師	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	職員	教員	その他	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他				
計	832	208	108	35	8	6	109	57	36	796	87	325	167	16	717	494	54	402	355	53	31
大学	614	183	96	33	7	6	98	53	31	589	64	250	144	14	532	346	44	284	244	46	22
短期大学	165	22	11	2	0	0	11	2	5	157	14	61	21	2	139	103	7	77	70	7	3
高等専門学校	53	3	1	0	1	0	0	2	0	50	9	14	2	0	46	45	3	41	41	0	6

表47 支援障害学生在籍校における障害学生支援担当者[職種別・障害学生数別・学校種別]

(校)	支援障害学生在籍校	専任スタッフ	支援技術を持つ教職員			兼任スタッフ			支援技術を持つ教職員			外部委託			医師・カウンセラー等			その他			
			コーディネーター	カウンセラー	医師	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	職員	教員	その他	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他				
障害学生21人以上	417	162	89	28	7	5	85	46	24	401	47	189	108	9	356	256	33	213	182	37	22
大学	365	155	85	27	6	5	82	45	24	351	41	174	104	9	309	217	30	175	144	37	17
短期大学	18	5	3	1	0	0	3	0	0	17	1	6	2	0	16	9	2	10	10	0	0
高等専門学校	34	2	1	0	1	0	0	1	0	33	5	9	2	0	31	30	1	28	28	0	5
障害学生11～20人	124	13	5	2	0	1	6	3	2	120	10	44	16	1	110	70	8	61	57	5	3
大学	86	10	4	2	0	1	5	2	2	85	6	30	13	1	77	45	5	40	37	3	2
短期大学	26	2	1	0	0	0	1	0	0	25	1	11	3	0	23	15	2	13	12	2	0
高等専門学校	12	1	0	0	0	0	0	1	0	10	3	3	0	0	10	10	1	8	8	0	1
障害学生6～10人	108	12	8	1	0	0	6	1	2	105	11	36	17	3	96	60	5	51	48	4	1
大学	68	4	2	1	0	0	2	0	1	67	7	26	12	2	64	35	4	31	29	2	1
短期大学	36	8	6	0	0	0	4	1	1	34	3	9	5	1	29	22	1	16	15	2	0
高等専門学校	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	0	0	3	3	0	4	4	0	0
障害学生2～5人	130	15	5	2	0	0	9	6	6	120	13	45	22	2	109	79	7	59	52	5	5
大学	68	10	4	1	0	0	7	5	3	61	7	17	13	1	58	37	4	29	26	3	2
短期大学	59	5	1	1	0	0	2	1	3	56	6	27	9	1	49	40	2	29	25	2	3
高等専門学校	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	2	2	1	1	1	0	0
障害学生1人	53	6	1	2	1	0	3	1	2	50	6	11	4	1	46	29	1	18	16	2	0
大学	27	4	1	2	1	0	2	1	1	25	3	3	2	1	24	12	1	9	8	1	0
短期大学	26	2	0	0	0	0	1	0	1	25	3	8	2	0	22	17	0	9	8	1	0
高等専門学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
障害学生0人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
短期大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高等専門学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※ 支援障害学生在籍校:各障害学生在籍数区分のうち、支援障害学生が在籍している学校数

※ 複数回答あり

## (5)障害学生の相談受付窓口

### <概要>

○障害学生の支援の申し出等に対応する窓口の設置状況を見ると、「支援の申し出等の相談に対応する窓口がある」学校は900校で、全体の学校数(1,174校)の76.7%。このうち、「窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している」学校は697校。

表48 障害学生の相談受付窓口の設置状況

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
支援の申し出等の相談に対応する窓口がある		900	633	215	52
窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している		697	503	148	46
窓口は設けているが、特に周知はしていない		203	130	67	6
支援の申し出等の相談に対応する窓口はない		274	159	110	5
特に窓口は設けず、各部署で相談に対応していることを周知している		172	106	63	3
窓口はなく、相談対応について特に周知はしていない		102	53	47	2

## (6)支援の申し出等に関する対応手順

### <概要>

○支援の申し出等に関する対応手順の整備状況を見ると、「対応手順を規定した文書がある」学校は319校。「対応要領等に対応手順が記載されている」学校240校と合わせると559校で、全体の学校数(1,174校)の47.6%。

表49 支援の申し出等に関する対応手順

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
対応手順を規定した文書がある		319	236	64	19
対応要領等に対応手順が記載されている		240	176	47	17
対応手順を規定する文書はない		616	380	214	22

※複数回答あり

## (7)施設・設備の整備状況(学校種別・内容別)

&lt;概要&gt;

- 大学、短期大学、高等専門学校すべてにおいて以下の整備状況である。
- ・屋外については「専用駐車場」、「道路の舗装、段差の解消等」が多い。
  - ・屋内については「エレベーター」、「障害者用トイレ」が多い。
  - ・支援機器については「車椅子、簡易ベッド等」が多い。

表50 施設・設備の整備状況

		学内全体に (校) 整備	現在必要な 箇所に整備	部分的に整 備している が不十分	整備中また は年度内に 整備予定	未整備
大学						
屋外	道路の舗装、段差の解消等	157	327	263	1	44
	手すり、スロープ、階段昇降機等	83	379	280	0	50
	点字ブロック、標識シール等	51	171	263	1	306
	専用駐車場	160	382	118	3	129
屋内	自動扉等出入り口の整備	122	298	285	1	86
	エレベーター	203	346	228	2	13
	手すり、スロープ、階段昇降機等	96	343	309	1	43
	車椅子移動等に必要なスペース確保	171	297	265	1	58
	点字プレート等教室表示	27	78	117	4	566
	聴覚障害者用屋内信号装置	1	8	17	0	766
	障害者用トイレ	188	384	197	3	20
	自習室、独習室	50	240	170	2	330
	磁気誘導ループ	1	4	6	1	780
	点字プリンタ	—	81	26	2	683
支援機器	立体コピー機	—	33	7	1	751
	拡大読書機	—	92	50	2	648
	点字携帯端末	—	28	9	0	755
	筆談器等	—	115	89	3	585
	車椅子、簡易ベッド等	—	496	244	4	48
	その他	17	68	15	2	—
短期大学						
屋外	道路の舗装、段差の解消等	47	111	120	1	46
	手すり、スロープ、階段昇降機等	16	129	137	0	43
	点字ブロック、標識シール等	11	52	61	2	199
	専用駐車場	38	129	39	1	118
屋内	自動扉等出入り口の整備	29	100	110	0	86
	エレベーター	55	113	103	1	53
	手すり、スロープ、階段昇降機等	23	113	146	1	42
	車椅子移動等に必要なスペース確保	42	111	110	1	61
	点字プレート等教室表示	4	23	28	1	269
	聴覚障害者用屋内信号装置	0	1	4	0	320
	障害者用トイレ	48	140	106	0	31
	自習室、独習室	13	61	52	2	197
	磁気誘導ループ	0	1	1	0	323
	点字プリンタ	—	11	3	0	311
支援機器	立体コピー機	—	6	2	0	317
	拡大読書機	—	14	4	0	307
	点字携帯端末	—	4	3	0	318
	筆談器等	—	21	20	0	284
	車椅子、簡易ベッド等	—	179	110	1	35
	その他	2	12	3	0	—
高等専門学校						
屋外	道路の舗装、段差の解消等	10	20	27	0	0
	手すり、スロープ、階段昇降機等	8	22	26	1	0
	点字ブロック、標識シール等	0	3	15	1	38
	専用駐車場	11	24	16	0	6
屋内	自動扉等出入り口の整備	10	19	25	1	2
	エレベーター	11	20	24	1	1
	手すり、スロープ、階段昇降機等	7	23	25	1	1
	車椅子移動等に必要なスペース確保	7	21	25	1	3
	点字プレート等教室表示	0	0	5	0	52
	聴覚障害者用屋内信号装置	0	0	0	0	57
	障害者用トイレ	13	23	20	0	1
	自習室、独習室	1	12	11	0	33
	磁気誘導ループ	0	0	0	0	57
	点字プリンタ	—	0	0	0	57
支援機器	立体コピー機	—	3	2	0	52
	拡大読書機	—	1	1	0	55
	点字携帯端末	—	0	0	0	57
	筆談器等	—	2	3	0	52
	車椅子、簡易ベッド等	—	38	18	0	1
	その他	1	1	0	0	—

(8)支援学生(障害学生を支援する学生)在籍学校数(支援学生数別・学校種別)

<概要>

○支援学生在籍学校数の状況を見ると、「①学校が運営する組織に登録する支援学生がいる」学校が235校であり、支援学生在籍校の8割を超えている。

表51 支援学生在籍学校数 [支援学生数別・学校種別]

		支援学生がいる															
		①学校が運営する組織に登録する支援学生がいる					②①以外の支援学生がいる i)学生が運営			ii)他校より派遣			iii)その他				
(校)		有償	無償	その他		有償	無償	その他		有償	無償	その他		有償	無償	その他	
計	285	235	195	34	8	32	17	15	1	1	1	0	0	37	17	18	3
大学	246	205	172	28	7	29	16	13	1	1	1	0	0	31	17	12	3
短期大学	33	27	21	5	1	2	1	1	0	0	0	0	0	4	0	4	0
高等専門学校	6	3	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0
51人以上	61	59	53	3	4	6	3	3	0	1	1	0	0	4	2	0	2
大学	58	56	50	3	4	6	3	3	0	1	1	0	0	4	2	0	2
短期大学	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
41～50人	14	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
大学	12	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
短期大学	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
31～40人	19	16	16	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	3	3	1	0
大学	17	14	14	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	3	3	1	0
短期大学	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21～30人	34	32	26	5	1	3	3	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1
大学	32	30	25	4	1	3	3	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1
短期大学	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11～20人	51	44	32	11	1	9	1	8	1	0	0	0	0	1	0	1	0
大学	46	39	29	9	1	9	1	8	1	0	0	0	0	1	0	1	0
短期大学	4	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6～10人	33	25	19	6	0	5	4	1	0	0	0	0	0	5	3	2	0
大学	30	22	17	5	0	5	4	1	0	0	0	0	0	5	3	2	0
短期大学	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1～5人	73	45	35	8	2	7	4	3	0	0	0	0	0	21	9	12	0
大学	51	32	25	6	1	4	3	1	0	0	0	0	0	15	9	6	0
短期大学	19	13	10	2	1	2	1	1	0	0	0	0	0	4	0	4	0
高等専門学校	3	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0
支援学生はいない	890																
大学	547																
短期大学	292																
高等専門学校	51																

※①②は複数回答あり。「支援学生がいる」校数では複数回答は学生数の多い区分に分類した。

## 8. 障害学生支援に関する活動や取組実施状況

### (1) 学校種別・障害学生在籍者数別

<概要>

○障害学生支援に関する活動や取組を実施している学校は1,074校であり、そのうち支援障害学生が在籍する学校は832校である。

表52 活動・取組実施状況 [学校種別]

(校)	全体の学校数	実施校数	支援障害 学生在籍校
計	1,174	1,074	832
大学	792	740	614
短期大学	325	280	165
高等専門学校	57	54	53

表53 活動・取組実施状況 [障害学生数別・学校種別]

(校)	全体の学校数	実施校数	支援障害 学生在籍校
障害学生21人以上	427	424	417
大学	374	373	365
短期大学	19	18	18
高等専門学校	34	33	34
障害学生11～20人	134	127	124
大学	90	86	86
短期大学	31	29	26
高等専門学校	13	12	12
障害学生6～10人	125	122	108
大学	78	75	68
短期大学	43	43	36
高等専門学校	4	4	4
障害学生2～5人	173	163	130
大学	98	90	68
短期大学	72	70	59
高等専門学校	3	3	3
障害学生1人	78	69	53
大学	40	33	27
短期大学	38	36	26
高等専門学校	0	—	—
障害学生0人	237	169	—
大学	112	83	—
短期大学	122	84	—
高等専門学校	3	2	—

※支援障害学生在籍学校数：支援障害学生が在籍している学校数

## (2)学校種別・内容別

## &lt;概要&gt;

○障害学生支援に関する活動や取組を内容別に見ると、多い順に「4 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援」770校(前年度714校)、「1 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組」676校(同636校)、「10 障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣」616校(同595校)。

表54 活動・取組実施状況[学校種別・内容別]

	(校) 実施校数	大学	短期大学	高等 専門学校	全実施校 1,074校 中の実施率	全学校 1,174校 中の実施率
1 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組	676 (636)	474 (450)	168 (148)	34 (38)	62.9 (60.2)	57.6 (54.4)
2 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組	560 (517)	402 (385)	129 (109)	29 (23)	52.1 (49.0)	47.7 (44.2)
3 支援情報の公開(学外者が見られるホームページで公開している)	596 (559)	448 (425)	109 (94)	39 (40)	55.5 (52.9)	50.8 (47.8)
4 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援	770 (714)	554 (517)	186 (171)	30 (26)	71.7 (67.6)	65.6 (61.1)
5 他大学等との連携	254 (237)	200 (188)	41 (37)	13 (12)	23.6 (22.4)	21.6 (20.3)
6 学外機関との連携	461 (444)	343 (332)	93 (92)	25 (20)	42.9 (42.0)	39.3 (38.0)
7 相談対応・懇親会等(障害学生・支援スタッフ向け)	340 (348)	260 (260)	60 (69)	20 (19)	31.7 (33.0)	29.0 (29.8)
8 教員向け各種研修(FD等)	430 (462)	309 (344)	95 (95)	26 (23)	40.0 (43.8)	36.6 (39.5)
9 職員向け各種研修(SD等)	381 (420)	277 (316)	79 (81)	25 (23)	35.5 (39.8)	32.5 (35.9)
10 障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣	349 (371)	254 (283)	81 (74)	14 (14)	32.5 (35.1)	29.7 (31.7)
11 障害学生支援に関する学生向け研修(ノートテイカー養成等)	616 (595)	434 (427)	136 (126)	46 (42)	57.4 (56.3)	52.5 (50.9)
12 支援マニュアル、パンフレット等の配布	202 (203)	177 (182)	24 (20)	1 (1)	18.8 (19.2)	17.2 (17.4)
13 オープンキャンパス等、入学希望者を対象とするイベントでの情報提供	252 (246)	210 (208)	40 (35)	2 (3)	23.5 (23.3)	21.5 (21.0)
14 入学後のガイダンス等における、障害学生支援の続きなどに関する学内規程や支援事例等の周知	335 (337)	261 (262)	63 (66)	11 (9)	31.2 (31.9)	28.5 (28.8)
15 障害学生支援に関する講座講演等イベント	248 (197)	194 (163)	45 (26)	9 (8)	23.1 (18.7)	21.1 (16.9)
16 障害学生支援または障害者支援に関する講義(ポラティア論等)	144 (155)	120 (127)	23 (25)	1 (3)	13.4 (14.7)	12.3 (13.3)
	416 (415)	319 (323)	96 (91)	1 (1)	38.7 (39.3)	35.4 (35.5)

※ 複数回答あり

( )内は前年度数値

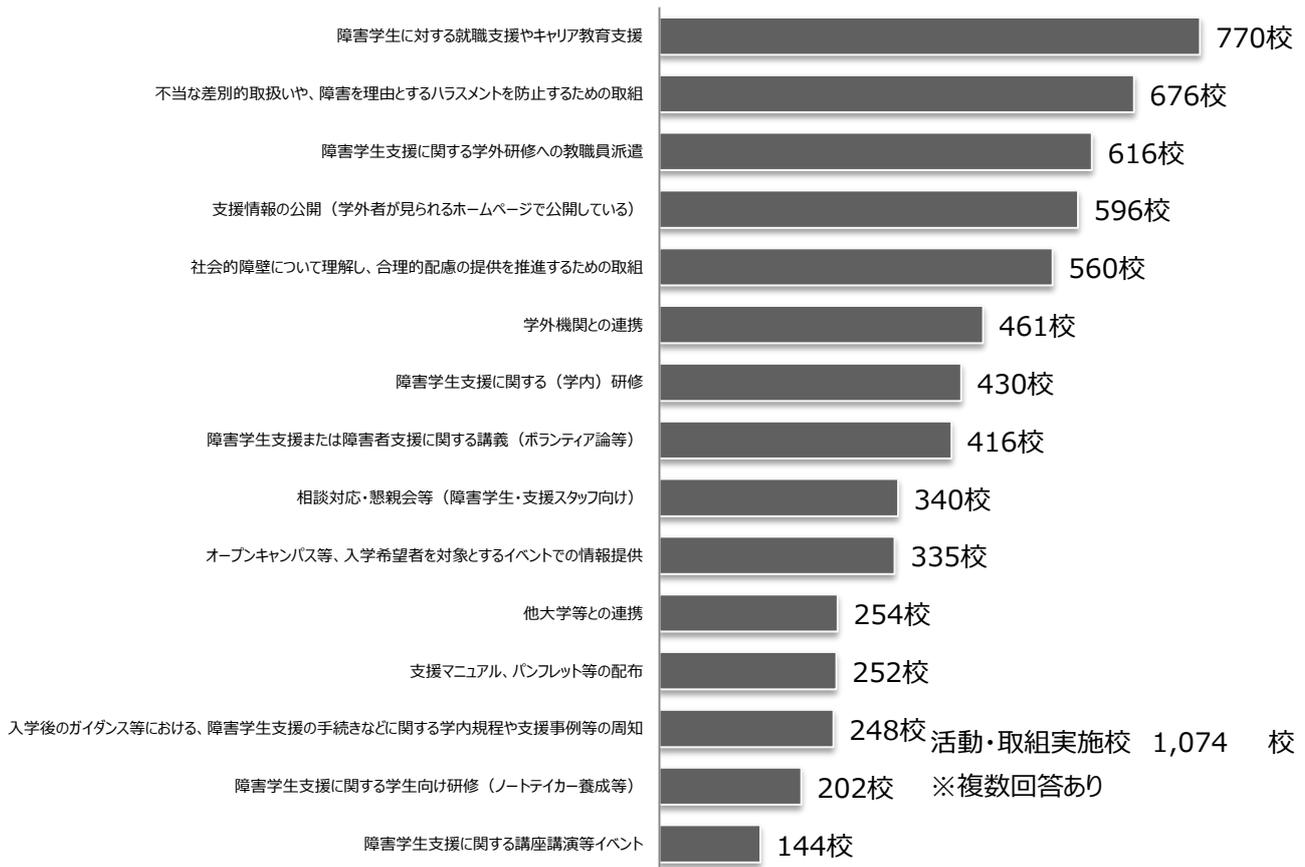


図21 活動・取組実施状況（内容別）

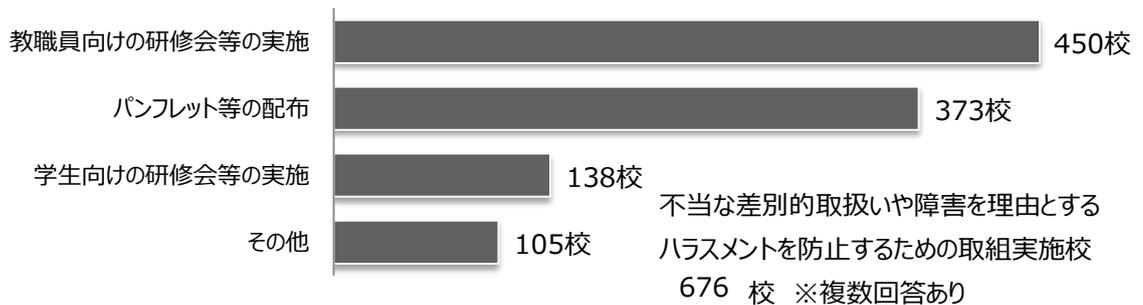


図22 不当な差別的取扱いや障害を理由とするハラスメントを防止するための取組

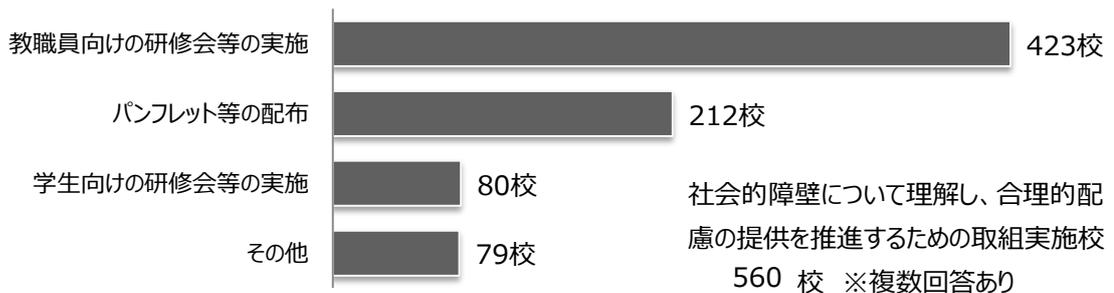


図23 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組

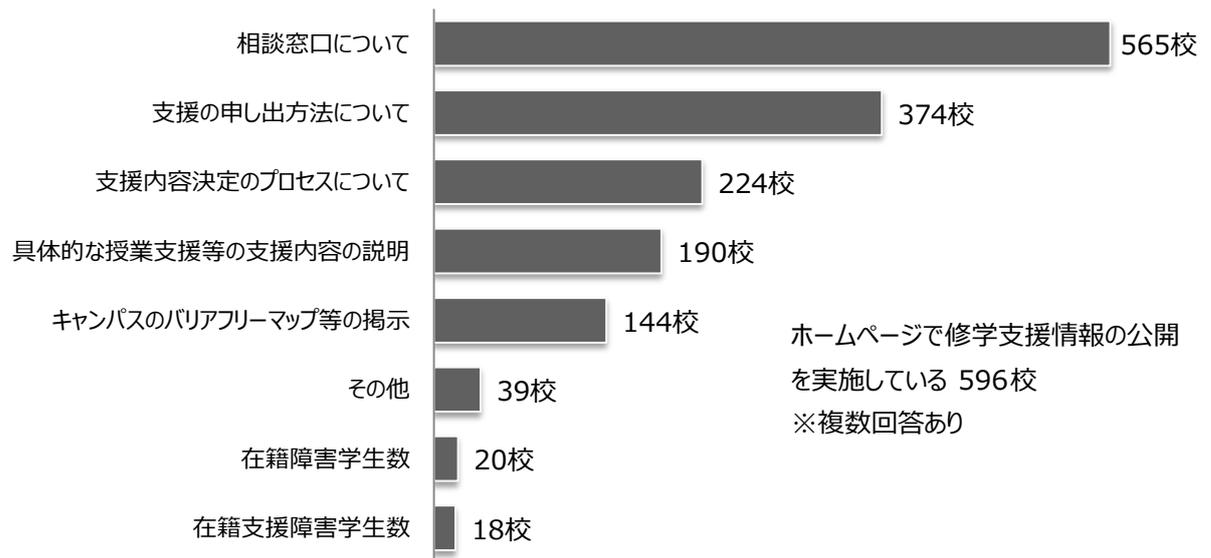


図24 支援情報の公開（学外者が見られるホームページで公開している）

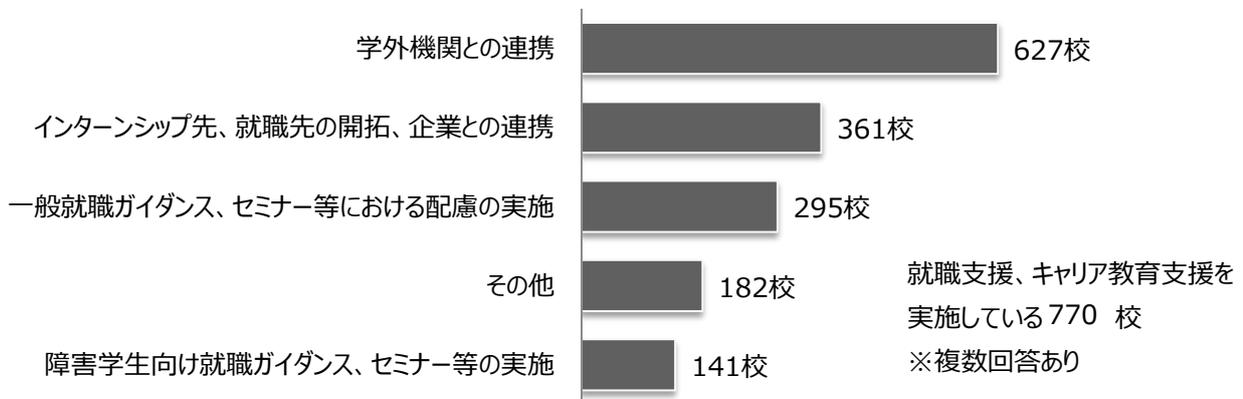


図25 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援

## 9. 障害のある生徒の受入に関する配慮及び入学者数等

### (1) 入学者選抜における配慮に関する体制

#### <概要>

- 平成30年度入学者選抜において、入試要項等への障害学生配慮に関する記載状況については、「入試要項（紙）及びホームページに記載」している学校が819校である。
- 入学選抜における配慮についての事前相談の受付方法については、「全学共通のルールで期間を設けている」学校が549校である。

表55 入試要項等への障害学生配慮に関する記載状況

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
入試要項(紙)及びホームページに記載		819	614	158	47
「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載		805	604	154	47
個々の困難に応じた配慮内容を記載		13	13	0	0
その他		19	17	2	0
入試要項(紙)のみに記載		170	104	61	5
「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載		164	101	58	5
個々の困難に応じた配慮内容を記載		4	3	1	0
その他		7	4	3	0
入試要項(紙)にもホームページにも記載していない		163	66	93	4

※複数回答あり

表56 入学者選抜における配慮についての事前相談の受付方法

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
随時受け付けている		372	243	113	16
全学共通のルールで期間を設けている		549	409	102	38
出願受付締め切りまで		83	59	20	4
試験前日まで		4	2	1	1
その他		462	348	81	33
学部、学科等や入試形態によって違う		56	55	1	0
特に告知はしていないが、相談があれば対応する		186	85	98	3

(2)入学者選抜において実施可能な配慮

<概要>

○令和元年度入学者選抜における実施可能な配慮について、多い順に「車椅子等の持参使用」941校、「松葉杖の持参使用」938校、「別室を設定」919校。

表57 入学者選抜において実施可能な配慮

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
点字問題を点字で解答		149	133	16	0
拡大文字問題の準備		576	433	122	21
拡大解答用紙の準備		556	418	118	20
音声で出題し音声で解答		59	50	9	0
マークシートに替えて文字で解答		157	134	22	1
チェック解答		197	163	32	2
試験時間の延長		637	489	125	23
照明器具の準備		441	331	90	20
特製机の使用		415	342	60	13
拡大鏡等の持参使用		740	545	162	33
補聴器の持参使用		861	628	196	37
車椅子等の持参使用		941	677	218	46
松葉杖の持参使用		938	673	220	45
パソコン等の持参使用		193	161	31	1
手話通訳者の付与		156	128	28	0
文書による伝達		626	479	126	21
窓側の明るい席の指定		853	619	192	42
トイレに近接する試験室に指定		875	640	192	43
別室を設定		919	663	211	45
試験室を一階に設定		636	463	141	32
介助者の付与		364	287	70	7
試験場への車での入構許可		883	644	199	40
その他		234	203	21	10

※ 複数回答あり

※ 過去に実施した実績がなく、実施可否の検討も行っていない項目については、実施可能と回答していない場合がある。

(3)障害のある入学者数等(障害種別・学校種別)

<概要>

○令和元年度入学者選抜における障害のある入学者について見ると、大学においては「聴覚・言語障害」が、短期大学では「精神障害」が、高等専門学校では「発達障害」が最も多い。

表58 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (総表)

	(人)	※の内で受験上の配慮を実施した数						
		相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者※	受験者	合格者
計	5,051	5,476	5,192	2,150	1,583	4,580	1,629	1,102
視覚障害	322	320	309	163	127	288	145	111
盲	65	61	60	32	23	57	29	20
弱視	257	259	249	131	104	231	116	91
聴覚・言語障害	1,205	1,241	1,185	420	315	1,141	390	291
聾	206	255	246	102	94	239	98	91
難聴	988	977	930	313	216	895	289	197
言語障害のみ	11	9	9	5	5	7	3	3
肢体不自由	695	729	705	346	266	623	276	204
上肢機能障害	55	67	64	36	27	49	21	12
下肢機能障害	288	310	298	132	109	265	108	86
上下肢機能障害	271	263	256	125	96	242	113	84
他の機能障害	81	89	87	53	34	67	34	22
病弱・虚弱	603	681	634	289	223	514	181	121
内部障害等	511	566	531	243	183	438	159	105
他の慢性疾患	92	115	103	46	40	76	22	16
重複	79	115	104	42	31	99	37	25
発達障害	669	722	688	309	228	543	186	105
SLD	101	105	102	35	18	89	25	9
ADHD	119	123	119	40	37	91	13	10
ASD	294	343	322	174	125	248	105	55
発達障害の重複	155	151	145	60	48	115	43	31
精神障害	678	807	748	322	226	613	195	111
統合失調症等	23	31	26	17	14	14	5	4
気分障害	57	92	88	59	48	46	17	11
神経症性障害等	422	478	434	164	104	393	120	59
摂食障害・睡眠障害等	15	23	23	13	8	13	3	1
他の精神障害	161	183	177	69	52	147	50	36
その他の障害	800	861	819	259	167	759	219	134

表59 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (大学)

	(人)	※の内で受験上の配慮を実施した数						
		相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者※	受験者	合格者
計	4,956	5,312	5,027	2,002	1,451	4,509	1,573	1,053
視覚障害	318	314	303	157	121	285	142	108
盲	64	61	60	32	23	57	29	20
弱視	254	253	243	125	98	228	113	88
聴覚・言語障害	1,181	1,213	1,157	394	292	1,118	369	272
聾	203	251	242	98	90	235	94	87
難聴	968	954	907	292	198	876	272	182
言語障害のみ	10	8	8	4	4	7	3	3
肢体不自由	679	709	685	330	254	611	268	198
上肢機能障害	55	65	62	34	25	49	21	12
下肢機能障害	278	300	288	126	103	258	105	83
上下肢機能障害	266	258	251	120	93	237	108	81
他の機能障害	80	86	84	50	33	67	34	22
病弱・虚弱	595	656	609	266	202	509	177	117
内部障害等	503	543	508	222	164	433	155	101
他の慢性疾患	92	113	101	44	38	76	22	16
重複	79	114	103	41	30	99	37	25
発達障害	650	683	649	275	194	534	181	100
SLD	101	105	102	35	18	89	25	9
ADHD	115	112	108	31	28	88	12	9
ASD	285	322	301	154	105	245	102	52
発達障害の重複	149	144	138	55	43	112	42	30
精神障害	658	771	711	289	199	598	184	102
統合失調症等	21	29	24	15	12	13	4	3
気分障害	55	84	81	52	45	45	16	11
神経症性障害等	417	468	424	155	96	389	117	57
摂食障害・睡眠障害等	14	20	20	11	7	12	3	1
他の精神障害	151	170	162	56	39	139	44	30
その他の障害	796	852	810	250	159	755	215	131

※ 相談者と志願者は学校が記入した数そのまま集計しているため、志願者≧受験者となっていない。

表60 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (短期大学)

(人)	相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者※	※の内で受験上の配慮を実施した数		
						受験者	合格者	入学者
計	67	113	114	106	91	49	41	35
視覚障害	3	4	4	4	4	2	2	2
盲	1	0	0	0	0	0	0	0
弱視	2	4	4	4	4	2	2	2
聴覚・言語障害	21	24	24	23	20	20	19	17
聾	3	4	4	4	4	4	4	4
難聴	17	19	19	18	15	16	15	13
言語障害のみ	1	1	1	1	1	0	0	0
肢体不自由	11	13	13	10	6	8	5	3
上肢機能障害	0	1	1	1	1	0	0	0
下肢機能障害	7	6	6	3	3	5	2	2
上下肢機能障害	3	3	3	3	1	3	3	1
他の機能障害	1	3	3	3	1	0	0	0
病弱・虚弱	5	20	20	19	17	4	3	3
内部障害等	5	18	18	17	15	4	3	3
他の慢性疾患	0	2	2	2	2	0	0	0
重複	0	1	1	1	1	0	0	0
発達障害	7	16	16	16	16	1	1	1
SLD	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	1	4	4	4	4	0	0	0
ASD	3	10	10	10	10	1	1	1
発達障害の重複	3	2	2	2	2	0	0	0
精神障害	17	31	32	29	23	11	8	6
統合失調症等	2	2	2	2	2	1	1	1
気分障害	2	8	7	7	3	1	1	0
神経症性障害等	5	9	9	9	8	3	3	2
摂食障害・睡眠障害等	1	3	3	2	1	1	0	0
他の精神障害	7	9	11	9	9	5	3	3
その他の障害	3	4	4	4	4	3	3	3

表61 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (高等専門学校)

(人)	相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者※	※の内で受験上の配慮を実施した数		
						受験者	合格者	入学者
計	28	51	51	42	41	22	15	14
視覚障害	1	2	2	2	2	1	1	1
盲	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	1	2	2	2	2	1	1	1
聴覚・言語障害	3	4	4	3	3	3	2	2
聾	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	3	4	4	3	3	3	2	2
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	5	7	7	6	6	4	3	3
上肢機能障害	0	1	1	1	1	0	0	0
下肢機能障害	3	4	4	3	3	2	1	1
上下肢機能障害	2	2	2	2	2	2	2	2
他の機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	3	5	5	4	4	1	1	1
内部障害等	3	5	5	4	4	1	1	1
他の慢性疾患	0	0	0	0	0	0	0	0
重複	0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害	12	23	23	18	18	8	4	4
SLD	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	3	7	7	5	5	3	1	1
ASD	6	11	11	10	10	2	2	2
発達障害の重複	3	5	5	3	3	3	1	1
精神障害	3	5	5	4	4	4	3	3
統合失調症等	0	0	0	0	0	0	0	0
気分障害	0	0	0	0	0	0	0	0
神経症性障害等	0	1	1	0	0	1	0	0
摂食障害・睡眠障害等	0	0	0	0	0	0	0	0
他の精神障害	3	4	4	4	4	3	3	3
その他の障害	1	5	5	5	4	1	1	0

※ 相談者と志願者は学校が記入した数をそのまま集計しているため、志願者≧受験者となっていない。

(4)受験上の配慮を行なった受験者数(障害種別・学校種別)

<概要>

○令和元年度入学者選抜において受験上の配慮を行なった受験者数について見ると、大学においては「聴覚・言語障害」が、短期大学では「聴覚・言語障害」が、高等専門学校では「発達障害」が最も多い。

表62 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別](総表)

	学部・学科(通学)					学部・学科(通信)		大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科	
	(人)	計	特別入試	AO入試	推薦入試	障害者特別入試	特別入試以外				
計	4,580	4,375	884	254	601	29	3,491	86	102	11	6
視覚障害	288	250	106	49	56	1	144	7	25	5	1
盲	57	46	29	12	17	0	17	0	8	2	1
弱視	231	204	77	37	39	1	127	7	17	3	0
聴覚・言語障害	1,141	1,104	294	82	206	6	810	10	25	0	2
聾	239	223	91	22	67	2	132	0	15	0	1
難聴	895	875	197	60	133	4	678	10	9	0	1
言語障害のみ	7	6	6	0	6	0	0	0	1	0	0
肢体不自由	623	571	179	42	124	13	392	23	27	2	0
上肢機能障害	49	48	17	5	12	0	31	0	1	0	0
下肢機能障害	265	244	71	15	53	3	173	10	11	0	0
上下肢機能障害	242	216	71	19	43	9	145	12	12	2	0
他の機能障害	67	63	20	3	16	1	43	1	3	0	0
病弱・虚弱	514	492	75	22	50	3	417	17	5	0	0
内部障害等	438	417	62	16	43	3	355	17	4	0	0
他の慢性疾患	76	75	13	6	7	0	62	0	1	0	0
重複	99	95	32	7	24	1	63	2	1	1	0
発達障害	543	525	81	29	51	1	444	11	5	2	0
SLD	89	87	19	5	14	0	68	2	0	0	0
ADHD	91	87	3	1	2	0	84	1	2	1	0
ASD	248	238	37	13	23	1	201	7	2	1	0
発達障害の重複	115	113	22	10	12	0	91	1	1	0	0
精神障害	613	591	55	12	41	2	536	8	11	1	2
統合失調症等	14	10	1	1	0	0	9	2	1	1	0
気分障害	46	39	4	1	3	0	35	6	1	0	0
神経症性障害等	393	388	20	4	14	2	368	0	4	0	1
摂食障害・睡眠障害等	13	13	3	2	1	0	10	0	0	0	0
他の精神障害	147	141	27	4	23	0	114	0	5	0	1
その他の障害	759	747	62	11	49	2	685	8	3	0	1

表63 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別] (大学)

	学部・学科(通学)					学部・学科(通信)		大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科	
	(人)	計	特別入試	AO入試	推薦入試	障害者特別入試	特別入試以外				
計	4,509	4,307	849	241	580	28	3,458	86	102	11	3
視覚障害	285	247	105	48	56	1	142	7	25	5	1
盲	57	46	29	12	17	0	17	0	8	2	1
弱視	228	201	76	36	39	1	125	7	17	3	0
聴覚・言語障害	1,118	1,081	277	73	198	6	804	10	25	0	2
聾	235	219	88	19	67	2	131	0	15	0	1
難聴	876	856	183	54	125	4	673	10	9	0	1
言語障害のみ	7	6	6	0	6	0	0	0	1	0	0
肢体不自由	611	559	170	41	117	12	389	23	27	2	0
上肢機能障害	49	48	17	5	12	0	31	0	1	0	0
下肢機能障害	258	237	66	15	49	2	171	10	11	0	0
上下肢機能障害	237	211	67	18	40	9	144	12	12	2	0
他の機能障害	67	63	20	3	16	1	43	1	3	0	0
病弱・虚弱	509	487	73	22	48	3	414	17	5	0	0
内部障害等	433	412	60	16	41	3	352	17	4	0	0
他の慢性疾患	76	75	13	6	7	0	62	0	1	0	0
重複	99	95	32	7	24	1	63	2	1	1	0
発達障害	534	516	80	29	50	1	436	11	5	2	0
SLD	89	87	19	5	14	0	68	2	0	0	0
ADHD	88	84	3	1	2	0	81	1	2	1	0
ASD	245	235	36	13	22	1	199	7	2	1	0
発達障害の重複	112	110	22	10	12	0	88	1	1	0	0
精神障害	598	578	50	10	38	2	528	8	11	1	0
統合失調症等	13	9	1	1	0	0	8	2	1	1	0
気分障害	45	38	4	1	3	0	34	6	1	0	0
神経症性障害等	389	385	20	4	14	2	365	0	4	0	0
摂食障害・睡眠障害等	12	12	3	2	1	0	9	0	0	0	0
他の精神障害	139	134	22	2	20	0	112	0	5	0	0
その他の障害	755	744	62	11	49	2	682	8	3	0	0

表64 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別](短期大学)

	学部・学科(通学)						特別入試 以外	学部・ 学科 (通信)	大学院 (通学)	大学院 (通信)	専攻科
	(人)	計	特別入試		AO入試	推薦入試					
計	49	47	29	13	15	1	18	0	—	—	2
視覚障害	2	2	1	1	0	0	1	0	—	—	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	2	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0
聴覚・言語障害	20	20	15	9	6	0	5	0	—	—	0
聾	4	4	3	3	0	0	1	0	0	0	0
難聴	16	16	12	6	6	0	4	0	0	0	0
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	8	8	7	1	5	1	1	0	—	—	0
上肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	5	5	5	0	4	1	0	0	0	0	0
上下肢機能障害	3	3	2	1	1	0	1	0	0	0	0
他の機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	4	4	2	0	2	0	2	0	—	—	0
内部障害等	4	4	2	0	2	0	2	0	0	0	0
他の慢性疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重複	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害	1	1	0	0	0	0	1	0	—	—	0
SLD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ASD	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
発達障害の重複	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神障害	11	10	4	2	2	0	6	0	—	—	1
統合失調症等	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
気分障害	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
神経症性障害等	3	2	0	0	0	0	2	0	0	0	1
摂食障害・睡眠障害等	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
他の精神障害	5	5	4	2	2	0	1	0	0	0	0
その他の障害	3	2	0	0	0	0	2	0	0	0	1

表65 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別] (高等専門学校)

	学部・学科(通学)						特別入試 以外	学部・ 学科 (通信)	大学院 (通学)	大学院 (通信)	専攻科
	(人)	計	特別入試		AO入試	推薦入試					
計	22	21	6	0	6	0	15	—	—	—	1
視覚障害	1	1	0	0	0	0	1	—	—	—	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
聴覚・言語障害	3	3	2	0	2	0	1	—	—	—	0
聾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	3	3	2	0	2	0	1	0	0	0	0
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	4	4	2	0	2	0	2	—	—	—	0
上肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0
上下肢機能障害	2	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	1	1	0	0	0	0	1	—	—	—	0
内部障害等	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
他の慢性疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重複	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害	8	8	1	0	1	0	7	—	—	—	0
SLD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	3	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0
ASD	2	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0
発達障害の重複	3	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0
精神障害	4	3	1	0	1	0	2	—	—	—	1
統合失調症等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
気分障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経症性障害等	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
摂食障害・睡眠障害等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の精神障害	3	2	1	0	1	0	1	0	0	0	1
その他の障害	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0

(5)入学者選抜において実施した配慮の内容(障害種別)

<概要>

○令和元年度入学者選抜において実施した配慮の内容について見ると、多い順に「別室を設定」265校、「補聴器の持参使用」206校、「トイレに近接する試験室に指定」184校。

表66 入学者選抜において実施した配慮の内容 [障害種別]

	実施校数 (校)	点字問題を点字で解答	拡大文字問題の準備	拡大解答用紙の準備	音声で出題し音声で解答	マークシートに替えて文字で解答	チェック解答	試験時間の延長	照明器具の準備	特製机の使用	拡大鏡等の持参使用	補聴器の持参使用	車椅子等の持参使用	松葉杖の持参使用	パソコン等の持参使用	手話通訳者の付与	文書による伝達	窓側の明るい席の指定	トイレに近接する試験室に指定	別室を設定	試験室を一階に設定	介助者の付与	試験場への車での入構許可	その他
実施校数	473	22	94	71	5	18	45	155	11	75	63	206	163	53	32	23	160	11	184	265	82	78	173	332
視覚障害	117	21	68	40	2	14	13	66	6	13	54	0	0	0	16	1	4	4	3	63	2	9	11	59
盲	32	19	2	1	1	0	0	22	0	3	2	0	0	0	9	1	0	0	2	20	1	5	3	19
弱視	103	3	66	39	1	14	13	53	6	11	53	0	0	0	8	1	4	4	1	56	1	5	9	48
聴覚・言語障害	262	0	1	0	1	0	0	13	0	0	1	206	3	0	3	21	146	2	1	28	0	1	7	165
聾	50	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	33	0	0	0	13	42	0	0	5	0	1	1	22
難聴	240	0	1	0	1	0	0	6	0	0	1	190	3	0	2	8	120	2	1	26	0	0	7	156
言語障害のみ	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	4
肢体不自由	220	1	3	15	1	3	22	59	1	52	2	0	144	42	8	0	2	2	92	86	58	53	117	121
上肢機能障害	28	0	0	3	0	0	9	14	0	2	0	0	4	1	1	0	0	0	5	16	2	5	6	11
下肢機能障害	131	1	0	0	0	1	1	4	1	23	1	0	78	30	1	0	2	2	50	28	32	15	60	63
上下肢機能障害	103	0	2	12	0	2	14	39	0	32	0	0	69	12	4	0	0	1	47	52	33	34	60	56
他の機能障害	40	0	1	1	1	0	3	10	0	6	1	0	15	2	2	0	0	0	7	13	5	9	16	23
病弱・虚弱	160	0	4	5	0	0	5	17	3	7	3	0	25	9	3	1	2	3	66	89	19	8	43	117
内部障害等	143	0	4	5	0	0	5	14	3	7	2	0	25	9	3	0	1	2	66	73	16	8	36	102
他の慢性疾患	44	0	0	0	0	0	0	4	1	0	1	0	2	0	0	1	1	1	3	29	5	0	10	34
重複	33	0	7	2	0	0	2	12	1	8	2	4	14	5	1	0	5	0	14	19	6	5	17	24
発達障害	152	0	28	17	1	1	18	60	1	3	2	1	0	0	3	0	43	0	18	112	4	1	7	88
SLD	37	0	7	4	1	1	1	27	0	1	2	0	0	0	2	0	1	0	1	32	0	0	2	12
ADHD	38	0	10	4	0	0	8	16	1	0	0	0	0	0	0	0	9	0	2	30	0	0	1	18
ASD	87	0	5	3	0	1	6	22	1	0	0	0	0	0	1	0	19	0	9	59	3	1	3	45
発達障害の重複	64	0	11	8	0	0	7	22	1	2	0	1	0	0	0	0	18	0	7	49	1	0	1	33
精神障害	181	0	2	1	0	1	2	8	1	0	0	0	3	0	2	1	2	0	52	113	3	8	17	120
統合失調症等	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	9	0	0	1	4
気分障害	22	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	17	0	0	2	7
神経症性障害等	130	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	37	84	3	6	9	78
摂食障害・睡眠障害等	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	1	0	9
他の精神障害	76	0	2	1	0	1	2	7	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	19	34	0	1	5	50
その他の障害	171	0	3	2	0	0	4	7	0	2	1	1	1	4	1	0	0	0	69	78	8	3	22	125

※ 複数回答あり

## 10. 障害学生の卒業後の進路

### 進路状況(学校種別・障害種別)

<概要>

○通学の最高年次(※)に在籍していた障害学生は(平成30年5月1日現在)6,898人で、平成30年度の卒業生は5,029人。

○卒業生の進路状況は、「進学者」が661人で「就職者」が2,854人。また、「進学者」のうち就職している者51人を加えた全就職者数は2,905人。

※最高学年とは「大学:4年次及び6年次、短期大学:2年次(3年制の場合は3年次)、高等専門学校:5年次」をいう。

表67 進路状況 [学校種別・障害種別] (総表)

	3 0 年 5 月 1 日 現 在 数 ( 平 成 3 0 年 5 月 1 日 現 在 数 )	日 生 平 成 3 0 年 5 月 1 日 現 在 数 ( 平 成 3 0 年 5 月 1 日 現 在 数 )	平成30年度に卒業した障害学生の進路状況(令和元年5月1日まで)													
			進 学 者	大 学 院 研 究 科	大 学 学 部	短 期 大 学 本 科	専 攻 科	別 科	う ち 就 職 し て い る 者	就 職 者 ( 左 記 を 除 く )	臨 床 研 修 医 ( 予 定 者 を 含 む )	専 修 学 校 ・ 外 国 の 学 校 ・ 教 育 訓 練 機 関 等	入 所 者	社 会 福 祉 施 設 ・ 医 療 機 関	一 時 的 な 職 に 就 いた 者	左 記 以 外 の 者
計	6,898	5,029	661	362	205	21	58	15	51	2,854	40	83	63	210	721	397
視覚障害	135	110	15	9	3	0	2	1	0	66	0	6	3	3	15	2
盲	25	21	4	1	2	0	0	1	0	7	0	5	0	1	4	0
弱視	110	89	11	8	1	0	2	0	0	59	0	1	3	2	11	2
聴覚・言語障害	407	327	43	26	11	1	3	2	5	225	0	4	3	3	27	22
聾	133	103	10	10	0	0	0	0	0	77	0	2	1	1	7	5
難聴	267	221	32	15	11	1	3	2	5	147	0	2	2	2	19	17
言語障害のみ	7	3	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
肢体不自由	470	392	53	28	21	1	1	2	4	241	1	8	4	14	49	22
上肢機能障害	78	68	7	6	0	0	1	0	0	47	1	1	0	1	4	7
下肢機能障害	171	145	21	10	10	0	0	1	1	99	0	1	3	6	13	2
上下肢機能障害	145	114	15	7	7	1	0	0	0	64	0	5	1	5	16	8
他の機能障害	76	65	10	5	4	0	0	1	3	31	0	1	0	2	16	5
病弱・虚弱	1,710	1,468	161	75	56	10	19	1	29	1,018	23	13	4	50	95	104
内部障害等	1,011	894	104	56	35	1	11	1	12	615	9	9	1	30	59	67
他の慢性疾患	699	574	57	19	21	9	8	0	17	403	14	4	3	20	36	37
重複	110	83	9	7	0	0	2	0	0	40	1	4	3	4	18	4
発達障害	1,434	979	162	85	53	7	15	2	4	406	5	26	33	48	230	69
SLD	61	46	6	3	2	1	0	0	1	22	0	2	5	3	4	4
ADHD	403	265	31	13	13	3	2	0	2	127	3	5	4	10	53	32
ASD	759	540	104	59	30	3	10	2	1	205	2	16	20	30	138	25
発達障害の重複	211	128	21	10	8	0	3	0	0	52	0	3	4	5	35	8
精神障害	2,211	1,326	173	109	49	1	9	5	5	650	7	15	11	70	250	150
統合失調症等	248	139	17	12	5	0	0	0	0	56	0	1	5	5	42	13
気分障害	766	407	51	31	15	0	2	3	3	199	5	3	1	21	76	51
神経症性障害等	749	471	71	51	16	1	1	2	1	223	2	3	2	29	80	61
摂食障害・睡眠障害等	160	116	16	8	7	0	1	0	0	65	0	1	0	6	19	9
他の精神障害	288	193	18	7	6	0	5	0	1	107	0	7	3	9	33	16
その他の障害	421	344	45	23	12	1	7	2	4	208	3	7	2	18	37	24

表68 進路状況 [学校種別・障害種別] (大学)

	平成30年度に卒業した障害学生の進路状況(令和元年5月1日まで)															
	30 年 5 月 1 日 現 在 数 ( 平 成 3 0 年 5 月 1 日 現 在 数 )	平 成 3 0 年 度 卒 業 の 障 害 学 生 数 ( 平 成 3 0 年 度 卒 業 の 障 害 学 生 数 )	進 学 者	大 学 院 研 究 科	大 学 学 部	短 期 大 学 本 科	専 攻 科	別 科	う ち 就 職 し て い る 者	就 職 者 ( 左 記 を 除 く )	臨 床 研 修 医 ( 予 定 者 を 含 む )	専 修 学 校 ・ 外 国 の 学 校 ・ 教 育 訓 練 機 関 等	入 所 者 ・ 社 会 福 祉 施 設 ・ 医 療 機 関	一 時 的 な 職 に 就 いた 者	左 記 以 外 の 者	死 亡 ・ 不 詳 の 者
計	5,956	4,203	509	359	141	0	2	7	39	2,317	38	67	60	179	644	389
視覚障害	129	104	14	9	3	0	1	1	0	63	0	6	3	2	14	2
盲	25	21	4	1	2	0	0	1	0	7	0	5	0	1	4	0
弱視	104	83	10	8	1	0	1	0	0	56	0	1	3	1	10	2
聴覚・言語障害	368	290	35	26	8	0	1	0	4	201	0	3	3	3	23	22
聾	129	99	10	10	0	0	0	0	0	73	0	2	1	1	7	5
難聴	232	188	24	15	8	0	1	0	4	127	0	1	2	2	15	17
言語障害のみ	7	3	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
肢体不自由	429	355	46	28	18	0	0	0	4	215	1	7	3	13	48	22
上肢機能障害	72	63	6	6	0	0	0	0	0	43	1	1	0	1	4	7
下肢機能障害	157	132	19	10	9	0	0	0	1	90	0	1	2	5	13	2
上下肢機能障害	131	101	12	7	5	0	0	0	0	55	0	5	1	5	15	8
他の機能障害	69	59	9	5	4	0	0	0	3	27	0	0	0	2	16	5
病弱・虚弱	1,299	1,106	110	75	34	0	0	1	20	753	22	7	4	40	74	96
内部障害等	805	701	79	56	22	0	0	1	11	475	9	5	1	24	49	59
他の慢性疾患	494	405	31	19	12	0	0	0	9	278	13	2	3	16	25	37
重複	95	69	7	7	0	0	0	0	0	34	0	3	3	3	15	4
発達障害	1,257	822	113	82	29	0	0	2	2	332	5	22	32	39	210	69
SLD	49	34	3	3	0	0	0	0	0	14	0	2	5	3	3	4
ADHD	352	224	20	12	8	0	0	0	1	107	3	5	4	8	45	32
ASD	665	455	76	57	17	0	0	2	1	167	2	12	19	25	129	25
発達障害の重複	191	109	14	10	4	0	0	0	0	44	0	3	4	3	33	8
精神障害	2,046	1,195	153	109	42	0	0	2	5	567	7	15	10	64	229	150
統合失調症等	226	125	17	12	5	0	0	0	0	46	0	1	5	4	39	13
気分障害	722	376	47	31	14	0	0	2	3	178	5	3	1	21	70	51
神経症性障害等	706	435	63	51	12	0	0	0	1	209	2	3	1	26	70	61
摂食障害・睡眠障害等	135	95	13	8	5	0	0	0	0	50	0	1	0	4	18	9
他の精神障害	257	164	13	7	6	0	0	0	1	84	0	7	3	9	32	16
その他の障害	333	262	31	23	7	0	0	1	4	152	3	4	2	15	31	24

表69 進路状況 [学校種別・障害種別] (短期大学)

	平成30年度に卒業した障害学生の進路状況(令和元年5月1日まで)																
	3 0 年 5 月 1 日 現 在 数 ( 平 成 3 0 年 度 卒 業 の 障 害 学 生 数 )	平 成 3 0 年 度 卒 業 の 障 害 学 生 数 ( 平 成 3 1 年 3 月 3 1 日 ま で )	平 成 3 0 年 度 卒 業 の 障 害 学 生 数 ( 平 成 3 1 年 3 月 3 1 日 ま で )	進 学 者	大 学 院 研 究 科	大 学 学 部	短 期 大 学 本 科	専 攻 科	別 科	う ち 就 職 し て い る 者	就 職 者 ( 左 記 を 除 く )	臨 床 研 修 医 ( 予 定 者 を 含 む )	専 修 学 校 ・ 外 国 の 学 校 ・ 教 育 訓 練 機 関 等	入 所 者	社 会 福 祉 施 設 ・ 医 療 機 関	一 時 的 な 職 に 就 い た 者	左 記 以 外 の 者
計	689	610	67	0	32	21	8	6	11	427	0	14	3	23	68	8	
視覚障害	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
弱視	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
聴覚・言語障害	29	29	2	0	1	1	0	0	0	22	0	1	0	0	4	0	
聾	4	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	
難聴	25	25	2	0	1	1	0	0	0	18	0	1	0	0	4	0	
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
肢体不自由	34	30	6	0	3	1	0	2	0	20	0	1	1	1	1	0	
上肢機能障害	4	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	
下肢機能障害	13	12	2	0	1	0	0	1	0	8	0	0	1	1	0	0	
上下肢機能障害	13	12	3	0	2	1	0	0	0	8	0	0	0	0	1	0	
他の機能障害	4	3	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	
病弱・虚弱	312	288	26	0	13	10	3	0	9	219	0	5	0	10	20	8	
内部障害等	161	150	8	0	6	1	1	0	1	116	0	3	0	6	9	8	
他の慢性疾患	151	138	18	0	7	9	2	0	8	103	0	2	0	4	11	0	
重複	10	9	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	1	2	0	
発達障害	93	79	14	0	6	7	1	0	2	41	0	3	1	3	17	0	
SLD	10	10	2	0	1	1	0	0	1	7	0	0	0	0	1	0	
ADHD	35	27	5	0	1	3	1	0	1	15	0	0	0	1	6	0	
ASD	38	33	6	0	3	3	0	0	0	14	0	3	1	1	8	0	
発達障害の重複	10	9	1	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	1	2	0	
精神障害	141	110	14	0	6	1	4	3	0	71	0	0	1	5	19	0	
統合失調症等	20	12	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	1	3	0	
気分障害	37	26	3	0	1	0	1	1	0	18	0	0	0	0	5	0	
神経症性障害等	42	35	8	0	4	1	1	2	0	13	0	0	1	3	10	0	
摂食障害・睡眠障害等	21	17	2	0	1	0	1	0	0	14	0	0	0	1	0	0	
他の精神障害	21	20	1	0	0	0	1	0	0	18	0	0	0	0	1	0	
その他の障害	68	63	5	0	3	1	0	1	0	47	0	3	0	3	5	0	

表70 進路状況 [学校種別・障害種別] (高等専門学校)

	30 0 年 5 月 1 日 現 在 (人)	最 高 年 次 障 害 学 生 数 (平 成 3 0 年 5 月 1 日 現 在 )	平 成 3 0 年 度 卒 業 の 障 害 学 生 数 (平 成 3 1 年 3 月 3 1 日 ま で)	平成30年度に卒業した障害学生の進路状況(令和元年5月1日まで)												
				進 学 者	大 学 院 研 究 科	大 学 学 部	短 期 大 学 本 科	専 攻 科	別 科	う ち 就 職 し て い る 者	就 職 者 (左 記 を 除 く)	臨 床 研 修 医 (予 定 者 を 含 む)	専 修 学 校 ・ 外 国 の 学 校 ・ 教 育 訓 練 機 関 等	社 会 福 祉 施 設 ・ 医 療 機 関 入 所 者	一 時 的 な 職 に 就 い た 者	左 記 以 外 の 者
計	253	216	85	3	32	0	48	2	1	110	2	2	0	8	9	0
視覚障害	4	4	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	4	4	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0
聴覚・言語障害	10	8	6	0	2	0	2	2	1	2	0	0	0	0	0	0
聾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	10	8	6	0	2	0	2	2	1	2	0	0	0	0	0	0
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	7	7	1	0	0	0	1	0	0	6	0	0	0	0	0	0
上肢機能障害	2	2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
上下肢機能障害	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	3	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	99	74	25	0	9	0	16	0	0	46	1	1	0	0	1	0
内部障害等	45	43	17	0	7	0	10	0	0	24	0	1	0	0	1	0
他の慢性疾患	54	31	8	0	2	0	6	0	0	22	1	0	0	0	0	0
重複	5	5	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	1	0
発達障害	84	78	35	3	18	0	14	0	0	33	0	1	0	6	3	0
SLD	2	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ADHD	16	14	6	1	4	0	1	0	0	5	0	0	0	1	2	0
ASD	56	52	22	2	10	0	10	0	0	24	0	1	0	4	1	0
発達障害の重複	10	10	6	0	3	0	3	0	0	3	0	0	0	1	0	0
精神障害	24	21	6	0	1	0	5	0	0	12	0	0	0	1	2	0
統合失調症等	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
気分障害	7	5	1	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	1	0
神経症性障害等	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
摂食障害・睡眠障害等	4	4	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0
他の精神障害	10	9	4	0	0	0	4	0	0	5	0	0	0	0	0	0
その他の障害	20	19	9	0	2	0	7	0	0	9	0	0	0	0	1	0

表71 障害学生の卒業率と就職率 [障害種別]

	最高年次 学生数 (人)	卒業 学生数	就職 希望者数	就職者数	卒業率 (%)	就職希望 率(%)	就職率 (%)
計	6,898	5,029	3,675	2,854	72.9	73.1	77.7
視覚障害	135	110	81	66	81.5	73.6	81.5
盲	25	21	13	7	84.0	61.9	53.8
弱視	110	89	68	59	80.9	76.4	86.8
聴覚・言語障害	407	327	259	225	80.3	79.2	86.9
聾	133	103	85	77	77.4	82.5	90.6
難聴	267	221	173	147	82.8	78.3	85.0
言語障害のみ	7	3	1	1	42.9	33.3	100.0
肢体不自由	470	392	320	241	83.4	81.6	75.3
上肢機能障害	78	68	51	47	87.2	75.0	92.2
下肢機能障害	171	145	125	99	84.8	86.2	79.2
上下肢機能障害	145	114	92	64	78.6	80.7	69.6
他の機能障害	76	65	52	31	85.5	80.0	59.6
病弱・虚弱	1,710	1,468	1,173	1,018	85.8	79.9	86.8
内部障害等	1,011	894	696	615	88.4	77.9	88.4
他の慢性疾患	699	574	477	403	82.1	83.1	84.5
重複	110	83	55	40	75.5	66.3	72.7
発達障害	1,434	979	665	406	68.3	67.9	61.1
SLD	61	46	36	22	75.4	78.3	61.1
ADHD	403	265	189	127	65.8	71.3	67.2
ASD	759	540	358	205	71.1	66.3	57.3
発達障害の重複	211	128	82	52	60.7	64.1	63.4
精神障害	2,211	1,326	884	650	60.0	66.7	73.5
統合失調症等	248	139	85	56	56.0	61.2	65.9
気分障害	766	407	265	199	53.1	65.1	75.1
神経症性障害等	749	471	305	223	62.9	64.8	73.1
摂食障害・睡眠障害等	160	116	84	65	72.5	72.4	77.4
他の精神障害	288	193	145	107	67.0	75.1	73.8
その他の障害	421	344	238	208	81.7	69.2	87.4

※ 卒業率:卒業学生数÷最高年次学生数×100(%)

※ 就職希望率:就職希望者数÷卒業学生数×100(%)

※ 就職率:就職者数÷就職希望者数×100(%)

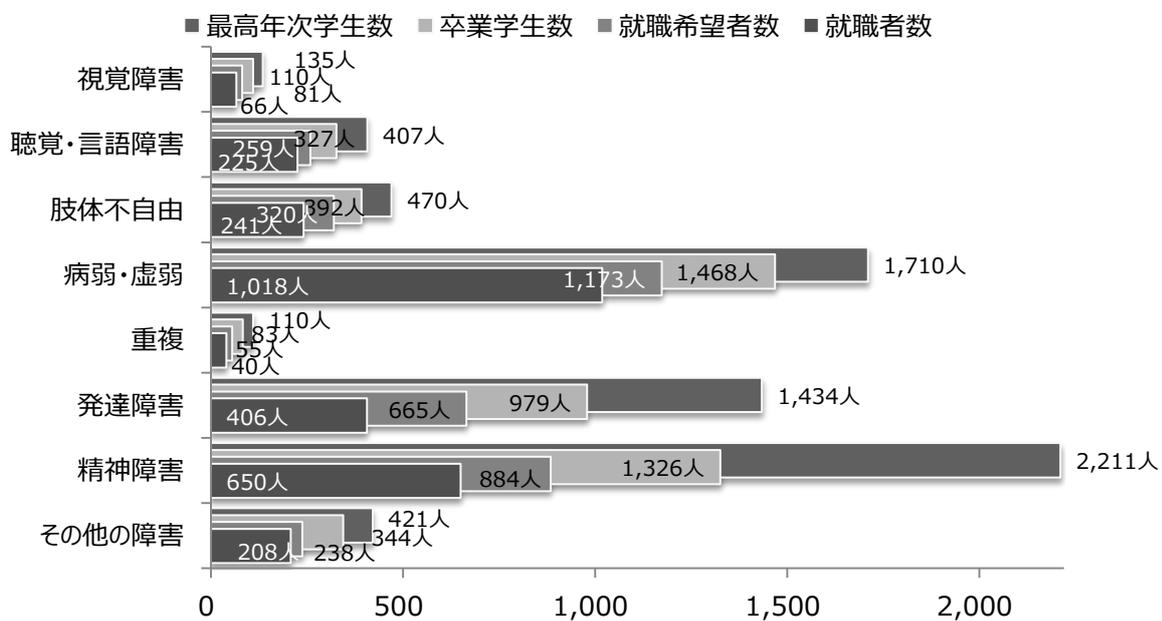


図26 障害学生の卒業及び就職の状況

## 11. 発達障害学生支援状況（一部再掲）

発達障害学生の支援状況に関しては、診断書のある発達障害学生に加え、診断書はないものの発達障害があることが推察され教育上の配慮を行なっている者（特別な支援を行なっていない者は除く）についても調査した。

### (1) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数(学校種別)

<概要>

○発達障害(診断書有)学生は7,065人で、このうち支援障害学生は4,990人。

○発達障害(診断書無・配慮有)の支援障害学生は2,854人。発達障害(診断書有)の支援障害学生と合わせると7,844人。

表72 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 [学校種別]

	障害学生数				支援障害学生数			
	(人)	大学	短期大学	高等 専門学校	大学	短期大学	高等 専門学校	
計	7,065	5,977	240	848	7,844	6,940	311	593
診断書有（再掲）	7,065	5,977	240	848	4,990	4,402	169	419
SLD	231	199	10	22	168	145	7	16
ADHD	1,883	1,624	68	191	1,250	1,111	53	86
ASD	3,781	3,185	131	465	2,643	2,346	86	211
重複	1,170	969	31	170	929	800	23	106
診断書無・配慮有	—	—	—	—	2,854	2,538	142	174
SLD	—	—	—	—	102	75	21	6
ADHD	—	—	—	—	558	513	24	21
ASD	—	—	—	—	1,414	1,296	39	79
区分不明	—	—	—	—	780	654	58	68

(2) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数(学科(専攻)別)

<概要>

○支援発達障害学生数(診断書有+診断書無・配慮有)を学科(専攻)別に見ると、大学では多い順に、「人文科学」1,778人、「社会科学」1,483人、「工学」1,414人。短期大学では多い順に、「教育」75人、「家政」56人、「人文」48人。高等専門学校では多い順に、「工業」585人、「商船」5人。

表73 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 [学科(専攻)別]

	障害学生数				支援発達障害学生数				支援発達障害学生数				区分不明			
	診断書有(再掲)	①+②	①診断書有(再掲)	②診断書無・配慮有	発達障害の重複	①+②	①診断書有(再掲)	②診断書無・配慮有	発達障害の重複	①+②	①診断書有(再掲)	②診断書無・配慮有				
(人)	S L D	A D D	A S D	発達障害の重複	S L D	A D D	A S D	発達障害の重複	S L D	A D D	A S D	発達障害の重複				
計	7,065	231	1,883	3,781	1,170	7,844	4,990	168	1,250	2,643	929	2,854	102	558	1,414	780
大学	5,977	199	1,624	3,185	969	6,940	4,402	145	1,111	2,346	800	2,538	75	513	1,296	654
人文科学	1,457	44	374	792	247	1,778	1,109	37	277	596	199	669	19	147	314	189
社会科学	1,210	45	355	630	180	1,483	892	33	224	482	153	591	19	112	294	166
理学	420	8	102	237	73	508	316	4	75	177	60	192	2	41	100	49
工学	1,276	22	287	732	235	1,414	928	17	192	519	200	486	12	95	302	77
農学	264	8	77	136	43	290	207	6	47	114	40	83	1	11	46	25
保健(医・歯学)	76	1	27	34	14	102	60	1	17	29	13	42	0	9	18	15
保健(医・歯学を除く)	205	17	65	101	22	240	120	9	34	60	17	120	1	19	60	40
商船	7	0	3	3	1	7	6	0	2	3	1	1	0	1	0	0
家政	71	3	30	31	7	89	50	3	23	19	5	39	2	10	9	18
教育	211	10	72	101	28	254	159	6	52	79	22	95	5	31	43	16
芸術	400	21	131	191	57	366	263	16	86	120	41	103	10	20	43	30
その他	380	20	101	197	62	409	292	13	82	148	49	117	4	17	67	29
短期大学	240	10	68	131	31	311	169	7	53	86	23	142	21	24	39	58
人文	35	1	15	18	1	48	25	1	13	10	1	23	1	5	4	13
社会	35	2	8	21	4	44	23	1	6	13	3	21	4	4	6	7
教養	4	0	1	2	1	6	4	0	1	2	1	2	0	0	1	1
工業	19	0	4	9	6	19	15	0	4	8	3	4	0	1	2	1
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保健	6	0	3	3	0	13	5	0	3	2	0	8	3	2	3	0
家政	46	2	16	23	5	56	30	1	11	14	4	26	1	3	7	15
教育	42	3	9	25	5	75	34	3	8	19	4	41	10	6	10	15
芸術	28	1	6	14	7	26	15	0	3	6	6	11	1	3	4	3
その他	25	1	6	16	2	24	18	1	4	12	1	6	1	0	2	3
高等専門学校	848	22	191	465	170	593	419	16	86	211	106	174	6	21	79	68
社会	2	1	0	1	0	3	2	1	0	1	0	1	0	0	0	1
工業	838	21	187	461	169	585	414	15	84	210	105	171	6	21	79	65
商船	8	0	4	3	1	5	3	0	2	0	1	2	0	0	0	2
芸術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3)発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数(学校種別)

<概要>

- 「発達障害(診断書有)学生または発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校」は752校で、全学校(1,174校)に占めるその在籍校の割合は64.1%。
- 「支援発達障害(診断書有)学生または発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校」は694校で、全学校(1,174校)に占めるその在籍校の割合は59.1%。

表74 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数 [学校種別]

(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
発達障害(診断書有)学生または発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校数	752	567	133	52
発達障害(診断書有)学生が1人以上在籍する学校数	689	536	104	49
SLD	154	132	10	12
ADHD	493	403	49	41
ASD	583	465	70	48
発達障害の重複	338	279	23	36
支援発達障害(診断書有)学生または発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校数	694	526	116	52
支援発達障害(診断書有)学生が1人以上在籍する学校数	615	484	83	48
SLD	118	100	7	11
ADHD	397	329	39	29
ASD	501	407	52	42
発達障害の重複	291	243	18	30
発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校数	417	324	63	30
SLD	65	53	9	3
ADHD	190	164	17	9
ASD	270	224	29	17
区分不明	232	183	33	16
全体の学校数	1,174	792	325	57

(4)発達障害のある学生への支援(支援内容別)

<概要>

○「支援発達障害(診断書有)学生または発達障害(診断書無・配慮有)学生が1人以上在籍する学校」694校で行なわれている支援内容は次のとおり。

- ・授業支援では、多い順に「配慮依頼文書の配付」424校、「講義に関する配慮」261校、「学習指導」250校。
- ・授業以外の支援では、多い順に「専門家によるカウンセリング」429校、「自己管理指導」279校、「対人関係配慮」273校。

表75 支援発達障害学生への主な支援内容 [授業支援及び授業以外の支援]

	(校)	計	大学	短期大学	高等 専門学校
授業支援		627	484	96	47
配慮依頼文書の配付		424	354	51	19
講義に関する配慮		261	231	20	10
学習指導		250	197	30	23
出席に関する配慮		238	211	15	12
履修支援		226	201	23	2
教室内座席配慮		214	171	27	16
注意事項等文書伝達		195	160	20	15
授業内容の代替、提出期限延長等		191	167	11	13
実技・実習配慮		151	120	20	11
試験時間延長・別室受験		141	121	10	10
授業以外の支援		552	427	82	43
専門家によるカウンセリング		429	340	52	37
自己管理指導		279	228	28	23
対人関係配慮		273	214	36	23
居場所の確保		225	178	26	21
就職支援情報の提供、支援機関の紹介		214	179	23	12
医療機関との連携		191	152	20	19
キャリア教育		186	158	19	9
就職先の開拓、就職活動支援		170	140	19	11
障害学生向け求人情報の提供		145	127	15	3
休憩室・治療室の確保等		139	116	13	10

(5)発達障害を理由とする受験上の配慮(学校種別)

<概要>

○平成31年度入学者選抜において、発達障害を理由とする受験上の配慮について次のとおり。

- ・「診断書有」の受験者は543人で、多い順に「特別入試以外」受験者444人、「特別入試」の受験者81人、「特別入試」の中では、多い順に「推薦入試」の受験者51人、「AO入試」の受験者29人。
- ・「診断書無・配慮有」の受験者は21人で、多い順に「特別入試以外」の受験者15人、「特別入試」の受験者6人、「特別入試」のほとんどは「推薦入試」の受験者で5人、「AO入試」の受験者が1人。

表76 発達障害を理由とする受験上の配慮を行なった受験者数 [学校種別]

	(人)	学部・学科 (通学)					障害者 特別入試	特別入 試以外	学部・ 学科 (通信)			
		計	特別入試	AO入試	推薦入試	大学院 (通学)			大学院 (通信)	専攻科		
診断書有(再掲)	543	525	81	29	51	1	444	11	5	2	0	
大学	534	516	80	29	50	1	436	11	5	2	0	
SLD	89	87	19	5	14	0	68	2	0	0	0	
ADHD	88	84	3	1	2	0	81	1	2	1	0	
ASD	245	235	36	13	22	1	199	7	2	1	0	
発達障害の重複	112	110	22	10	12	0	88	1	1	0	0	
短期大学	1	1	0	0	0	0	1	0	—	—	0	
SLD	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	
ADHD	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	
ASD	1	1	0	0	0	0	1	0	—	—	0	
発達障害の重複	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	
高等専門学校	8	8	1	0	1	0	7	—	—	—	0	
SLD	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	
ADHD	3	3	0	0	0	0	3	—	—	—	0	
ASD	2	2	1	0	1	0	1	—	—	—	0	
発達障害の重複	3	3	0	0	0	0	3	—	—	—	0	
診断書無・配慮有	21	21	6	1	5	0	15	0	0	0	0	
大学	19	19	6	1	5	0	13	0	0	0	0	
SLD	4	4	2	1	1	0	2	0	0	0	0	
ADHD	4	4	0	0	0	0	4	0	0	0	0	
ASD	3	3	2	0	2	0	1	0	0	0	0	
区分不明	8	8	2	0	2	0	6	0	0	0	0	
短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	
SLD	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	
ADHD	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	
ASD	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	
区分不明	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	
高等専門学校	2	2	0	0	0	0	2	—	—	—	0	
SLD	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	
ADHD	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	
ASD	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	
区分不明	2	2	0	0	0	0	2	—	—	—	0	

(6)発達障害学生の卒業後の進路状況(学校種別)

<概要>

○「診断書有」の学生については次のとおり。

- ・通学制の最高年次(※)に在籍していた「診断書有」の学生は、(平成30年5月1日現在)1,434人。平成30年度卒業生は979人。
- ・卒業生の進路状況は、進学が162人、就職が406人。進学のうち就職している者4人を加えた全就職者数は410人。

○「診断書無・配慮有」の学生については次のとおり。

- ・通学制の最高年次(※)に在籍していた「診断書無・配慮有」の学生は、(平成30年5月1日現在)978人。平成30年度卒業生は692人。
- ・卒業後の進路状況は、進学が80人、就職が346人。進学のうち就職している者3人を加えた全就職者数は349人。

※ 最高年次とは「大学:4年次及び6年次、短期大学:2年次(3年制の場合は3年次)、高等専門学校:5年次」をいう。

表77 発達障害学生の卒業後の進路状況 [学校種別]

	30年5月1日現在数(人)	平成30年度卒業生(平成31年3月31日現在)	平成30年度に卒業した障害学生の進路状況(令和元年5月1日まで)													
			進学者	大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科	別科	うち就職している者	就職者(左記を除く)	含む)	臨研修医(予定者を除く)	専修学校・外国の学校・教育訓練機関等	社会福祉施設・医療機関入所者	一時的な職に就いた者	左記以外の者
計	2,412	1,671	242	148	65	7	20	2	7	752	5	36	39	100	360	137
診断書有(再掲)	1,434	979	162	85	53	7	15	2	4	406	5	26	33	48	230	69
大学	1,257	822	113	82	29	0	0	2	2	332	5	22	32	39	210	69
SLD	49	34	3	3	0	0	0	0	0	14	0	2	5	3	3	4
ADHD	352	224	20	12	8	0	0	0	1	107	3	5	4	8	45	32
ASD	665	455	76	57	17	0	0	2	1	167	2	12	19	25	129	25
発達障害の重複	191	109	14	10	4	0	0	0	0	44	0	3	4	3	33	8
短期大学	93	79	14	0	6	7	1	0	2	41	0	3	1	3	17	0
SLD	10	10	2	0	1	1	0	0	1	7	0	0	0	0	1	0
ADHD	35	27	5	0	1	3	1	0	1	15	0	0	0	1	6	0
ASD	38	33	6	0	3	3	0	0	0	14	0	3	1	1	8	0
発達障害の重複	10	9	1	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	1	2	0
高等専門学校	84	78	35	3	18	0	14	0	0	33	0	1	0	6	3	0
SLD	2	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ADHD	16	14	6	1	4	0	1	0	0	5	0	0	0	1	2	0
ASD	56	52	22	2	10	0	10	0	0	24	0	1	0	4	1	0
発達障害の重複	10	10	6	0	3	0	3	0	0	3	0	0	0	1	0	0
診断書無・配慮有	978	692	80	63	12	0	5	0	3	346	0	10	6	52	130	68
大学	881	604	72	62	9	0	1	0	3	286	0	8	4	42	125	67
SLD	20	16	0	0	0	0	0	0	0	6	0	1	0	1	8	0
ADHD	188	126	18	14	3	0	1	0	0	59	0	1	0	11	22	15
ASD	457	311	43	39	4	0	0	0	3	153	0	5	4	18	56	32
区分不明	216	151	11	9	2	0	0	0	0	68	0	1	0	12	39	20
短期大学	87	80	4	0	2	0	2	0	0	57	0	2	2	9	5	1
SLD	14	14	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	3	1	0
ADHD	22	21	1	0	1	0	0	0	0	17	0	1	0	1	1	0
ASD	26	23	1	0	1	0	0	0	0	16	0	0	2	2	1	1
区分不明	25	22	2	0	0	0	2	0	0	14	0	1	0	3	2	0
高等専門学校	10	8	4	1	1	0	2	0	0	3	0	0	0	1	0	0
SLD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	3	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
ASD	4	3	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分不明	3	3	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0



## < IV. 参考資料 >

### 調査の手引

※日本学生支援機構のウェブサイトからダウンロードできます。

[https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu\\_shien/chosa\\_kenkyu/chosa/2019.html](https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/chosa_kenkyu/chosa/2019.html)



令和元年度（2019年度）

大学、短期大学及び高等専門学校における  
障害のある学生の修学支援に関する実態調査

# 調査の手引

## I 調査の概要

本調査は、全国すべての大学、短期大学、高等専門学校を対象とし、障害のある学生の状況および修学支援に関する基本的事項を明らかにし、修学支援のより一層の充実を図ることを目的とした実態統計調査であり、独立行政法人日本学生支援機構（以下JASSO）が毎年実施しています。

調査は、統計的に処理を行ない、個々の学校の状況は公表しません。

学校単位の個別情報や個人情報保護・管理については十分な配慮を行いません。収集した情報は、研究及び政策立案のために使用しますが、学校及び個人が特定できる分析は行いません。

〔1〕 調査の期日 令和元年5月1日現在

〔2〕 調査の内容

1. 学校基本情報（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）
  - (1) 学校名と主となる所在地
  - (2) 学校全体の学生数
  - (3) 本調査の担当部署（者）
  - (4) 障害学生支援の主たる担当部署（者）
2. 支援体制（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）
  - (1) 障害者差別解消法に関する対応要領等
  - (2) 障害学生支援に関する委員会等
  - (3) 紛争解決のための第三者組織
  - (4) 障害学生支援担当部署（者）
  - (5) 障害学生の相談受付窓口
  - (6) 支援の申し出等に関する対応手順
  - (7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況
  - (8) 支援学生（ノートテイカー等）
3. 活動や取組（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）
4. 受入に関する配慮（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）
  - (1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知
  - (2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法
  - (3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮
5. 入学者数等（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）
  - (1) 障害のある入学者数等
  - (2) 受験上の配慮の内容
6. 平成30年度卒業生（平成30年度の学部（通学課程）最成年次に障害学生が在籍していた場合にご回答ください）

なお、この「調査の手引」(PDF)はウェブサイトに掲載しています。

7. 障害学生数（令和元年度に障害のある学生が在籍する場合にはご回答ください）  
学校種別に以下の課程の表があります。障害のある学生が在籍する課程全てに記入してください。

■大学・大学院（1）学部（通学課程）、（2）学部（通信教育課程）、（3）大学院（通学課程）、（4）大学院（通信教育課程）、（5）専攻科

■短期大学（1）学部（通学課程）、（2）学部（通信教育課程）、（3）専攻科

■高等専門学校（1）学部（通学課程）、（2）専攻科

8. 病弱・虚弱（他の慢性疾患）の内訳（「7. 障害学生数」の障害種別「病弱・虚弱」の「他の慢性疾患」に学生数を計上した場合にご回答ください）

9. 精神障害（他の精神障害）の内訳（「7. 障害学生数」の障害種別「精神障害」の「他の精神障害」に学生数を計上した場合にご回答ください）

10. その他の障害の内訳（「7. 障害学生数」の障害種別「その他の障害」に学生数を計上した場合にご回答ください）

11. 授業支援と授業以外の支援（令和元年度に障害のある学生が在籍する場合にはご回答ください）

学校種別に全課程の表があります。障害のある学生が在籍する課程全てに記入してください。

12. 発達障害が疑われる学生への支援（診断書はないが発達障害が疑われ、なんらかの支援を行なっている学生が在籍する場合にはご回答ください）

（1）発達障害のある学生への支援における課題

（2）発達障害が疑われ、なんらかの支援を行なっている学生数

支援している学生の数、実施している支援内容（授業支援及び授業以外の支援）を記入してください。

13. 意見・要望（障害学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）

〔3〕提出の期限 令和元年10月18日（金）

〔4〕調査結果の公表

報告書：令和2年3月（予定）

調査結果はJASSOウェブサイト障害学生支援

([https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu\\_shien/index.html](https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/index.html)) で閲覧できます。

〔5〕調査票の配付

調査票は、「大学・大学院用」「短期大学用」「高等専門学校用」の3種類を用意しています。JASSOウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。

JASSOウェブサイト 障害のある学生の修学支援に関する実態調査  
[https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu\\_shien/chosa\\_kenkyu/chosa/2019.html](https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/chosa_kenkyu/chosa/2019.html)

○キャンペーンが複数ある場合も1校1回答にまとめてください。

○大学内に短期大学部を有している場合は、大学（大学院を含む）と短期大学の各1回答をお願いします。

○統合された学校で、旧校名での在籍学生がいる場合は、統合先の学校と合算せず、旧校名での回答をお願いします。

〔6〕回答の提出

回答を記入した調査票データファイル（Excel）をメールに添付し、JASSOまで送信してください。

【回答のファイル名】

機関コード（6桁の半角数字）\_（アンダーバー）\_学校名\_（アンダーバー）\_実態調査

（例：100999\_JASSO大学\_実態調査）

※機関コードとは、JASSO学生生活部障害学生支援課が各学校の識別用に割り当てている番号で、奨学金の「学校番号」とは違います。調査票の「1. 学校基本情報」シートの（1）に学校名を記入すると、上の黒帯の右端に白い文字で6桁の数字が表示されますのでご確認ください。

【メールのタイトル】学校名

【メールの送信先】 [kaitou@jasso.go.jp](mailto:kaitou@jasso.go.jp)

事情によりメールでデータファイルを送ることができない場合は、JASSO学生生活部障害学生支援課までご相談ください。

〔7〕調査に関するお問い合わせ先

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部障害学生支援課障害学生調査・分析係

電話：03-5520-6176 E-Mail：[tokubetsushien@jasso.go.jp](mailto:tokubetsushien@jasso.go.jp)

## II 調査票に係る取扱上の注意及び作成上の留意点

### 〔1〕調査票（回答）の取扱上の注意

情報保護のため、メールに添付する調査票（回答）ファイルには、読み取りパスワードを設定してください。パスワードは、JASSOよりお送りした調査依頼文書（令和元年9月2日付）に記載してあります。パスワードを設定したファイルは、再度開いて、パスワードでロックを解除できることをご確認の上、メールに添付して送信してください。

読み取りパスワードの設定方法については、12ページをご参照ください。

### 〔2〕調査票（回答）の作成上の留意点

①セル、シート、ブックの編集はできません。

本調査票では、記入欄以外のところには記入できないようになっております。また、シートやセル、行、列の移動、削除、挿入等の編集もできません。ただし、自由記述欄の結合してあるセルを分割する等、一部編集できてしまう箇所もありますので、ご記入の際にはご注意ください。

また、セル内容をコピーして他のセルに貼り付ける場合には、必ず貼り付けオプションの「値の貼り付け」を選択してください。セル内容の全てをコピーしてしまうと、エラーチェック機能に誤動作が発生することがあります。

記入欄が足りない場合は、回答を添付するメール本文に記載するか、別表を作成して調査票（回答）とともにメールに添付してください。

②赤色や黄色のセル

本調査票には、記入すると赤色や黄色になるセルがあります。

<赤色のセル> 記入した数や内容について、詳細や関連事項を記入する別表があるセルです。詳細や関連事項等の必要箇所を記入すると、白地に戻ります。

<黄色のセル> 同じ表の中で不整合が起きていると、セルが黄色に表示されます。（例：全学生数より入学者数の方が多い）不整合を修正すると、白地に戻ります。

回答後のご確認の際に、各設問にある【記入上の注意】を参考に、赤や黄色のセルが残っていないかご確認ください。

③記入内容の反映

各表の計の欄や、赤色、黄色のセル表示が再記入内容をすぐに反映しない場合があります。その場合は、ファイルのオプションにある「計算方法」が「手動」になっているので、「自動」に変更してください。

④学校名の記入

「学校名」には法人名は不要です。法人名を加えて記入（例：国立大学法人〇〇大学）すると「機関コード」にエラー表示が出ます。大学名のみを、略さず「〇〇大学」と記入してください。「学校名」を記入すると、その右上の黒帯の欄に「機関コード」が表示されます。この「機関コード」は回答ファイルのファイル名に

使用します。

### ⑤「記入上の注意」

調査票各シートの記入欄の右側には、本手引の内容を含む、より具体的な「記入上の注意」を掲載しています。回答を記入する際の参考にしてください。なお、調査票を印刷する際には、この「記入上の注意」は印刷されない設定となっております。

### 〔3〕 昨年度調査との主な相違点

性別違和（性同一性障害）を本調査の対象外としました。

昨年度まで、「精神障害」の「他の精神障害」に区分していた「性別違和」を、本調査の対象から除外しました。性別違和、性同一性障害、トランスジェンダー、LGBT等の診断のある学生については、本調査の対象外となりますので、障害学生としての計上からは除外していただけますよう、よろしくお願いいたします。

〔除外の理由〕

性別違和が障害か否かについては、以前より議論のあるところでしたが、昨年6月に発表された ICD-11（WHO「国際疾病分類」最新版）において「性同一性障害」が「精神疾患」から外される等、性別違和を障害とは捉えない方向へ進んでいくものと考えられます。そこで本調査では、令和元年度より性別違和を調査対象から除外することとしました。

1. 学校基本情報  
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 学校名と主となる所在地  
学校名の欄に学校の名称を記入してください。法人名は不要です。学校名にアルファベットを含む場合は全角で入力してください。  
主となる所在地の欄に都道府県名を記入してください。なお、記入の際は末尾に「都」「道」「府」「県」を付けてください。(例：京都府、青森県)
- (2) 学校全体の学生数  
令和元年5月1日現在の在籍学生数、入学者数及び平成30年度卒業生数を回答してください。対象となる学生の定義については、13ページをご参照ください。  
・全学生数  
・学部……通学課程、通信教育課程 大学院…通学課程、通信教育課程 専攻科  
・全入学者数(1年次のみ)  
・学部……通学課程、通信教育課程 大学院…通学課程、通信教育課程 専攻科  
・平成30年度全卒業生数  
・学部……通学課程
- (3) 本調査の担当部署(者)  
本調査の担当部署名、担当者(記入者)の役職・氏名(フリガナ)・連絡先(郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-Mailアドレス)を記入してください。  
※回答内容に関する確認等で、連絡させていただく場合があります。
- (4) 障害学生支援の主たる担当部署(者)  
障害学生支援の担当部署と担当者について記入してください。担当部署が複数存在する場合には、いずれか1部署を代表で記入してください。  
※本機構の障害学生支援事業に関するご案内等をさせていただく場合があります。

2. 支援体制  
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 障害者差別解消法に関する対応要領等  
障害者差別解消法の施行に伴い、これに適切に対応するための対応要領の策定は大学等においても国公立は義務となり、私立においては文部科学省の定める対応指針に準じた対応を行なうこととされました。対応要領またはこれに準じる規程等があるかどうかについて回答してください。
- (2) 障害学生支援に関する専門委員会等  
障害学生支援について協議・検討する委員会等の有無について回答してください。委員会の名称及び代表者の役職等(副学長、学部長等)についても記入してください。

- (3) 紛争解決のための第三者組織  
障害を理由とする差別及び合理的配慮の不提供に関する紛争の防止、解決等に関する調整機関の有無について回答してください。
- (4) 障害学生支援担当部署(者)  
1) 障害学生支援業務を行なう部署、機関の有無、名称について回答してください。  
2) 障害学生支援業務を行なう担当者の有無と人数について回答してください。兼任スタッフについては、障害学生支援に関する決まった担当者ではなく関連部署・機関の全員が対応している場合は、人数は記入不要です。
- (5) 障害学生の相談受付窓口  
支援の申し出等、障害のある学生からの相談に対応する窓口の有無及びその周知について回答してください。
- (6) 支援の申し出等に関する対応手順  
支援の申し出等に関する対応手順を定めた文書について回答してください。対応手順とは、障害学生から支援の申し出を受けた際に、どのような手順で対応するか業務の流れを指します。  
対応手順の例：手順1. 関係部署・機関が対応を協議 手順2. 障害学生との面談実施 手順3. 障害学生とともに使用する施設・設備を視察……等
- (7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況  
障害のある学生が学生生活を送る上で必要となる施設・設備(屋外・屋内・支援機器)について、その整備状況を記入してください。キャンパスごとに整備状況が異なる場合も学校全体の状況にまとめて回答してください。
- (8) 支援学生(ノートテイカー等)  
障害のある学生を支援する学生(支援学生)について、支援学生組織の有無、支援を実施した場合の待遇(有償、無償等)、組織に所属する学生数等を回答してください。

3. 活動や取組  
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

- 令和元年度に実施する(予定含む)障害学生支援に関する活動や取組について回答してください。各項目の定義については、16ページをご参照ください。
- ① 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組  
② 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組  
③ 支援情報の公開(学外者が見られるホームページで公開している)  
④ 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援  
⑤ 他大学等との連携  
⑥ 学外機関との連携  
⑦ 相談対応・懇談会等(障害学生・支援スタッフ向け)

入してください。内容が複数ある場合も同じ欄に併記してください。

6. 平成30年度卒業生  
(平成30年度学部(通学課程)最高年次に障害学生が在籍していた場合にご回答ください)

大学は学部(通学課程)、短期大学は学科(通学制)、高等専門学校は本科の平成30年度の最高年次に障害学生が在籍していた場合にご回答ください。最高年次及び進路の定義については、16ページをご参照ください。

(1) 学部(通学課程)最高年次及び卒業障害学生数

①昨年度調査時(平成30年5月1日現在)に最高年次に在籍していた障害学生数を記入してください。

②平成30年5月2日から平成31年3月31日までに卒業した障害学生数を記入してください。

③上記②のうち就職希望者数を記入してください。

(2) 状況別卒業障害学生数(令和元年5月1日現在)

(1)の②で回答した卒業生の、令和元年5月1日現在の状況を記入してください。

※診断書はないが、発達障害が疑われ、学校が支援を行っていた卒業生の進路についても、別表で回答してください。

#### 7. 障害学生数

(令和元年度に障害のある学生が在籍している場合にご回答ください)

学校種別に、それぞれ次のように表が分かれています。障害のある学生が在籍するすべての課程の表に記入してください。

■大学・大学院(1)学部(通学課程)、(2)学部(通信教育課程)、(3)大学院(通学課程)、(4)大学院(通信教育課程)、(5)専攻科

■短期大学(1)学部(通学課程)、(2)学部(通信教育課程)、(3)専攻科

■高等専門学校(1)学部(通学課程)、(2)専攻科

○障害学生数について

A～Lの学科(専攻)別の該当する障害種の欄に、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。障害学生、支援障害学生及び各障害種の定義については、13ページをご確認ください。

※学科(専攻)の分類は学校ごとに異なります。詳しくは文部科学省「学校基本調査」付属資料の「学科系統分類表」をご確認ください。

記入した学生数の障害種別の合計は、表の最上段の「全体の障害学生数」及び「支援障害学生数」の欄に反映されます。

令和元年度障害のある入学者数、休学者数(令和元年5月1日現在)、最低在学年限度数についても回答してください。

- ⑧障害学生支援に関する(学内)教員研修(FD等)
- ⑨障害学生支援に関する(学内)職員研修(SD等)
- ⑩障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣
- ⑪障害学生支援に関する学生向け研修(ノートテイカー養成等)
- ⑫支援マニュアル、パンフレット等の配布
- ⑬オープンキャンパス等、入学希望者を対象とするイベントでの情報提供
- ⑭入学後のガイダンス等における、障害学生支援の継続などに関する学内規程や支援事例等の周知
- ⑮障害学生支援に関する講座・講演等イベント
- ⑯障害学生支援または障害者支援に関する講義(ポランティア論等)

4. 受入に関する配慮  
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

(1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知  
入学者選抜における受験上の配慮を周知している方法とその内容について回答してください。

(2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法  
令和元年度入学者選抜において、実際に事前相談があったかどうかに関わらず、どのような受付方法をとっていたかを回答してください。

(3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮  
令和元年度入学者選抜において準備していた、または受験者から申請があった場合に対応が可能であった配慮について回答してください(申請の有無は問わない)。

5. 入学者数等  
(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

(1) 障害のある入学者数等  
令和元年度入学者選抜における、障害のある相談者数、志願者数、受験者数、合格者数、入学者数について回答してください。相談者数、志願者数、受験者数、合格者数は延べ数を、入学者数は実数を記入してください。入学後に障害のあることがわかった学生は含みません。

また、障害のある入学希望者のうち、受験者数、合格者数、入学者数について、受験上の配慮を行なった数を、課程ごと(学部(通学課程)は入試方式ごと)に回答してください。入試形態の定義については、16ページをご参照ください。

(2) 受験上の配慮の内容  
(1)で計上した受験上の配慮の内容について回答してください。配慮の内容A～Vまでに該当しない場合は、下にある表の該当する障害種の欄に具体的な内容を記

身体障害と発達障害、精神障害が重複している場合は、身体障害の該当欄に数を記入し、最下段にある「発達障害との重複」「精神障害との重複」の該当欄にも記入してください。

発達障害と精神障害が重複している場合は、学校で把握している主たる障害の欄に学生数を記入し、副となる障害については、「発達障害との重複」または「精神障害との重複」の該当欄に記入してください。いずれが主たる障害かが明らかでない場合も「発達障害」にも「精神障害」にも記入せず、「その他の障害」に計上してください。

8. 病弱・虚弱（他の慢性疾患）の内訳  
〔7. 障害学生数〕で「病弱・虚弱 他の慢性疾患」に計上した場合にご回答ください

課程別に表が分かれています。「病弱・虚弱」の「他の慢性疾患」に計上した学生の学科（専攻）と診断名、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。

9. 精神障害（他の精神障害）の内訳  
〔7. 障害学生数〕で「精神障害 他の精神障害」に計上した場合にご回答ください

課程別に表が分かれています。「精神障害」の「他の精神障害」に計上した学生の学科（専攻）と診断名、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。

10. その他の障害の内訳  
〔7. 障害学生数〕で「その他の障害」に計上した場合にご回答ください

課程別に表が分かれています。「その他の障害」に計上した学生の学科（専攻）と診断名、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。

11. 授業支援と授業以外の支援  
〔7. 障害学生数〕で支援障害学生数を計上した場合にご回答ください

課程別に授業支援の表と授業以外の支援の表があります。「7. 障害学生数」に計上した支援障害学生数への支援について、該当する支援内容を回答してください。発達障害については、診断書種別に、実施している支援の欄に「1」を記入してください。発達障害については、診断書のある学生に対する支援について回答してください。診断書のない学生への支援については「12. 発達障害が疑われる学生への支援」に回答欄があります。実施している支援が各項目に当てはまらない場合には、「その他の授業支援」または「その他の授業以外の支援」に「1」を記入し、下にある表に障害種と具体的な内容を記入してください。支援内容の定義については、17ページをご参照ください。

12. 発達障害が疑われる学生への支援  
（発達障害が疑われ、何らかの支援を行っている学生が在籍する場合にご回答ください）

(1) 発達障害のある学生への支援における課題

発達障害のある学生への支援について、課題と感していることがあれば該当欄に「1」を記入してください。

(2) 発達障害が疑われ、なんらかの支援を行なっている学生数

課程ごとに、学生数と授業支援の表、授業以外の支援の表があります。なお、ページの都合上、学科（専攻）別の「人文科学」～「保健（医・歯学）」までと、「保健（医・歯学を除く）」～「その他」までの表に分かれています。

発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生の数を記入してください。「発達障害（診断書無・配慮有）」の定義については、15ページをご参照ください。

令和元年度入学者数、休学者数（令和元年5月1日現在）、最低在学年超過数についても記入してください。

なお、このシートで計上した学生数は、「7. 障害学生数」の障害学生数、支援障害学生数には含まれません。

○支援内容

実施している支援内容について、該当する区分の欄に「1」を記入してください。「その他の授業支援」「その他の授業以外の支援」を選択した場合は、学科（専攻）、障害種別（下位区分）、具体的な内容を下にある別表に記入してください。支援内容の定義については、17ページをご参照ください。

13. 意見・要望  
（障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください）

- (1) 障害学生支援の課題について
- (2) 障害学生の進路、就労、キャリア教育等の課題について
- (3) JASSOの障害学生支援の取組について

### Ⅲ本調査における用語の定義

対象となる学生について

- 【学生数】 研究生、科目等履修生、聴講生及び別科生は含みません。
- 【入学者数】 1年次の入学者の数（2年次以上の編入者は含みません）。
- 【障害学生】 「身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳」を有している学生又は健康診断等において障害があることが明らかになった学生（重複する場合は実数）
  - ※ 令和元年 5 月 1 日現在、在籍していた全ての障害学生（障害があることに ついての申請が令和元年 5 月 2 日以降の場合を含む）を計上してください。
  - ※ 各障害種の定義（13～15 ページ）もご参照ください。
- 【支援障害学生】 学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている障害学生（今年度中の支援予定を含む）
  - 支援については、17 ページの各支援内容の定義をご参照ください。
- 【最低在学年超過数】 各課程の最低在学年限（4 年制ならば 4 年、6 年制ならば 6 年）を超えて在学している障害学生数（休学者数は含みません）

障害について

- 【視覚障害】
  - 盲……視覚による教育が不可能又は著しく困難で、主として触覚及び聴覚など、視覚以外の感覚を利用しての教育が必要な程度
  - 弱視……視覚による教育は可能であるが、文字の拡大など教育上特別の配慮が必要なる程度（視野障害や、明るいと暗いところがまぶしく感じる羞明や暗いところが見えにくい夜盲等の明暗順応の障害を含む）
    - ※ 色覚異常、片目の失明については、「その他の障害」に計上し、診断名欄にその旨（色覚異常、片目の失明）を記入する。
- 【聴覚・言語障害】
  - 聾……両耳の聴力損失 60 デシベル以上、又は補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能、又は著しく困難な程度
  - 難聴……両耳の聴力損失 60 デシベル未満、又は補聴器を使用すれば通常の話し声を解することが可能な程度
  - 言語障害のみ……発声、発語に関する機能障害（構音障害、音声障害、流暢性の障害、言語発達遅滞、口蓋裂）

### 調査票記入後の確認事項

#### 1. 全般的な確認事項

- (1) 学校名、機関コード、所在地の都道府県名と No. は正しく表示されていますか。
- (2) 連絡先（電話・FAX 番号）、担当部課室名、担当者の役職・氏名（フリガナ）・E-Mail アドレスに誤りはありませんか。
- (3) 前年度調査でご回答いただいた内容と比較して、各項目の数値に著しい差はありませんか。
- (4) 記入漏れシートはありませんか。

#### 2. 項目別の確認事項

各項目の記入欄に、赤色や黄色のセルが残っていませんか。セルが黄で表示される場合は、同じ表内の別の数値と不整合がないか、ご確認ください。セルが赤で表示される場合は、同じ数値の詳細、内容等を記入している別表と不整合がないか、ご確認ください。

読み取りパスワードの設定について

まず、回答を記入した調査票ファイルのコピーを作成してください。元のファイルにいきなりパスワードを設定してしまうと、パスワードを紛失した場合に、ファイルが開けなくなります。コピーしたファイルに、ファイル名（3 ページ [6] 参照）をつけます。パスワードの設定方法は、以下のとおりです。

#### ■ Excel2010・2013

- ① [ファイル] タブをクリックします。
- ② [情報] をクリックします。
- ③ [ブックの保護] をクリックします。
- ④ [パスワード] を使用して暗号化] をクリックし、パスワードを設定してください。

気分障害……躁病エピソード、双極性感情障害、うつ病エピソード、反復性うつ病性障害、持続性気分（感情）障害等（ICD-10 F30-F39 に該当する疾患）  
 神経症性障害等……不安障害、強迫性障害（強迫神経症）、重度ストレスへの反応及び適応障害、解離性（転換性）障害、身体表現性障害、神経衰弱等（ICD-10 F40-F48 に該当する疾患）

摂食障害、睡眠障害等……摂食障害、睡眠障害、依存を生じない物質の乱用等（ICD-10 F50-F59 に該当する疾患）  
 ※ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群はここに計上する。

他の精神障害……上記に当てはまらない精神障害。高次脳機能障害、依存症候群、人格障害、トレット症候群、緘黙症、知的障害、知的障害、診断名が確定していない抑うつ状態等。

【その他の障害】視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複、発達障害及び精神障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある者 又は、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者

※多汗症、原因の特定できない過敏性腸症候群、頻尿等はここに計上する。  
 【発達障害（診断書無・配慮有）】発達障害であるとの医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、学校が何らかの支援（教育上の配慮等）を行なっている者

※何らかの支援（教育上の配慮等）とは、学内の組織、部署等の業務として行なっているもので、一部の教職員が個人的に行なっているものとは含まない。

S L D……限局性学習症/限局性学習障害（旧 L D；学習障害）  
 ADHD……注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥/多動性障害）  
 ASD……自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害（旧高機能自閉症等；高機能自閉症及びアスペルガー症候群）

区分不明……上記の3つのいずれに該当するか不明の者

※ICD は世界保健機関による疾病及び関連保健問題の国際統計分類で、国際的に広く用いられている統計分類基準です。令和元年5月1日時点での最新版が ICD-11 となります。

【肢体不自由】  
 上肢機能障害……腕、手、指および各関節に関する機能障害  
 下肢機能障害……脚、足指および各関節に関する機能障害  
 上下肢機能障害……上肢、下肢の両方に関する機能障害  
 他の機能障害……体幹（胴体）に関する機能障害、体幹と上肢の機能障害、体幹と下肢の機能障害、体幹と上下肢の機能障害および運動の障害

【病弱・虚弱】「学校教育法施行令 障害の程度」における「病弱者」に該当する者を指す。  
 内部障害等（※1）……心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸の機能障害、小腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能障害及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者

※1：「身体障害者障害程度等級表」または「小児慢性特定疾病」に該当する者  
 他の慢性疾患（※2）……身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者 又は、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者（てんかん、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アナフィラキシー等で、身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする者はここに計上する）

※2：これに当てはまらない疾患等については、「その他の障害」に計上する。

【重複】以下の通り、障害が重複している者  
 ○2つの身体障害の重複  
 視覚障害と聴覚・言語障害、視覚障害と肢体不自由、視覚障害と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由、聴覚・言語障害と病弱・虚弱、肢体不自由と病弱・虚弱

○3つ以上の身体障害の重複  
 視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由、視覚障害と聴覚・言語障害と病弱・虚弱、視覚障害と肢体不自由と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱、視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱

【発達障害（診断書有）】発達障害に関する医師の診断書がある者  
 S L D……限局性学習症/限局性学習障害（旧 L D；学習障害）  
 ADHD……注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥/多動性障害）  
 ASD……自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害（旧高機能自閉症等；高機能自閉症及びアスペルガー症候群）

発達障害の重複……上記の3つのいずれかが重複している者

【精神障害】以下の疾患が継続して医療または生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者 又は、健康診断等において下記の障害があることが明らかになった者  
 統合失調症等……統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害（ICD-10 F20-F29 に該当する疾患）

### 活動や取組について

【障害学生支援に関する講義】カリキュラムに含まれる講義（資格取得等に要するものを除く）、単位付与の有無は問わない。

【障害学生支援に関する学生向け研修】支援方法、支援技術等の習得を目的として実施するもの。

【障害学生支援に関する講座・講演等イベント】支援についての意識啓発、情報提供等を目的として実施するもの。

### 入学者選抜及び受験上の配慮について

【受験上の配慮】入学者選抜において行なった、障害を理由とする合理的配慮（別室受験、時間延長等）

※急性の疾病（インフルエンザ等）やけが（骨折、捻挫等）等、一過性のもので、その後に回復の見込みのある者に対して行なった配慮は含みません。

【特別入試】以下の3つに分類される入試方式

AO入試……学校独自の選抜基準（アドミッション・ポリシー）による入試

推薦入試……出身学校長の推薦に基づき、公募制、指定校対象、付属高等学校対象等の推薦入試

障害者特別入試……障害者を対象とする一般入試とは異なる選抜方式による入試（入試形式がAO入試、推薦入試であった場合を含む）

【特別入試以外の入試】上記に当てはまらない入試 一般入試、社会人入試、海外からの帰国生徒を対象とする入試、外国人を対象とする入試等

### 卒業生及び卒業後の進路について

【最髙年次】

大学……4年次または6年次（4年制、6年制の両方が設置されている場合は、その学生数の合計）

短期大学……2年次または3年次（2年制、3年制の両方が設置されている場合は、その学生数の合計）

高等専門学校……5年次

【就職希望者】平成31年3月31日現在卒業した障害学生のうち就職を希望していた者

【就職者】給料、賃金、報酬その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いた者 正社員または雇用期間が一年以上で、勤務形態が正社員に準ずるものであれば「イ．就職者」、それ以外または雇用期間、勤務形態等が不明の場合は「カ．一時的な仕事に従事」に

計上してください。自家・自営業に就いた者（継続的に本業として家業に従事する場合）も、「イ．就職者」の欄に計上してください。夜間部の学生のうち在学中すでに職に就いていた者以外」の欄に計上してください。卒業後も引き続きその職にある場合は「イ．就職者」の欄に計上してください。「ア．進学者」のうちで職に就いている者については、「イ．就職者」に含めず、「②就職教」の欄に計上してください。

【臨床研修医】医師法第16条の2及び歯科医師法第16条の2に基づく臨床研修を受ける者 また5月1日現在、臨床研修医となることが予定される者も含みます。

【専修学校、外国の学校、教育訓練機関等入学者】「ア．進学者」以外で、学校等に入学（在籍）している者 専修学校、外国の学校、職業能力開発校等への入学者、研究生として入学した者等

【社会福祉施設、医療機関入所者】社会福祉施設に入所、又は医療機関に入院した者 社会福祉施設、医療機関に就職した者は「イ．就職者」に計上してください。

【一時的な仕事に従事】一時的な収入を目的とする仕事に就いた者 例えばアルバイト、パート等で一時的な仕事に就いた者を計上してください。

【ア～カ以外】進学でも就職でもないことが明らかなる 家事手伝いなどがここに含まれます。学校で具体的な状況を把握していない者であっても、進学でも就職でもないことが明らかであれば計上してください。

【不詳・死亡の者】不詳は、各欄のいずれに該当するかを学校で把握していない者 死亡は、令和元年5月1日までに死亡した者

### 支援について

【点訳・墨訳】

点訳……教材、配布資料などを点字に訳すこと。

墨訳（すみやく）……試験の点字解答を出題者が採点する際等、点字を墨字、活字に訳すこと。

【教材のテキストデータ化】教材、配付資料等をテキストデータにすること。音声認識ソフトや点訳ソフトを利用するために行ないます。

【教材の拡大】教材、配付資料等を拡大読書器でモニターに拡大表示したり、大きな文字で印刷したりすること。

【ガイドヘルプ】移動の際に、歩行介助及び誘導を行なうこと。主として講義と講義の間の教室移動のサポートをいいます。

【リーディングサービス】教材や配布資料などを音声で読み上げる（文字を音声に訳すこと。主として、講義中に板書されたものをその場で口頭で伝える「代読」と、利用者と支援者が対面して資料等を読み上げる「対面朗読」があります。

【手話通訳（触手話を含む）】講義内容や周りの様子等を手話で伝えること。盲聾者のため

- 【個別支援情報の収集】 出身校や保護者と連携し、必要な支援や入学以前に受けていた支援に関する情報を収集すること。
- 【情報取得支援】 学内行事の案内や休講情報等、学生生活に必要な情報を取得できるよう支援すること。
- 【自己管理指導】 スケジュール管理に関する指導や、自主学習への支援を行なうこと。
- 【対人関係支援】 対人スキル指導や対人関係に関するトラブルへの対応を行なうこと。
- 【日常生活支援】 食事、洗濯、清掃、入浴、睡眠等、日常生活に関する指導を行なうこと。
- 【専門家によるカウンセリング】 臨床心理士等の専門家によるカウンセリング。
- 【医療機関との連携】 主治医や障害に関する専門医療機関等と連携すること。
- 【医療機器、薬剤の保管等】 透析用機器や人工呼吸器等の医療機器や、発作等の緊急用薬剤等を預かり、保管すること。
- 【休憩室・治療室の確保】 休み時間、空き時間に利用できる休憩室や透析等の医療行為を行なうための部屋を確保すること。
- 【生活介助】 体位変換、更衣、食事、トイレ等の介助を行なうこと。
- 【介助者の入構、入室許可】 生活介助等を行なう介助者が学内や教室に入ることを許可すること。
- 【キャリア教育】 学生が自身の障害についての理解を深め、必要な支援や職業適性を把握できるように指導すること。
- 【障害学生向け求人情報の提供】 障害学生を対象とする求人情報を収集し、学生に提供する。
- 【就職支援情報の提供、支援機関の紹介】 障害学生を対象とする就職ガイダンスやセミナー、就職支援サイト、就職支援機関等に関する情報を提供し、紹介すること。
- 【インターンシップ先の開拓】 受け入れ先となる企業等を開拓し、障害学生のインターンシップ体験を支援すること。
- 【就職先の開拓、就職活動支援】 障害学生の適性に合う就職先の開拓や、就職活動におけるエンタリシーの作成や面接を指導すること。

- の触手語を含みます。
- 【ノートテイク】 講義内容や周りの様子等を筆記し、文字で伝えること。
  - 【パソコンテイク】 講義内容や周りの様子等をパソコンに入力し、文字で伝えること。
  - 【ビデオ教材字幕付け・文字起こし】 教材等として使用される映像メディアの台詞やナレーションをテキスト化し、字幕として挿入する、または紙面に記すこと。
  - 【チューター又はティーチング・アシスタントの活用】 大学院の学生や担当教員等が学部学生等に対し、生活や講義、実験・実習、演習等の補助や助言等を行なう学内制度を活用した支援のこと。
  - 【試験時間延長・別室受験】 定期試験の際に、通常の試験時間を延長したり他の学生とは別室で試験を実施すること。点字の読み取りや筆記、代筆等で通常に比べて時間を要する場合、他の学生と同室では支障がある場合等に実施します。
  - 【解答方法配慮】 障害の状況に応じて、試験時の解答方法を変更すること。
  - 【パソコンの貸付許可】 受講に利用するため、パソコンの持ち込みを許可すること。
  - 【注意事項等文書伝達】 定期試験の際、通常は口頭で受験者に伝達する注意事項を文書にして配付あるいは板書すること。
  - 【使用教室配慮】 授業で使用する教室を、移動しやすい教室や修学に適した広さ・設備のある教室にすること。
  - 【実技・実習配慮】 いわゆる座学中心の講義以外の授業（体育等の実技、専門教育での実習、学外実習等）において、障害の状況に応じて配慮すること。
  - 【教室内座席配慮】 教室内での座席を障害学生が受講しやすい位置に配慮すること。
  - 【FM補聴器/マイク使用】 講義者の声を、専用のマイクを通じて補聴器を装着した学生に伝える支援技術の活用。またはその器材の貸し出し等を行なうこと。
  - 【専用机・イス・スペース確保】 車いす用の机の配置やスペースの確保等、受講や学生生活を円滑にするために、障害の状況や特性に合わせた設備又はそれに関連する配慮を行なうこと。
  - 【読み上げソフト・音声認識ソフト使用】 電子データを音声に変換して読み上げたり、音声データを電子データに変換するソフトの活用。またはその貸し出し等を行なうこと。
  - 【講義に関する配慮】 講義内容の録音、板書の撮影等を許可すること。
  - 【授業内容の代替、提出期限延長等】 実技やリスニング等、障害学生にとって困難のある授業を別の内容に代替する、レポートや課題の提出期限を延長する等、評価方法を配慮すること。ただし評価基準はダブルスタンダードを設けず、障害のない学生との公平性を保つことが必要です。
  - 【履修支援】 履修登録の補助や支援、優先的な履修登録等の配慮をすること。
  - 【学外実習・フィールドワーク配慮】 実習先での情報保障や移動支援、実習先機関との連携等を行なうこと。
  - 【居場所の確保】 学内で1人になれるスペースを確保したり、孤立しないための仲間作り支援を行なうこと。
  - 【通学支援】 スクールバスの乗降や自動車通学の許可、専用駐車場の確保等を行なうこと。

○ 全般的な質問

- Q** 障害学生が在籍していませんが、回答しなければいけませんか。
- A** 「1. 学校基本情報」「2. 支援体制」「3. 活動や取組」「4. 受入に関する配慮」「5. 入学者数等」「3. 意見・要望」シートにご回答ください。また、昨年度最年次に障害学生が在籍していた場合は「6. 平成30年度卒業生」シートに、診断書はないが発達障害が疑われる学生への支援を実施している場合は、「12. 発達障害が疑われる学生への支援」シートにもご回答ください。
- Q** 今年度から新入生の募集を停止しています。回答する必要がありますか。
- A** 学生が在籍している間は回答してください。まったく在籍学生がいない場合はその旨ご連絡ください。
- Q** キャンパスが分かれているので、キャンパスごとに回答してもいいですか。
- A** お手数ですが1校1回答をお願いします。それぞれのキャンパスの情報を集約し、学校全体の回答としてまとめてください。
- Q** 記入欄が足りません。行を追加してもいいですか。
- A** 行や列、セルやシートの追加、削除等はできません。記入欄が足りない場合は、回答ファイルを送信する際にメールアドレスに内容を記載するか、追加分についての別表を作成してメールに添付してください。
- Q** 5月1日現在と、現時点では学生数が変わっていますが、どの時点の数値を記入した方がいいですか。
- A** 令和元年5月1日時点の数値を記入してください。
- Q** 研修生は対象となりますか？
- A** 研修生、研究生、科目等履修生、聴講生、別科生は調査対象外です。
- Q** 2年生から3年生に進級する時点で留年し、2年生が2回目の学生がいます。この学生は「最低在学年限超過数」に計上しますか。
- A** 最低在学年限は、4年制であれば4年、6年制であれば6年となります。問いの2年生は3年次以降の課程のある学生で、最低在学年限には達していないため、計上の対象とはなりません。

- Q** 令和元年5月1日現在、学費未納の学生は、学生数に計上しますか。
- A** 学校に籍のある学生はすべて計上してください。除籍処分となった学生は計上の対象となりません。

○ 調査票の取得と回答方法について

- Q** 「調査票」「調査の手引」がダウンロードできません。どうしたらいいですか。
- A** ご担当者のメールアドレス宛にファイルを送信しますので、日本学生支援機構障害学生支援課 (E-Mail: tokubetsushien@jasso.go.jp または電話: 03-5520-6176) までご連絡ください。
- Q** メールで回答を送りましたが、間違いなく届くかどうか不安です。
- A** メール送信時に開封確認をつけてください。受信時に開封確認を返信します。
- Q** 先に送った回答に誤りがありました。どうしたらいいですか。
- A** 修正後、回答ファイル名の学校名の後に (再提出) と追記したファイルをメールに添付し、「学校名 (再提出)」というメールアドレスで再送付してください。
- Q** 具体的な内容欄を記入したところ、欄の大きさに対して文字数が多すぎて全文が表示されません。どうしたらいいですか。
- A** 本調査票は集計上の都合によりセルの大きさの変更はできません。該当セルを選択し、次にExcelの上部にある「fx」欄を選択してください。ここに全文が表示されることを確認し、そのままご送付ください。回答内容を印刷保存する場合等にご不便をおかけしますが、あしからずご了承ください。
- 障害についての質問
- Q** 学校では障害があることを把握していますが、本人の希望で障害者手帳を取得していない学生がいます。障害学生に計上しますか。
- A** 実態調査では学校や個人を特定できるような結果は公表しません。学校として障害があることを把握している場合には、障害学生数に計上してください。
- Q** 障害があるらしいが、手帳や診断書があるかどうかを把握していない学生がいます。学生に確認しなければいけませんか。
- A** 本調査の回答のために学生に確認する必要はありません。「障害があるらしい」と推察されるが把握していない学生については障害学生数に計上しません。ただし推察される障害が発達障害で何らかの支援を行なっている場合は、この後のFAQもご参照ください。

- Q** 視覚障害の盲、弱視、聴覚障害の聾、難聴を区別して把握していません。調査票にはどのように記入したらいいですか。
- A** 13 ページの各障害の定義を参考に、いずれかを判断して該当する欄に計上してください。
- Q** 発達障害（診断書有）で、SLD、ADHD、ASDの重複している学生がいます。調査票にはどのように記入したらいいですか。
- A** 発達障害の中に重複の欄があります。この欄に記入してください。
- Q** 発達障害らしい学生がいて、対応に気をつけています。この場合「12. 発達障害が疑われる学生への支援」の学生数に計上しますか。
- A** 「発達障害らしい」という推察が、複数の教職員によって共有されていて、組織的な配慮、対応が行なわれている場合は計上してください。ただし、教職員個人が「発達障害らしい」と思い、個人的に配慮している場合は含みません。
- Q** 身体障害と発達障害の両方のある学生がいます。障害学生数は両方に計上しますか。
- A** 身体障害と発達障害の重複する学生については、「7. 障害学生数」の該当する身体障害の欄に計上し、同じ表の下端にある「発達障害との重複」の該当欄に計上してください。
- Q** 最近、障害があることがわかった学生がいて、5月1日現在にはそのことを把握していませんが、この学生は障害学生数に含めますか？
- A** 5月2日以降に障害のあることを把握した学生が、5月1日現在に在籍していた場合には、障害学生数に含めてください。
- Q** 今年度から「性別違和」が調査対象外となりましたが、これは、性別違和の学生への支援は、障害学生支援関連部署の担当ではなくということですか？
- A** 性別違和は障害とは捉えない方向へ進んでいくものと考えられることを受けて、本調査の対象外としました。性別違和の学生への支援担当部署について等、それぞれの大学等でお取り扱いに影響を及ぼすものではありません。
- 活動や取組、支援について
- Q** 障害学生支援に関する活動や取組において「演習」は⑩の「講義」、⑪の「研修」のどちらに当てはまりますか？
- A** カリキュラムに含まれている「演習」ならば⑩の「講義」、カリキュラム外で支援方法、支援技術等の習得を目的とする内容であれば⑪の「研修」、カリキュラム外で意識啓発、情報提供を目的とする内容であれば⑩の「講座・講演等イベント」となります。

- Q** 学生組織が障害学生支援を行なっています。この場合、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。
- A** 学校が学生組織に依頼している等、学校が関与している場合には、支援障害学生に計上してください。学校が関与していない場合は、支援障害学生には該当しません。
- Q** 一般学生が自主的に障害学生を支援しています。この場合、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。
- A** 学校に申し出がなく、学校が支援していない場合は、支援障害学生には該当しません。
- Q** 自主的に障害学生を支援している学生から、ノートテイクのための入室許可の申し出があり、許可しました。この場合は、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。また、支援している学生は支援学生に計上しますか。
- A** 支援入室の許可は、学校の支援として支援障害学生に計上してください。ただし、この場合のノートテイクは学校が実施している支援としての計上には含まれません。同様に、支援に学校が関わっていない場合は、「2. 支援体制」(8)の支援学生の計上には含まれません。
- Q** パソコンテイクや点字のサークルがあり、このサークルの学生に支援活動を依頼しています。この場合は、支援学生のどこに計上したらいいですか。
- A** 「②学生が運営する組織に参加する学生がいる」に計上してください。
- Q** ボランティア活動を行なり学生組織が障害学生支援を行なっています。当該学生組織は障害学生支援のみならず、学内外の様々なボランティア活動を行なっているため、所属している学生が必ずしも全員、障害学生支援に携わっている訳ではありません。この場合、支援学生の人数のカウントはどのように行なえばいいでしょうか。
- A** 支援学生の数については、現在実際に障害学生支援を行なっている学生数、または本年度中に障害学生支援に携わる予定の概数を実数で計上してください。
- Q** 授業の一環として障害学生支援に携わっている学生は支援学生として計上しますか。
- A** 「②iii」その他」に計上し、どういう支援学生なのかを記入する欄に、その旨(○)の授業の一環として障害学生支援をしている等)を記入してください。また、単位取得や成績評価の対象としている場合は、「C. その他」を選択し「C. その他の具体的な内容」にその旨を記入してください。
- Q** 学内にスロープ等のバリアフリー設備を設けます。これは支援として計上しますか。
- A** 「2. 支援体制」の(7)「障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況」に、該当の設備がありますので、そちらに記入してください。「11. 授業支援と授業以外の支援」には計上しません。

## 調査票

### (大学・大学院用)

※課程別の調査票については学部（通学課程）のみを掲載しています。

※短期大学用、高等専門学校用は、以下の2点を除き同様です。

#### 1. 課程数

短期大学：学部（通学課程）、学部（通信教育課程）、専攻科

高等専門学校：学部（通学課程）、専攻科

#### 2. 学科（専攻）数

短期大学：人文、社会、教養、工業、農業、保健、家政、教育、  
芸術、その他

高等専門学校：社会、工業、商船、芸術

※日本学生支援機構のウェブサイトからダウンロードできます。

[https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu\\_shien/chosa\\_kenkyu/chosa/2019.html](https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/chosa_kenkyu/chosa/2019.html)



1. 学校基本情報

**令和元年度（2019年度）  
大学、短期大学及び高等専門学校における  
障害のある学生の修学支援に関する実態調査  
（大学・大学院用）**

機関コード表示欄

1. 学校基本情報

(1) 学校名と主たる所在地

学校名	主たる所在地の都道府県名
	No.

(2) 学校全体の学生数 ※課程の不一樣、学生数の不一樣は0を入力してください。

課程	令和元年度 全学生数	令和元年度 全入学者数	平成30年度 全卒業者数
学部			
通学課程			
通信教育課程			
大学院			
通学課程			
通信教育課程			
専攻科			
<b>計</b>	0	0	0

全入学者数または全卒業者数が0の場合、以下の当てはまる理由を選択してください。

平成  年より募集停止しているため、入学者はいない。

平成  年開学のため、卒業者はまだいない。

その他

(3) 本調査の担当部署（者）

部署名	担当者	フリガナ
	氏名	
	所在地	
郵便番号		
電話番号	FAX番号	E-Mail

(4) 障害学生支援の主たる担当部署（者）

部署名	担当者	フリガナ
	氏名	
	所在地	
郵便番号		
電話番号	FAX番号	E-Mail

次に「2. 支援体制」シートを記入してください。

2. 支援体制

2. 支援体制

(1) 障害者差別解消法に関する対応要領等  
 障害者差別解消法に関する対応要領、基本方針（ガイドライン）等、または障害学生支援に関する規程等  
 （例、入学選抜、修学支援に関わる委員会、部署、担当者等に関する規程、規定等）について、該当する  
 欄に「1」を記入してください。なお、学生全般に関する規程のうち、障害学生に関する具体的な表記がないもの  
 は、下記に該当しません。

①	対応要領または基本方針、規程等がある。 ①をホームページに掲載している。 URL: <input style="width: 100%;" type="text"/>	
②	令和元年度中に策定予定である。	
③	対応要領または基本方針、規程等はない。	

(2) 障害学生支援に関する委員会等  
 障害学生支援について協議、検討する委員会について、該当する欄に「1」を記入し、下欄に代表者について記入  
 してください。

①	専門委員会がある（障害学生委員会、バリアフリー委員会、支援担当者会議等）。 委員会名 <input style="width: 100%;" type="text"/>	
	代表者（委員長等）の役職等 （副学長、学部長等） <input style="width: 100%;" type="text"/>	
②	専門委員会はないが、他の委員会で対応している（学生委員会等）。 委員会名 <input style="width: 100%;" type="text"/>	
③	障害学生支援に関して検討、協議する委員会はない。 代表者（委員長等）の役職等 （副学長、学部長等） <input style="width: 100%;" type="text"/>	

(3) 紛争解決のための第三者組織  
 障害学生に関する紛争の防止、解決等に関し、障害学生支援部署とは別に、第三者的視点で調整を行う学  
 内機関について、該当する欄に「1」を記入してください。

①	第三者的視点で調整を行なう専門機関がある。 機関名 <input style="width: 100%;" type="text"/>	
②	他の機関（トラスト委員会等）で対応している。 機関名 <input style="width: 100%;" type="text"/>	
③	第三者的視点で調整を行なう機関はない。	

2. 支援体制

(5) 障害学生の相談受付窓口  
 障害学生が支援の申し出等をしたときに、学生にとってわかりやすい窓口がありますか、窓口の有無及びその周知について、該当する欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	①支援の申し出等の相談に対応する窓口がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ア. 窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している。		
	イ. 窓口は設けているが、特に周知していない。		
<input type="checkbox"/>	②支援の申し出等の相談に対応する窓口はない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ア. 特に窓口は設けず、各部署で相談に対応していることを周知している。		
	イ. 窓口はなく、相談対応について特に周知していない。		

(6) 支援の申し出等に関する対応手順  
 障害学生から支援の申し出、相談等があった場合の対応手順について、該当する欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	①対応手順を規定した文書がある。
<input type="checkbox"/>	②対応要領等に対応手順が記載されている。
<input type="checkbox"/>	③対応手順を規定する文書はない。

2. 支援体制

(4) 障害学生支援担当部署(者)  
 1. 障害学生支援業務を行なう部署、機関について、該当する欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	①専門部署・機関がある(障害学生支援センター、バリアフリー支援室等)
	部署・機関名 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	②専門部署・機関はないが他の部署・機関が対応している(学生課、保健室等)
	部署・機関名 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	③障害学生支援業務を行なう部署・機関はない

2. 障害学生支援業務を行なう担当者の有無と人数を記入してください。

<input type="checkbox"/>	①専任スタッフ (担当者がいる場合、左の欄に記入し、右の欄に人数を記入してください)	人数
	ア. 障害学生支援を専門に担当するコーディネーター	<input type="text"/>
	イ. 障害学生を専門に担当するカウンセラー	<input type="text"/>
	ウ. 障害学生を専門に担当する医師	<input type="text"/>
	エ. 専門の支援技術(手話通訳、点訳等)を持つ教職員	<input type="text"/>
	オ. 障害学生支援を専門に担当する職員	<input type="text"/>
	カ. 障害学生支援を専門に担当する教員	<input type="text"/>
	キ. その他 <input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	②兼任スタッフ (障害学生支援担当者が決まっている場合のみ人数を計上してください。決まった担当者がなく、部署・機関の全員が随時対応する場合は左の欄のみ「1」を記入し、人数は記入不要です)	人数
	ア. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当するコーディネーター	<input type="text"/>
	イ. 他の業務と兼任で障害学生を担当するカウンセラー	<input type="text"/>
	ウ. 他の業務と兼任で障害学生を担当する医師	<input type="text"/>
	エ. 専門の支援技術(手話通訳、点訳等)を持つ他の業務と兼任で支援を行なう教職員	<input type="text"/>
	オ. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当する職員	<input type="text"/>
	カ. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当する教員	<input type="text"/>
	キその他 <input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	③外部スタッフ	人数
	ア. 嘱託等の契約に基づき、外部から招いている医師、カウンセラー等	<input type="text"/>
	イ. 必要に応じて定期的に業務を委託している専門技術者(手話通訳、ノートタイパー等)	<input type="text"/>
	ウ. その他 <input type="text"/>	<input type="text"/>

2. 支援体制

(7) 障害のある学生を支援するための施設・設備の整備状況  
 学生生活において必要となる施設、設備の整備状況について、該当する欄に「1」を記入してください。

	整備状況			
	現在必要箇所を整備している	部分的に整備している	整備していない	未整備
① 屋外				
ア. 道路の舗装、段差の解消等				
イ. 手すり、スロープ、階段昇降機等				
ウ. 点字ブロック、標識シール等				
エ. 専用駐車場				
② 屋内				
ア. 自動扉等出入口の整備				
イ. エレベーター				
ウ. 手すり、スロープ、階段昇降機等				
エ. 車椅子移動等に必要なおもてなし確保				
オ. 点字ノート等教室表示				
カ. 聴覚障害者用屋内信号装置				
キ. 障害用トイレ				
ク. 自習室、独習室				
ケ. 磁気誘導ループ				
その他				

※以下に、その他の具体的な内容を記入してください。

2. 支援体制

(8) 支援学生（ノートテイク等）  
 支援学生（障害学生を支援する学生）について、該当する欄に「1」を記入してください。

※①～③のいずれかを必ず選択してください。  
 支援学生の数は、現在支援に携わっている、または本年度中に支援に携われる予定の人数を累算で計上してください。  
 障害学生が個人的に依頼した学生が個人的に支援している、学校が関わっていない場合は含みません。

① 学校が運営する組織に登録している支援学生がいる。	
A. 有償	イ. 1～5人
B. 無償	ロ. 11～20人
C. その他	ハ. 31～40人
ケ. 51人以上	

② 上記①以外の支援学生がいる。	
1) 学生が自主的に運営する組織に参加する支援学生がいる。	
A. 有償	イ. 1～5人
B. 無償	ロ. 11～20人
C. その他	ハ. 31～40人
ケ. 51人以上	
2) 他校の協力により支援学生を派遣してもらっている。	
A. 有償	イ. 1～5人
B. 無償	ロ. 11～20人
C. その他	ハ. 31～40人
ケ. 51人以上	
3) その他（上記1）2）に該当しない支援学生がいる	

※授業の一環として障害学生支援を行っている場合はこちらを選択してください。また、その中で単位取得、成績評価等に反映している場合は、下の C. その他 を選択して具体的な内容を記入してください。

以下にどれか支援学生のかを記入してください。（例：ゼミの課題として行っている等）

A. 有償	イ. 1～5人
B. 無償	ロ. 11～20人
C. その他	ハ. 31～40人
ケ. 51人以上	

①または②（1、2、3）の支援学生が行っている具体的な支援内容  
 ※複数ある場合は、複数記入してください。

③ 支援学生はいない（支援学生による支援は行っていない）。

※以下に、活動や取組シートをご記入ください。

**3. 活動や取組**

以下の活動や取組を実施している場合は、実施の欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/> <p>① 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組</p> <p>ア. 教職員向けの研修会等の実施</p> <p>イ. 学生向けの研修会等の実施</p> <p>ウ. パンフレット等の配布</p> <p>エ. その他</p>	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				

<input type="checkbox"/> <p>② 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組</p> <p>ア. 教職員向けの研修会等の実施</p> <p>イ. 学生向けの研修会等の実施</p> <p>ウ. パンフレット等の配布</p> <p>エ. その他</p>	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				

<input type="checkbox"/> <p>③ 支援情報の公開（学外者が見られるホームページで公開している）</p> <p>ア. 相談窓口について</p> <p>イ. 支援の申し出方法について</p> <p>ウ. 支援内容決定のプロセスについて</p> <p>エ. 具体的な授業支援等の支援内容の説明</p> <p>オ. 在籍障害学生数</p> <p>カ. 在籍支援障害学生数</p> <p>キ. キャンパスのバリアフリーマップ等の掲示</p> <p>ク. その他</p>	<input type="checkbox"/>									
	<input type="checkbox"/>									
	<input type="checkbox"/>									
	<input type="checkbox"/>									
	<input type="checkbox"/>									
	<input type="checkbox"/>									
	<input type="checkbox"/>									
	<input type="checkbox"/>									
	<input type="checkbox"/>									
	<input type="checkbox"/>									
	<input type="checkbox"/>									

<input type="checkbox"/> <p>④ 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援</p> <p>ア. 学外機関との連携、支援情報の提供</p> <p>イ. 一般就職ガイダンス、セミナー等における配慮の実施</p> <p>ウ. 障害学生向け就職ガイダンス、セミナー等の実施</p> <p>エ. インターネット先、就職先の開拓、企業との連携</p> <p>オ. その他</p>	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				

<input type="checkbox"/> <p>⑤ 他大学等との連携</p> <p>連携している学校名と連携内容、または参加している（大学等による）ネットワーク名と活動内容を記入してください。</p>	名称/ 内容	<input type="checkbox"/>
	名称/ 内容	<input type="checkbox"/>

**⑥ 学外機関との連携**  
 相談・支援機関、訓練機関、企業等、連携機関の名称と連携内容を記入してください。

名称/内容	

**⑦ 相談対応・懇談会等（障害学生・支援スタッフ向け）**

**⑧ 障害学生支援に関する（学内）教員研修（F等）**

名称/内容	対象

**⑨ 障害学生支援に関する（学内）職員研修（SD等）**

名称/内容	対象

**⑩ 障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣**

名称/内容	派遣した人数

3. 活動や取組

⑪障害学生支援に関する学生向け研修（ノートテイカー養成等）		
名称/ 内容		回数

⑫支援マニュアル、パンフレット等の配布

⑬オープンキャンパス等、入学希望者を対象とするイベントでの情報提供

⑭入学後のガイダンス等における、障害学生支援の手続きなどに関する学内規程や支援事例等の周知

⑮障害学生支援に関する講座・講演等イベント		対象
名称/ 内容		対象

3. 活動や取組

⑯障害学生支援または障害者支援に関する講義（ポランティア論等）		
名称/ 内容		種別

次に「4. 受入に関する配慮」シートをご記入ください。

**4. 受入に関する配慮**

(1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知  
 入学者選抜における受験上の配慮の周知について、①～③のうち該当する欄に「1」を記入してください。なお、①②については、具体的な内容についても、該当する欄に「1」を記入してください。また、「その他」を選択した場合は、その具体的な内容を記載してください。

①入試要項（募集要項）に、受験上の配慮に関する記載がある。  
 ア. 「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載している。     
 イ. 個々の困難の程度に応じた配慮内容を記載している。     
 ウ. その他

②ホームページに、受験上の配慮に関する記載がある。または、記載のある入試要項を掲載している。  
 ア. 「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載している。     
 イ. 個々の困難の程度に応じた配慮内容を記載している。     
 ウ. その他

③入試要項にも、ホームページにも記載していない。

(2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法  
 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法について、①～④のうち該当する欄に「1」を記入してください。なお、②については、具体的な内容についても、該当する欄に「1」を記入してください。また、「その他」を選択した場合には、その具体的な内容を記載してください。

①随時、受け付けている。

②全学共通のルールで期間を設けている。  
※ルールは同じが試験日が違うので実施の期日は違うという場合もこちらを選択してください。  
 ア. 出願受付締切まで  イ. 試験前日まで   
 ウ. その他

③学部、学科等や入試形態によって違う。

④特に告知はしていないが、相談があれば対応する。

(3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮  
 令和元年度入学者選抜において、もし受験者から申請があったら対応が可能だった受験上の配慮を、該当する欄に「1」を記入してください。

①配慮の準備がある、または申し出があれば対応可能だった配慮がある。

<input type="checkbox"/> A. 点字問題を点字で解答	<input type="checkbox"/> L. 車椅子等の持参使用
<input type="checkbox"/> B. 拡大文字問題の準備	<input type="checkbox"/> M. 松葉杖の持参使用
<input type="checkbox"/> C. 拡大解答用紙の準備	<input type="checkbox"/> N. バンコン等の持参使用
<input type="checkbox"/> D. 音声で出題し音声で解答	<input type="checkbox"/> O. 手話通訳者の付与
<input type="checkbox"/> E. マークシートに替えて文字で解答	<input type="checkbox"/> P. 文書による伝達
<input type="checkbox"/> F. チェック解答	<input type="checkbox"/> Q. 窓側の明るい席の指定
<input type="checkbox"/> G. 試験時間の延長	<input type="checkbox"/> R. トイレに近接する試験室に指定
<input type="checkbox"/> H. 照明器具の準備	<input type="checkbox"/> S. 別室を設定
<input type="checkbox"/> I. 特製机の使用	<input type="checkbox"/> T. 試験室を一階に設定
<input type="checkbox"/> J. 拡大鏡等の持参使用	<input type="checkbox"/> U. 介助者の付与
<input type="checkbox"/> K. 補聴器の持参使用	<input type="checkbox"/> V. 試験場への車での入構許可
<input type="checkbox"/> W. その他	

具体的な内容

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

②申し出がなかったため検討しておらず、回答できない。

次に「5. 入学者数等」シートをご記入ください。

5. 入学者数等

(1) 障害のある入学者数等

令和元年度入学者選抜における、障害のある相談者数、志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を記入してください(入学後に障害のあることわかった学生は含みません)。また、受験者数、合格者数、入学者数については、そのうち、受験上の配慮を行なった数についても個別に記入してください。

Table with columns for disability types (視覚障害, 聴覚・言語障害, etc.) and rows for enrollment stages (特別入試, 一般入試, etc.). Includes a section for '6. 左の③～⑤のうち受験上の配慮を行なった数'.

(2) 受験上の配慮の内容

(1) で解答した受験上の配慮について、実施した具体的な内容を下記のA～Wから選択して、該当する欄に半角数字の1を記入してください。

Large table for recording exam accommodations. Columns A-W represent different types of accommodations. Rows list various disability categories and their severity levels.

※(2)に実施した記述内容がない場合、以下に、実施した記述の具体的な内容名、障害種別に入力してください。1つの障害種別に対して複数の記述を実施した場合は、同一欄に重複して入力してください。

障害種別	実施した記述の具体的な内容
1	視覚障害 盲
2	視覚障害 弱視
3	聴覚・言語障害 聾
4	聴覚・言語障害 難聴
5	聴覚・言語障害 言語のみ
6	肢体不自由 上肢機能障害
7	肢体不自由 下肢機能障害
8	肢体不自由 上下肢機能障害
9	肢体不自由 他の機能障害
10	病弱・虚脱 内部障害等
11	病弱・虚脱 他の慢性疾患
12	他の慢性的疾患
13	性疾患
14	他の慢性的疾患
15	性疾患
16	他の慢性的疾患
17	重複
18	発達障害 (診断書有) SLD
19	発達障害 (診断書有) ADHD
20	発達障害 (診断書有) ASD
21	発達障害 (診断書有) 重複
22	精神障害 統合失調症等
23	精神障害 気分障害
24	精神障害 神経症性障害等
25	精神障害 摂食障害・睡眠障害等
26	精神障害 他の精神障害
27	他の精神障害
28	他の精神障害
29	他の精神障害
30	他の精神障害
31	他の精神障害
32	その他の障害
33	障害 1
34	障害 2
35	障害 3
36	障害 4
37	障害 5
38	発達障害 (診断書無) SLD
39	発達障害 (診断書無) ADHD
40	発達障害 (診断書無) ASD
41	発達障害 (診断書無) 区分不明

次に「6. 平成30年度卒業生」シートをご記入ください。

**6. 平成30年度卒業生**  
**(1) 学部(通学課程) 最高年次及び卒業障害学生数**

障害種別	① H30年 5月1日 現在	② H31年 5月1日 現在	③ H32年 5月1日 現在
視覚障害 盲			
視覚障害 弱視			
聴覚・言語障害			
言語障害のみ			
上肢機能障害			
下肢機能障害			
上下肢機能障害			
他の機能障害			
病弱・虚脱 内部障害等			
他の慢性疾患			
重複			
発達障害 (診断書有) SLD			
発達障害 (診断書有) ADHD			
発達障害 (診断書有) ASD			
発達障害の重複			
統合失調症等			
気分障害			
精神障害			
摂食障害・睡眠障害等			
他の精神障害			
その他の障害			
計	0	0	0

※診断書はないが、発達障害が疑われ、支援を行っていた卒業生の数

発達障害 SLD			
(診断書) ADHD			
(診断書) ASD			
無・記述不明			
計	0	0	0

(2) 状況別卒業障害学生数 (令和元年5月1日現在)

障害種別	ア 進学者							イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
	A	B	C	D	E	①	②							
聴覚障害														
視覚障害														
聴覚・言語障害														
言語障害														
言語障害のみ														
上肢機能障害														
下肢機能障害														
身体不自由														
上下肢機能障害														
他の機能障害														
病弱・虚弱														
内臓障害等														
重復														
発達障害														
SLD														
ADHD														
ASD														
発達障害の重複														
統合失調症等														
気分障害														
神経障害														
神経症性障害等														
摂食障害・睡眠障害等														
他の精神障害														
その他の障害														
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※診断書はないが、発達障害が疑われ、学校が支援を行なっていた卒業生の進路

障害種別	ア 進学者							イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
	A	B	C	D	E	①	②							
発達障害														
(診断書)														
無・記述														
有)														
区分不明														
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

次のシート

○令和元年度に障害学生が在籍している場合 ⇒ 「7. 障害学生数」シートをご記入ください。

○令和元年度に障害学生が在籍していない場合 ⇒ 「12. 発達障害が疑われる学生への支援」シートをご記入ください。

7. 障害学生数 (1) 学部(学課程)の障害学生数

区分	学部(学課程)							計
	有	無	計	有	無	計	有	
理学部(理学課程)	0	0	0	0	0	0	0	0
工学部(工学課程)	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部(経済課程)	0	0	0	0	0	0	0	0
文学部(文学課程)	0	0	0	0	0	0	0	0
法学部(法学課程)	0	0	0	0	0	0	0	0
医学部(医学課程)	0	0	0	0	0	0	0	0
歯学部(歯学課程)	0	0	0	0	0	0	0	0
薬学部(薬学課程)	0	0	0	0	0	0	0	0
看護学部(看護課程)	0	0	0	0	0	0	0	0
体育学部(体育課程)	0	0	0	0	0	0	0	0
芸術学部(芸術課程)	0	0	0	0	0	0	0	0
国際学部(国際課程)	0	0	0	0	0	0	0	0
環境学部(環境課程)	0	0	0	0	0	0	0	0
情報学部(情報課程)	0	0	0	0	0	0	0	0
総合学部(総合課程)	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0

▲のシートが別紙に添付

8. 病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳

**8. 病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳**  
 シート「7. 障害学生数」で「病弱・虚弱」の「他の慢性疾患」学生を計上した場合、下の該当の課程の表に  
 学科(専攻)、内訳(具体的な障害名)、障害学生数、支援障害学生数を記入してください。  
 (1) 学部(通学課程)

	学科(専攻)	内訳		アのうち 支援障害 学生数
		※病弱・虚弱(他の慢性疾患)に計上した学生の 各障害名(例:アトピー性皮膚炎、てんかん、アナフィ ラキシー等)	障害学生 数	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
計			0	0

9. 精神障害(他の精神障害)の内訳

**9. 精神障害(他の精神障害)の内訳**  
 シート「7. 障害学生数」で「精神障害」の「他の精神障害」学生を計上した場合、下の該当の課程の表に  
 学科(専攻)、内訳(具体的な障害名)、障害学生数、支援障害学生数を記入してください。

	学科(専攻)	内訳		アのうち 支援障害 学生数
		※精神障害(他の精神障害)に計上した学生の各 障害名(例:知的障害、性別違和、高次脳機能障 害等) (注意)今年度より、性別違和は調査対象外となりま	障害学生 数	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
計			0	0

10. その他の障害の内訳

シート「7. 障害学生数」で「その他の障害」学生を計上した場合、下の該当の課程の表に学科（専攻）、内訳（具体的な障害名）、障害学生数、支援障害学生数を記入してください。

(1) 学部（通学課程）

	学科（専攻）	内訳 ※その他の障害に計上した学生の各障害名	ア		イ アのうち 支援障害 学生数
			障害学生 数		
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
計			0	0	0

11. 授業支援と授業以外の支援

(1) 学部（通学課程）の支援内容

支援障害学生数	視覚障害	聴覚障害	言語障害	身体不自由	弱視	その他	有（発症診断書）		精神障害		その他の障害
							S I A A	L I D S	統合失調症等の重症	気分障害	
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※その他の授業支援の内訳の内容を記入してください。

障害種別	実施した支援の具体的な内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

12. 発達障害が疑われる学生への支援

(1) 発達障害のある学生への支援は、高等教育機関においても緊要の課題の一つと捉えられます。課題を感じられている事項に1を記入してください。(複数回答可)

<input type="checkbox"/>	学生の修学上の困難が発達障害によるものかどうかの把握
<input type="checkbox"/>	教員の発達障害のある学生への理解
<input type="checkbox"/>	職員・発達障害のある学生への理解
<input type="checkbox"/>	周囲の学生の発達障害のある学生への理解
<input type="checkbox"/>	発達障害のある学生の自己理解
<input type="checkbox"/>	発達障害のある学生の保護者の理解
<input type="checkbox"/>	支援体制・部室間連携
<input type="checkbox"/>	個人情報取扱い
<input type="checkbox"/>	その他

支援障害学生数	区分	視覚障害		聴覚障害		身体不自由		弱弱・虚		重複		発達障害		精神障害		その他の実		
		盲	弱視	言語聴覚	聴覚	上肢	下肢	その他	知的	発達	S	L	D	D	気分障害	神経症	その他	
1	居場所の確保 (占有スペース、仲間づの等)																	
2	学生生活支援 (自動車通学許可、専用駐車場等)																	
3	個別支援情報の収集 (出身校との連携等)																	
4	情報取得支援 (行事案内、休講情報等)																	
5	自己管理指導 (スケジュール管理等)																	
6	社会的スキル対人関係指導 (対人スキル、トラブル対応等)																	
7	日常生活支援 (食事、入浴、睡眠等)																	
8	専門家によるカンファレンス																	
9	保健管理																	
10	医療機関、薬剤師の確保等																	
11	休憩室、治療室の確保等																	
12	生活支援																	
13	生活介助 (体位変換、食事、トイレ等)																	
14	介助者の入構、入室許可																	
15	キャリア教育 (障害理解、職業適性の把握等)																	
16	進路、就職支援情報の提供、支援機関の紹介																	
17	就職指導																	
18	就職先との連携、就職活動支援																	
19	その他の授業以外の支援																	
20	※その他の授業以外の支援の具体的な内容を記入してください。																	

障害種別	実施した支援の具体的な内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

(2) 発達障害が疑われ、ならんかの支援が行われている学生数  
 発達障害がある医師書はないが、発達障害ではないと認められ、なんらかの支援(教育上の配慮等)が行われている学生がいる場合、学科(専攻)別にその数を記入し、その学生に別記になっている支援を添って該当欄に「1」を記入してください。なお、このシートで計上した学生数は17. 障害学生数に包含みません。

[1]学部(通学課程) 学科(専攻) ①.人文科学～保健(医・歯学)

学号	人文科学			社会科学			理工学			農学			保健(医・歯学)		
	S	A	A	S	A	A	S	A	A	S	A	A	S	A	A
1															
2															
3															
4															
5															

※この欄の授業支援の具体的な内容を記入してください。

発達支援(診療科目・配属) 支援学生数

学号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			

※この欄の授業以外の支援の具体的な内容を記入してください。

[1]学部(通学課程) 学科(専攻) ②.保健(医・歯学を除く)～その他

発達支援(診療科目・配属) 支援学生数

学号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			

※この欄の授業支援の具体的な内容を記入してください。

発達支援(診療科目・配属) 支援学生数

学号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			

※この欄の授業以外の支援の具体的な内容を記入してください。

**13. 意見、要望**

(1) 障害学生支援について、課題と感じられていること、お困りになっていることがありましたら、ご記入ください。

(2) 障害学生の進路、就労、キャリア教育等に関して、課題と感じられていることがありましたら、ご記入ください。

(3) 日本学生支援機構の障害学生支援の取組について、ご意見、ご要望をご記入ください。

**◆ご協力ありがとうございました◆**

ご記入内容を再度ご確認ください。「調査の手引」をご参照の上、読み取りパスワードでロックしたファイルをJASSOまでメールにてご送付ください。



令和元年度（2019年度）  
大学、短期大学及び高等専門学校における  
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

令和2年3月

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部 障害学生支援課

〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1

TEL 03-5520-6176 FAX 03-5520-6051

E-mail:tokubetsushien@jasso.go.jp

